

(非管理メモ)

本資料は、本部門卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<11/1(火)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C ■■■■) 本日の気温は18℃であり、快晴であった。作業は各方面について、昨日に引き続き実施したが大きなトラブルはなかった。

(1F) 傷病者の発生もなかった。プラントの状況は、1号機炉注流量を目標の7.5 m³/h まで上げたが、パラメータは安定して推移している。RPV 温度は低下傾向を継続している。2号機 FDW からの流量が低下したので本日流量調整を行った。2号機 PCV 水素濃度は安定して推移している。水処理設備は順調に稼働している。建屋水位調整の関係で2, 3号機からの移送はしていないが、5, 6号機仮設タンクからメカフロートへ移送した。散水も計画通り本日実施した。

(1F 発電班) 1号機は給水系から7.5m³/h で炉注を継続しています。昨日15時頃(14:59)に流量を変更した以降、流量の変更はない。RPV 底部ヘッド温度は 54.2℃で 4℃/day で低下傾向、D/W 圧力は 20kPa_{gage}、SFP 温度は 22℃で安定している。

2号機は CS 系 7.0m³/h、給水系 3.0m³/h あわせて 10.0m³/h で炉注を継続しており、RPV 底部ヘッド上部温度は 75.9℃、D/W 圧力は 8.8kPa_{gage}、水素濃度は 2.5% で安定、SFP 温度は 25℃です。3号機は CS 系 8.0m³/h、給水系 2.5m³/h あわせて 10.5m³/h で炉注を継続しており、RPV 下部ヘッド温度は 71.3℃、D/W 圧力は 0.2kPa_{gage}、SFP 温度は 23℃です。

4号機 SFP 温度は 31℃、共用プール温度は 26℃でそれぞれ安定しています。

5, 6号機は共に炉水温度22℃、SFP 温度25℃程度で冷却を継続している。明日から約 1 週間、6号機の海水系ポンプが設置されている取水路で土砂の浚渫(しゅんせつ: 海底・河床などの土砂を、水深を深くするために掘削すること)作業が開始される。海水系のポンプを毎朝全停止、夕方復旧するという対応になる。具体的には SHC、SW ポンプの停止となる。停止時間は7～17時の10時間停止を予定している。温度上昇は炉水で16℃程度で39℃、SFP で3℃程度上昇して28℃位になると見込んでいるが特に問題になる温度になるとは考えていない。D/GSW ポンプが停止となるので、6AD/G も待機不全となる。

(1F1～4号復旧班) 水移送について、2号機3号機共に停止している。3号機は明日 HTI 建屋に向けてポンプ1台で復旧する。2号機は11月4日まで移送を停止する予定。

水処理について、サリー、キュリオンともに運転中で、17時現在、サリー27.8m³/h、キュリオン 17.3m³/h で運転している。本日より蒸発濃縮装置の3A、3B、3C の運転を開始している。アレバは待機停止中です。RO は運転しています。ベッセル交換は今日、明日なし。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

水位関係では、2号機は 18~20mm 上昇し、高い方の T/B で OP2876mm です。3号機は 4~8mm 上昇しており、トレンチで OP3241mm です。4号機 T/B は 4mm 上昇し、OP3029mm です。1号機は R/B が 8mm 上昇して OP4266mm、T/B が 12mm 上昇して OP4263mm です。受け入れ側の R/W については、プロセス建屋が 48mm 下降し、OP2990mm。HTI 建屋が 189mm 下降し、OP1883mm となっている。

4号機 SFP ヘビドラジンを注入する予定。

2号機原子炉建屋ブローアウトパネルのサンプリングに合わせて、2号機 PCV ガス管理システムからサンプリングを実施した。その他も継続。

(1F5, 6号復旧班) 浄化水の散水は本日にて一旦終了とする。明日より、RO 装置へ供給している仮設タンクについて H から I タンクへ切替えをする。11月7日より散水を開始する予定としている。明日は仮設タンクからメガフロートへの移送を10~15時で実施する予定。明日の移送をもって、メガフロートが満水になる。

(1F 土木班) (書面で説明) 明日から6号機取水路の補機ポンプ室に貯まっている土砂について吐き出し作業を計画している。6号機南側にある補機系ポンプ室を実施する予定。6AD/GSW、RHRS(C)、ASW(A)を止めて、開口部に設置しているポンプを吊り上げて、中に海水攪拌用ポンプと取り出し用ポンプ計2台を入れて、土砂を攪拌しながらポンプで吸い出すことを考えている。場所は色々入れ替えて、土砂がうまく取れるように実施したい。工程は、明日11月2日から11月9日を予定している。朝7時~17時の間、先ほどの3台ポンプを止めて9:30~16時に作業する予定。6号機については約1週間実施し、うまくいったら5号機の補機系ポンプ室の清掃を行っていきたくと考えている。

タンク関係については、G エリアで盛土、H エリアでタンクの組立てを継続で実施している。ガラ撤去関係では、本日、尿日休工。遮水壁設置工事は、ボーリング機器据え付けを実施し、明日よりボーリング調査をする予定。

(1F 建築班) 1号機カバーリング工事については、本日休工。3号機上部ガレキ撤去工事は、ダクト解体、ガレキ降ろし、西側においてガレキの移動、南側ヤードで路盤整備で道路脇のケーブル保護のためL型PC盤の搬入設置をしている。4号機上部ガレキ撤去は、オベフロのガレキ撤去、750t クレーンの組み立てに伴うセンカイトの搬入を行った。スラッジ貯蔵施設建築工事は、スラッジ棟で壁柱のPC建方、足場組立、壁スリーブダクトの取付、設備棟では鉄骨ユニットの建方を継続で行っている。ガレキ収集運搬については、昼間はガレキ移動、照明の給油、夜間ではガレキの収集運搬を実施している。

本日より、南側66KVの開閉所の補助建屋の新設工事、現地調査を行い、明日も継続、その後着工の予定。サブドレンの浄化試験については、本日は発電機の給油、明日はポンプの設置を予定している。

(1F 保安班) (書面で説明) 通勤時のノーマスク化について説明する。1F 郊外から

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

構内免震棟又は5, 6号機S/Bに車で直接移動する場合、ノーマスク化のスタートが出来る準備が整ったので、11月8日より運用を開始する。全面マスク着用の運用変更イメージは、現在の運用はJビレッジ及び2F、1F郊外休憩所から正門まで移動する場合は、サージカルマスク又は全面マスクの着用をしていた。11月8日以降については、郊外休憩所から移動する場合は、全面マスクの携行をしながら、サージカルマスク又は全面マスクの未着用としたい。免震棟、5, 6号機 S/B に移動する場合は、全面マスクの携行をしサージカルマスクの着用で運用したい。

(安定化 C 本店) (書面で説明) 1号機炉心流量増加による効果について説明する。RPV 代表点の温度変化のグラフは、7月8日位で100℃以上あった温度はずっと下がってきて、10月29日から流量を増やして、全ての温度が60℃を下回っている状況である。D/W の圧力変化は、炉注流量を増やして下がることを想定していたが、若干給水流量を4.5m³/hから5.5m³/hに増やした段階で、つまり土曜日に増やした時に圧力が上昇し、その後少し下がってきている状態となっている。理由は水蒸気がこの段階で発生したとは思われない、というのもRPV下部の温度状況を踏まえると蒸気が発生して免れて温度が上昇しているというフレームが見えないため。何らかのリークパスがあって、圧力が上昇したものと推定している。

カバーリングのダストと流量の依存性を見ているが、グラフから見て、ダスト濃度が下がってきている。今後の方針は当面は7.5m³/h で維持して監視していく。また格納容器の状態について分析をしていきたい。

(安定化 C) (書面で説明) 3号機R/B上部南側風速調査した結果について報告する。10月30日紹介したが、南半分が未測定だったが、クレーンがアクセス可能になったことから調査をする。蒸気の噴出口の当たり付ける調査をした。その風速測定の結果、蒸気が出ていないと考えられるが、10月15日にHP公表したサーモグラフィを参考にして11月2日、6日に半分のポイントのサンプリングをしたいと考えている。

(広報班) 11時と18時に単独会見を実施している。11時の会見では、蒸発濃縮装置の稼働について説明した。18時からの会見については全面マスク着用運用変更について説明をする予定。本日10時に内閣官房が取材案内を出している。細野大臣が園田政務官とともに11月12日に1Fを視察する予定。これについては、被災者国際社会に対して状況を伝える観点から、同行取材を受け入れる。Jビレッジにおいて現場作業の状況説明をする予定。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<11/2(水)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C 所長) 昨日の全体会議の後に、2号機格納容器内のガス管理システムのデータの中に希ガスの話しがあつて、対応あるいは分析が十分できないところ対応が混乱したのが実情としてあつたかと思う。本日ガス分析を再度実施したので速報値を連絡できる。ただ、全体を評価できていない。関係者が多く、全体の仕事のまとめ方をしっかりキーマンを決めてしっかりしていく必要がある。また、2号機のブローアウトパネルでの分析結果、水処理関係の状況、所内電源強化の電源停止の概要説明をトピックスとして紹介する。

(1F 所長) 本日は晴れであつた。残念なことに、人身災害があつた。治療はこちらで終わったが、カッターで切り傷2件が発生した。注意していきたい。

昨日の夜、2号機に480Kgのボロンを注入している。本件全体について誰が頭でやっているか分からない。これから PCV ガスサンプリングするのであれば、事前に揉んでからやっておかないとまずい。燃料があるので、キセノンが出てくる可能性十分にある。調べたら出てきてしまったという流れと、あると思ってサンプリングするのでは全く異なる。強い危機感を持っている。

(1F 発電班) 1号機は給水系から $7.7\text{m}^3/\text{h}$ で炉注を継続しています。RPV 底部ヘッド温度は 51.7°C で今朝方から一定値である。D/W 圧力は $20\text{kPa}_{\text{gage}}$ 、SFP 温度は 22°C で安定している。

2号機は CS 系 $7.0\text{m}^3/\text{h}$ 、給水系 $3.0\text{m}^3/\text{h}$ あわせて $10.0\text{m}^3/\text{h}$ で炉注を継続しており、RPV 底部ヘッド上部温度は 76.3°C 、D/W 圧力は $8.7\text{kPa}_{\text{gage}}$ 、今朝4時頃までホウ酸 480kg を注入している。水素濃度は 2.8% (その後の発話で $18:40$ に測定したら 2.9% に上昇した。今後監視する) でほぼ一定、SFP 温度は 25°C です。3号機は CS 系 $8.0\text{m}^3/\text{h}$ 、給水系 $2.5\text{m}^3/\text{h}$ あわせて $10.5\text{m}^3/\text{h}$ で炉注を継続しており、RPV 下部ヘッド温度は 70.4°C 、D/W 圧力は $0.2\text{kPa}_{\text{gage}}$ 、SFP 温度は 23°C です。

4号機 SFP 温度は 31°C 、共用プール温度は 25°C でそれぞれ安定しています。

5, 6号機は共に炉水温度 22°C 、SFP 温度 24°C 程度で冷却を継続している。本日から予定していた6号機の海水系ポンプが設置されている取水路で土砂の浚渫作業は中止となった。全停対応が不要となったので、定期的な RHR 定例確認運転を実施した。その際に SHC が40分停止したが、炉水温度は 1.3°C の上昇で問題なかった。

(1F1～4号復旧班) ホウ酸注入について、昨日使ったラインは初めてであつたので水張りに時間がかかった。本日以降は水張対応が無いので短時間でできる。

水移送について、3号機は HTI 建屋に向けて再開した。

水処理について、サリー、キュリオンともに運転中で、17時現在、サリー $28\text{m}^3/\text{h}$ 、キ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

キュリオン 17m³/h で運転している。ベッセル交換は明日キュリオン2塔をする予定。

水位関係では、2号機は18~22mm 上昇、3号機は12mm~16mm (3~12mm 下降の間違いだと思われる) 下降、4号機 T/B は 8mm 上昇、1号機は T/B が 12mm 上昇です。受け入れ側の R/W については、プロセス建屋が 62mm 下降し、OP2870mm。HTI 建屋が 77mm 下降し、OP1494mm となっている。

4号機 SFP ヘビドランジンを2m³ 注入した。

(1F5, 6号復旧班) 6号機取水炉の浚渫の件は、11月4日以降地元説明が終わってから。仮設タンクからメガフロートへの移送を10~15時で実施した。メガフロートが満水になったので終わり。ひまわり散水は吸い込み側タンクの切り替えのため11月7日から再開の予定。

(1F 土木班) タンク関係については、G エリアで盛土、H エリアでタンクの組立てを継続で実施している。ガラ撤去関係では、本日、明日も休工。遮水壁設置工事は、ボーリング作業を本日、明日実施する予定。本日午前中土木工事の関係で2件の怪我が発生した。草刈をしている最中に切り、8針縫った。タンク工事でサクシオンホースをカッターナイフで切る際に右ひざ付近を切り、3針縫った。搬送なし。いずれも対策詰めたあとに再開したいと考えている。

(1F 建築班) 1号機カバーリング工事については、本日休工。クレーン災害に伴う休工。原因と対策について書画で説明する。3号機上部ガレキ撤去工事は、ダクト解体、ガレキ降ろし、南側ヤードで路盤整備を実施している。4号機上部ガレキ撤去は、オペフロのガレキ撤去を実施している。スラッジ貯蔵施設建築工事は、スラッジ棟で壁柱の PC 建方、足場組立、壁スリーブダクトの取付、PC 建方のコンクリート打設を実施している。設備棟では鉄骨ユニットの建方を継続で行っている。ガレキ収集運搬については、昼間はガレキ移動、照明の給油、夜間では3号機周辺のガレキの収集運搬を実施している。直営で実施している1~4号機サブドレン浄化試験のためのポンプ設置作業は、発電機の給油およびホースの設置を行っている。

(書画で説明) クレーン災害の原因対策について報告する。ワイヤーをマストの上に収納するため足場を引こうと作業員がいたところ、ワイヤーが落下して被災したのが状況である。原因は、束ねたワイヤーの固定をしていなかった。番線が荷重に耐えられなかったということである。被災者は吊下で作業していた。人払いが行われずに作業をしていた。安全担当の役割分担が明確でなく、手順書がなく過去の経験での作業内容となっていた。原因について、再発防止対策としては、ワイヤーの固定をチェーンブロックで行う。ワイヤーの捕縛方法を3mから2mピッチという細かい止め方にする。吊下の作業は禁止とする。人払いの徹底を行う。請負会社の安全担当と当社社員が安全パトロールを行う。重点管理ポイントでの作業手順の確認を行う。同様の工事について水平展開を行う。労基へ本日伺い説明をし了解を得た。明日説明会をし、明後日から作業を開始する。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(本店原子炉安全評価 G)2号機格納容器ガス管理システムで排気ガスの分析をしたので速報で説明する。格納容器からガスをひいて再循環をしながら放射性物質を除いて外へ出すというもの。再循環ラインの出口についているモニタリング装置のチャコールフィルタを取出して測定したもの。キセノン131については、半減期12日ということで変わらないが、昨日と本日と同じような数値である。キセノン133については、昨日と本日とったものでは半分位であった。ほぼ測定限界に近い数値を示している。キセノン135は、昨日と本日とったものでは、いずれも $1.2 \sim 1.7 \times 10^5$ でほぼ同じである。ゲルマの分析データの検証を JAEA にお願いしている。半減期の希ガスが発生している原因は中性子源の解析や核種発生評価等実施し評価をしていきたい。ゲルマのシステムとして、資料採取時の濃度に補正する計算をしている。(1F 所長)やる前に、評価のなかで当然やるべき。今からやるってのはおかしい。解析屋と安全屋の対応がぜんぜんなっていない。

(本店原子炉安全評価 G) JAEA の結論について今日明日中に出る予定のため、結論を出したい。

(福島地域支援室) 福島県から申し入れがあるとのこと。情報共有をメール等とする。

(本店環境影響評価 G) 2号機 R/B ダスト採取について。2箇所採取しており、R/B ブローアウトパネル、格納容器ガス管理システムの2箇所測定した。ブローアウトパネルは上下2箇所。結果は、昨日実施してブローアウトパネルの中央部はセシウム134が 1.5×10^{-5} 、セシウム137が 1.7×10^{-5} であった。下部はセシウム134が 8.4×10^{-6} 、セシウム137が 7.3×10^{-6} であった。ガス管理システム出口はセシウム134が 2.8×10^{-5} 、セシウム137が 4.3×10^{-5} であった。なお、1号機は11月4日に実施する。3号機は11月5、6日に実施する。

(安定化 C) 水処理関係の週報。各建屋の貯蔵量は 77450m^3 。移送先プロセス建屋、HTI 建屋はトータル 15150m^3 ほどの貯水状況。1週間の水処理量は7340、累積14万7360 m^3 処理をしている。原子炉への注水状況だが、処理水4368 m^3 、累積で55502 m^3 使っている。

(安定化 C) 11月9日に10時から16時の間で電源停止作業をする。内容は、10月に炉注ポンプや監視計器等を信頼のある5、6号機電源から切り替えしたが、残りの1、2号機についても5、6号機から電源を供給する工事をする。5、6号機と1、2号機の連携線は敷設をしているが、まだ確認試験を行っていないので、停止をして確認試験をして切り替えをする。9日の10時から16時で確認試験をし、その間に切り替えをする。主な停止負荷は1、3号機 N2 供給設備については、D/G で起動する。1、2号機 SFP 冷却装置は6時間停止するが、1号機で 1°C 、2号機で 2°C 程度の温度上昇。1号機カバーリング空調設備や、2号機 PCV ガス管理システムについては大熊線3号から電源を貰っているので電源切り替えができるので停電なく切り替え

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

ができる。

(本店広報班) 本日はガスサンプリングシステムでキセノンが抽出された件がメインであった。今朝の早い段階でホウ酸注入するとメールした。本来11時からの会見であったが、10:20から実施した。記者は30名集まり、高い関心を持っている。会見時間は2時間程度。今日の夕刊はそれぞれ1面で伝えている。一時臨界の可能性、工程や冷温停止が難しくなるとの論調であった。

(保安院山本) キセノン検出について、特に今回事象が発生した情報連絡だが、報告内容は東電でサンプリングを昨日午後3:30に行い、その上で保安院に連絡が入ったのは22:30で7時間要している。核分裂の反応が発生している可能性があるため、速やかに伝達をしてもらうことが重要。評価のためと伺っているが、速やかに連絡をすること。しっかりした対応をすること。

(1F 所長) マスコミで臨界という話が出ているが、解析の議論や、通報連絡もあるが、基本的に発電所内で働いている3000人が非常に気持ち悪い。臨界しているプラントの近くで働くという、目線をしっかり持ってほしい。今までは再臨界はないという説明を聞いている。こういう形で報道されると再臨界に対しての不安感を持つ。そういう観点を忘れないで対応すること。

(OFC) 今の話の続き、20km県内一時帰宅で入っている。多くの警察の方とか働いている。リスクがあるのであればそういった作業を見合わせる。今日、明日で分析が出るとのことであるが、明日の意思決定を考えた場合は、今日中でも教えてもらうことが重要。影響があるかもしれないということであれば、速やかに教えてほしい。感触はどうなのか？

(本店原子炉安全評価 G) 今回のキセノン検出に対しては、これまで監視をしていたRPV 温度、圧力や周辺公衆への影響として測定しているMP のデータは従来のトレンドとなら変わらない。外部への影響は特に何もないと考えている。

(本店保安班) 希ガスの人体への影響はセシウムと違い、外部被爆に効いてくる。MP のデータから、人体への影響は極めて小さいと考えている。

(1F 所長) 違う。臨界という言葉に注意して欲しい。そんな報道を読んだら、もっと近くにいる作業員はどうするのか？入っていいといえるのか？そういう観点で考えて結論を出してほしい。

(本店原子炉安全評価 G) 評価の結果を待ちたいが、臨界にいたっているとは考えていない。

(1F 所長) このレベルのキセノンからいうと、連鎖反応していなくてもキセノンは出てくると考えられる。回答がないなら作業をストップさせる。

(本店原子炉安全評価 G) 今日中に結論を出して示す。

(OFC) 臨界になった場合は、放射線の被曝問題以外に別のリスクがある。近くに入らない方が良いということになるのか？

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(1F 所長) 中性子線が出るが、確認されていない。人体に対する影響はない。それが確実であることを確認すること。臨界で作業員がおびえる。ちゃんと説明することをお願いしているもの。

(社長) 我々もデータを見て話し合った結果、爆発が起こるという状況ではないと考えている。データに基づいてこう考えるというのを連絡するようにさせる。福島県も説明を求めてきている。きっちり速やかに連絡するようにさせる。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<11/3(木)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C ■■■■) 本日は、文化の日ということで休日ですが、大勢の方が現場で作業に当られました。大変お疲れ様でした。また、現場を支えていただきました、各所で業務にあられた皆様、お疲れ様でした。本日は、休みということで、若干、継続作業の中にはお休みをしているところもありますが、かなり多くの作業が展開されています。PCV ガス管理システムの設置工事、電源の強化工事、タンク設置工事等々です。また、昨日、この全体会議におきまして、2号機の格納容器からキセノンが検出されたことに関連しまして、今、2号機の状態がどうなっているか、結果を取り纏めるようにとの社長からの指示を受けまして、昨晚から今朝にかけて大勢の方に検討に加わっていただきました。本日、東京電力としてのこの件に関するポジションを纏めましたので、後ほどその内容につきまして担当部署から報告したいと思います。

(1F 所長) 天候は曇りでした。若干、休みで、作業量、作業員は少ない状況でした。事故、ケガ等ありませんでした。トピックスとして、2号機の水素濃度が高めということで、先程、N2 の流量を増やした作業をしています。

(1F 発電班) 1号機は給水系から 7.7m³/h で注水を継続しています。RPV 底部ヘッド温度は 49.2℃です。温度変動がありますが、注水量を増加した11月1日に比べて温度の低下割合は落ち着いてきていますので、継続して監視していきます。D/W 圧力は 20kPa_{gage}、SFP 温度は 23℃で安定しています。2号機は CS 系から 7.1m³/h、給水系から 2.9m³/h、あわせて 10.0m³/h で注水しています。RPV 底部ヘッド上部温度は 74.5℃、D/W 圧力は 8.7kPa_{gage} です。2号の PCV ガス管理システムの水素濃度、現在 2.9%でほぼ一定ですが、N2 流量を変えていますので、こちらも継続して監視していきます。SFP 温度は 25℃で安定しています。3号機は CS 系から 8.1m³/h、給水系から 2.5m³/h、あわせて 10.6m³/h で注水しています。RPV 下部ヘッド温度は 70.5℃、D/W 圧力は 0.2kPa_{gage}、SFP 温度は 24℃、こちらも安定しています。今朝方、使用済み燃料プールの警報が発生していますが、スキーマーサージタンクの水張りを手順通りにやりまして、6時前にクリアしています。4号機の SFP 温度は 31℃、共用プールのプール水温度は 28℃で、こちらも安定しています。5、6号機も原子炉側、使用済み燃料プール側、順調に冷却してまして、パラメータの変動もありません。

(1F1～4号復旧班) 水移送関係は、現在、3号機の T/B から HTI 建屋に移送を継続しています。2号機は現在、移送を停止していましたが、明日、2号機 T/B から HTI 建屋への移送を再開します。それに合わせて、1号 T/B から2号 T/B への移送も開始します。サイトバンカーからプロセス建屋への水移送も明日1日ですが移送を予定しています。水位関係は、1号機は T/B で 10mm の上昇です。2号機は 21～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

24mm の上昇です。3号機は 5mm～8mm の下降です。4号機は 3mm の下降です。受け入れ側の集中 R/W については、プロセス建屋が 44mm 下降して OP2751mm です。HTI 建屋が 20mm 下降して OP1434mm で、ほぼシミュレーション通りに推移しています。滞留水処理装置ですが、KURION は H ベッセル 2 塔を本日交換しています。最終的に流量を 18.2m³/h に調整して、現在も安定に稼働しています。SARRY も 28m³/h で安定に運転しています。本日、作業のトピックスとしまして、2号機の PCV への N₂ ガスの封入を実施しています。水素濃度は 2.9% ということで、N₂ ガス流量を 21Nm³/h から 26Nm³/h に調整しています。現時点でまだ水素濃度は 2.9% ですが、様子を注意深く見ていきます。

(1F5, 6号復旧班) 6号機 T/B 地下から仮設タンクへの移送ですが、本日は10時から16時で行われました。明日はありません。ひまわりの散水は11月7日から再開の予定です。明日は、この関係でタンク間の移送のみとなります。5, 6号の取水路の土砂撤去ですが、現在、地元、県等の説明資料とアポイントメント関係をやっています。

(1F 土木班) タンク設置工事は、G エリア、H エリアで継続実施中です。遮水壁の設置工事は、第一工区、第二工区ともに実施準備のためのボーリングを開始しました。

(1F 建築班) 1号機カバー工事については、本日協力企業体の事務所で人身災害再発防止対策の周知会をやりまして、7日から作業再開の予定です。3号機のガレキ撤去工事は、南側ヤードの路盤整備、構台への重機の設置、2, 3号 T/B 海側ヤードで採石敷きをやっています。明日は継続作業の他に L 型 PC 廻りのコンクリート打設、T/B 屋上でのダクト解体等を行います。4号機ガレキは、オペフロのガレキ撤去および 750t クレーン組み立てヤードの整備を行ってまして、明日は屋上線量測定のためオペフロのガレキ撤去は行わず、ヤードの整備、ボーリング調査を行います。ガレキ運搬は、夜間作業で3号のガレキ運搬を本日、明日行います。スラッジ貯蔵施設は、スラッジ棟で鉄骨ユニットの建方を行っており、明日は継続の他に壁コンクリートの打設、設備棟では鉄骨ユニットの建方を行っていましたが、本日で終了しまして、明日からは外壁メディシール、鉄骨内部の塗装等を行います。

(安定化 C █████) 冒頭お話ししました、2号機の状態に対する東京電力としての見解を纏めましたので、これを報告します。

(本店原子炉安全評価 G) (書面にて説明) 昨日、宿題いただきました、2号のガス管理システムでキセノン135が検出されたことに対する対応、これの当社のスタンスを整理しました。まず、これは2号機に新たに設置したガス管理システム、これの運用を開始する段階での事前準備が不十分であったのですが、検出されたキセノン135は核分裂で生成することは間違いありません。キセノンは約9時間という短い半減期で生じますので、原子炉では通常未臨界であっても極僅かな量の核分裂が常時起

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

こっています。そのため、今回のシステムが高感度のシステムを持ち込みましたので、微量のキセノン135が検出されたということでした。このため、一部で臨界状態という懸念が生まれましたが、これから述べる3つの理由で臨界ではないと考えています。まず一番目は、キセノン135のレベルが非常に低いということです。これは、中性子がなくても自発的に核分裂を起こしている物質が炉内にはありますが、これはキセノンで、それを計算で推定した量と今回実測されたキセノン135の量が概ね一致している。そのため、これは自発核分裂のものに間違いはないであろうというのが一つ。それから、臨界状態でありますと、普通の原子炉でありますと、大きな核分裂が生じます。今回観測されている10+4、具体的には(聞き取れず)が本来ならば観測されるはずですが、現在観測されている量は非常に少ない。この2つの理由で自発核分裂に間違いはないと考えています。2つめの理由は、ホウ酸を1日の夜に注入しましたが、もし、仮に臨界があったとするならば、ホウ酸によって未臨界になりますので、キセノン135は消滅するはずですが、注入前と後も同じレベルの数値が確認されています。つまり、... (安定化 C ■■■■■) 書画が写りました。もう一回、①から説明をお願いします。(本店原子炉安全評価 G) 3つの理由で臨界でないと言えますが、まず第一の理由は、観測されているキセノン135が非常に低いということです。自発核分裂で生じるキセノン135の量を計算することができますが、その量と現在測定されている量が概ね一致します。また、もし、臨界であった場合は、もう少し核分裂の量が大きくなりますので、観測されるキセノン135の量は(聞き取れず)はずですが、それに比べて現在の測定値は非常に小さい。この2つの理由で、今回検出されたものは、自発核分裂によって発生したもの、つまり、臨界と無関係の、勝手に時々核分裂するという、そういう性格のもので生じているということが第一の理由です。②は、ホウ酸の注入を11月1日の夜にホウ酸を注入しましたが、その後もキセノン135の検出レベルが特に変化がない。仮に臨界でありましたら、ホウ酸を注入したことによって、キセノン135のレベルが変化するはずですが、自発核分裂が臨界と関係ないので、同じくらいのペースで極微量であります。キセノン135を出している。これも2つめの理由として、自発核分裂であることを示しています。3つめは、原子炉のパラメータ、圧力や、圧力容器、D/W 各部の温度、そういうものに特に大きな変化が見られない。臨界が発生していると、それなりの大きな熱が発生しますので、これらのパラメータに変化が見れるはずですが、それらに変化が一切見られていない。そういう部分でもキセノン135の発生が自発核分裂であることを指しています。3つの理由から、これは確信を持って臨界ではないと判断できると考えています。最後に、極微量とはいえ、新たな核種が出ていますので、放射線の影響を評価しました。年間を通して0.1mSv、この程度と考えていまして、(聞き取れず)。1日からのキセノン135の検出に関する対応、ポジションは今、申し上げたものになっています。

(原子力安全・保安院)今、ご説明いただきましたが、保安院としましては、東京電力

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

さんから、明日予定されていると思いますが、公式な形で報告をいただくことを予定しています。その上で、保安院として専門家の意見を聞きながら、このような評価が妥当であるか評価していきたいと考えています。

(本店広報班) 本日のマスコミへの説明状況です。本日は休日ですが、11時から、キセノンの検出についてということで説明しています。雰囲気としては冷静に聞いていただいたということで、ご理解いただいたということは雰囲気としてあります。ただし、保安院さんからもご発言がありましたが、当社の見解ですので、今後、保安院さんには丁寧にご説明するスタンスにしています。記者の感触としては、確認評価に時間がかかることは分かるが、今後も今回のように速やかに情報発信して欲しいといわれていますので、今後もそのようにしたいと思います。なお、6時から会見を予定しています、追加の質問等を受ける状況です。

(安定化 C ■■■■■) 統合本部全体会議終了します。ご安全に。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<11/4(金)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C ■■■■) 本日、現場で作業にあられた皆様、また、現場を支援いただいた各部署の皆様、お疲れ様でした。本日は、休みと休みの間ということで、若干、現場作業は少なめでありましたが、タンク設置工事、電源強化工事、3、4号機の R/B のガラ撤去工事など、それぞれの方面で作業が広範囲で展開されました。また、重大なトラブルもなく、また、ケガもなく、予定の進捗ができました。

(1F ユニット所長) 発電所は、今日は晴れ。風も波も穏やかでした。傷病者の発生はありませんでした。プラントのパラメータ、RPVの関連温度含め、安定に推移しています。1号の RPV 下部温度は緩やかな低下傾向を示しています。昨日、格納容器内の水素濃度が 3% 近くになりました 2号機、N₂ の注入量を増加させていますが、本日、さらに水素ガスのパーズを促進させる目的で、格納容器のガス管理システムの抽出量を増加させる操作を行っています。水素濃度は低下傾向を示しています。水処理設備、順調に稼働しています。滞留水の移送関係は、2号の T/B から HTI 建屋に移送を開始するなど、各建屋の水位の状況に応じたオペレーションを本日も行っています。

(1F 発電班) 1号機は、給水系から 7.7m³/h で注水中です。RPV 底部ヘッド温度は 48.1℃で、ゆっくり低下しています。D/W 圧力は 19kPa_{gage}、SFP 温度は 23℃です。2号機は、CS 系から 7.1m³/h、給水系から 2.9m³/h、あわせて 10.0m³/h で注水中です。RPV 底部ヘッド上部温度は 74.8℃、D/W 圧力は 10.07kPa_{gage} です。2号の PCV ガス管理システムの水素濃度は現在 2.5%で、昨日 PCV への N₂ 封入流量を増加させた後は、ゆっくりと低下傾向を示しています。SFP 温度は 26℃です。3号機は、CS 系から 8.0m³/h、給水系から 2.4m³/h、あわせて 10.4m³/h で注水中です。RPV 下部ヘッド温度は 70.6℃、D/W 圧力は 0.2kPa_{gage} です。SFP 温度は 24℃です。今朝方、3:30に SFP の一次系ポンプの吸込圧力低の警報が発生しています。これについては、手順書に基づいてスキーマサージタンクへの水張り、約 3m³ になりますが、これを行いまして吸込圧力を増加させまして、6:36に警報をクリアさせています。吸込圧力については監視を継続しています。4号機の SFP 温度は 32℃、共用プールのプール水温度は 28℃です。本日、11:58に1、2号機のプラントパラメータを伝送しましたデジタルレコーダの指示値、計器監視用に用いていますウェブカメラの一部の画像が監視できない状態になっています。その後、データ伝送システムのネットワークスイッチを再起動させまして通常状態に復帰しています。この間、原子炉への注水や格納容器の N₂ 封入設備の運転に影響はなく、監視も行っていました。5、6号機は原子炉、使用済み燃料プールとも、順調に冷却してしまして、パラメータの変動はありません。

(1F1~4号復旧班) 炉注水関係ですが、本日、炉注ポンプの3号機の軸受の点検を実施しまして、ポンプを停止しています。それに際し、1号と2号の炉注水ポンプに

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

てプラントの1, 2, 3号機について炉注水を実施して、特に問題ない結果になっています。3号機の炉注水ポンプは点検を一旦完了し、現在スタンバイ状態です。水移送関係は、本日、2号機 T/B から HTI 建屋への移送を再開しています。3号機 T/B から HTI 建屋への移送は継続しています。それに合わせて、1号 T/B から 2号 T/B への移送を実施しています。サイトバンカーからプロセス建屋への水移送を10時から15時、29分の間で実施しています。水位関係は、1号機 T/B で7mm 上昇しています。2号機は T/B で変化ありません。トレンチで約 2mm の上昇です。3号機は 2mm から 7mm の下降になっています。4号機は今朝から 7mm の下降ですが、11時からの5時間では若干逆に上昇している状況ですので注視していきます。受け入れ側の集中 R/W については、プロセス建屋が 8mm 上昇して OP2681mm です。HTI 建屋が 89mm 上昇して OP1486mm です。滞留水処理装置ですが、KURION、SARRY とも順調に稼働しています。本日、作業のトピックスとしまして、2号機 PCV ガス管理システムの抽気流量の増容量ですが、14Nm³/h から 22Nm³/h に抽気を上げています。その後、若干流量が増えていて、現在、23.5Nm³/h で安定しています。5, 6号機については、本日、RO 装置を起動を13:30に実施しています。

(1F 土木班)汚染水の処理設備ですが、G エリアは場内整備、明日も継続です。H エリアはタンクの組み立てを実施しまして、明日も継続です。遮水壁の工事は、第一工区で物揚場でボーリングを継続実施、明日も同様です。第二工区で南防波堤の(聞き取れず)のところ、こちらで本日は準備工としまして遮蔽壁の設置等を行いました。明日はボーリングを再開する予定です。

(1F 建築班)1号機 R/B カバー工事については、本日、明日休工で、予定通り、7日から作業再開予定です。3号機上部ガレキ撤去は、南側ヤード、2, 3間海側ヤードの路盤整備、ダクト解体、ガレキ降ろしを構台上で行いました。明日も継続となります。4号機は、750t クレーン組み立てエリアの整備、ボーリング調査を行い、明日も継続となります。スラッジ貯蔵施設は、スラッジ棟で壁柱の PC の建方を行い、設備棟では外壁メディシール、内部塗装を行い、明日も継続です。その他、サブドレン浄化試験に伴う直営工事として、本日、ポンプ、ホースの設置等を行いました。

(安定化 C ■■■■)一昨日、昨日と、3号機でロボットを用いてガレキの撤去作業を実施しました。その結果について報告します。

(安定化 C 技術支援部) (書画にて説明)3号機の PCV ガス管理システムの資機材搬入のために干渉物等の撤去を行いました。作業したエリアは3号機の大物搬入口から入りまして北側に昇って二重扉、この場で干渉物がありましたのでロボットで撤去しました。主なものとして、ポール、ドラム缶、フェンスや照明器具等が落下していました。写真ですが、上段が作業前、下段が作業後です。こちらの例では、PCV 機器ハッチ前にあったフェンス等を除去しました。通路にあった照明器具やフェンス等も除去して通路を確保しました。西側、原子炉建屋1階西側通路ですが、砂や石、ダスト等がありまして、ブラシ等で除去しました。こちらも同様に、機器ハッチの下の石とデブリを除去しました。干渉物撤去の後、線量測定していきまして、こちらが結果

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

です。PCV です。こちらが R/B の二重扉です。こちらが PCV の機器ハッチです。このあたりで最大 620mSv/h. を昨日確認しています。また、補足ですが、ロボットに人が付ける線量計と同じものを付けていまして、ロボットの被ばくも確認しています。ここで、ウォーリアーという大型のロボットの作業エリアがこの濃い紫のところにして、パックボットがこちらの全体のエリアを通過していますが、パックボットだけにβ線の被ばくが確認されています。また、PCV の機器ハッチの前のあたりに水が濡れているような模様が今回確認されています。参考に、ロボットのウォーリアーの干渉物撤去の動画をご覧ください。こちらがウォーリアーというロボットでドラム缶を除去しているところです。次に、先程の高線量エリア、620mSv/h を確認したエリア付近の手摺りを除去しています。

(安定化 C ████████) ここは、3号機で今後予定しています、3号機の PCV ガス管理システムの取付作業をする予定のエリアで、ロボットで高線量のエリアで干渉物の作業ができたということで、立派な成果だと思えます。同時に、一番最後に少し報告がありました水の濡れたような跡があるという、そういう映像がこのロボットが認識できたということも、これからの安全を管理していく上で貴重な情報が得られたということではないかと思えます。このエリアは過去に CS ラインから注入するためのホースを引く作業で何人かの人が入っていますので、そういった知見や過去の映像なども全部足し合わせて濡れた後という、そういう手がかりから何か安全上の問題を抽出していくために検討していきたいと思えます。

(本店広報班) 本日の広報内容をお伝えします。今日は11時から、40分弱で午前中のレクを終えています。説明案件ですが、本日9時に保安院にキセノン135の検出に関する報告書を提出していますので、こちらを公表するとともに報告書の内容を説明しています。この関係で質問はほとんどこちらに関する質問で記者からの質問を受けている状況です。午後は18時から現在、午後の会見を行っている状況です。いつも行っている大気とか海水とか分析関係を中心に説明しています。本日は16時に特別事業計画並びに第二四半期の決算を公表しています。

(原子力安全・保安院) 広報からご説明ありましたように、本日9時にキセノンに関する報告書を保安院として受領しています。この旨につきましては枝野大臣の会見において、受領しこの内容をしっかり確認評価していくこととお話ししています。報告書をいただきましたので、できるだけ速やかに評価しまして、その結果を報告したいと思えます。

(安定化 C ████████) 統合本部全体会議終了します。ご安全に。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<11/5(土)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化C■■■■)本日、作業に当たられた皆様、また、現場を支えるために各所で業務にあたられた方、お疲れ様でした。11/5 の統合本部全体会議を始めます。本日は土曜日ということで、作業は少なめでした。3号機において大型クレーンを使った原子炉建屋上部のダストサンプリングがあった他は、概ね継続作業です。トラブルもなく、また TV 会議システムを使った発話も少なかったようです。概ね平穏な一日だったかと思えます。

(1F 所長)天候は曇り、作業量はそんなに多くなかったという状況で、人身事故等々はありませんでした。ただ、明日は雨が降るということで、それも量も10mm程度降る時間帯もあるということで、要注意ということです。

(1F 発電班)1号機は給水系から $7.8\text{m}^3/\text{h}$ で注水しています。RPV 底部ヘッドは 46.7°C で、今朝からほぼ一定となっています。低下傾向は非常に緩やかになっているということで、継続して見てまいります。D/W 圧力は $20\text{kPa}_{\text{gage}}$ 、SFP 温度は 23°C で安定しています。2号機は、CS 系から $7.2\text{m}^3/\text{h}$ 、給水系から $3.0\text{m}^3/\text{h}$ 、あわせて $10.2\text{m}^3/\text{h}$ で注水しています。RPV 底部ヘッド上部で 73.4°C 、D/W 圧力は $9.9\text{kPa}_{\text{gage}}$ で安定しています。2号機の PCV ガス管理システムの水素濃度は昨日 2.5%、本日 2.6%で推移している。先程 18 時頃で 2.7%になっており、継続して監視しています。SFP 温度は 26°C で安定しています。3号機は、CS 系から $8\text{m}^3/\text{h}$ 、給水系から $2.3\text{m}^3/\text{h}$ 、あわせて $10.3\text{m}^3/\text{h}$ で注水しています。RPV 下部ヘッド温度が 70.8°C 、D/W 圧力は $0.2\text{kPa}_{\text{gage}}$ 、SFP 温度は 24°C で安定しています。3号は今朝 6:32 に SFP の一次系ポンプの吸込圧力低の警報が出ています。必要最低圧力に対して裕度がありますので、圧力を監視しながら運転を継続しています。現時点では、警報設定の 0.05MPa 程度で殆ど圧力の低下は見られていないので、引き続き継続運転致します。4号機は、SFP 温度が 32°C 、共用プールは 27°C 、5、6号機は原子炉、SFP とも順調に冷却しており、パラメータの変動はございません。

(1F1~4号復旧班)水移送関係は、2号機及び3号機 T/B から HTI 建屋への移送を継続しています。現在、1号 T/B から 2号 T/B への移送をしていますが、明日停止する予定です。水位関係は、1号機 T/B で 132mm の下降です。2号機 T/B で $9\sim 10\text{mm}$ の上昇です。3号機については $3\sim 6\text{mm}$ の下降です。4号機は 11mm の下降です。受け入れ側の集中 R/W ですが、プロセス建屋で 45mm の下降で $OP2559\text{mm}$ 、HTI 建屋が 137mm 上昇して $OP1853\text{mm}$ で、ほぼシミュレーション通りに推移しています。滞留水処理装置ですが、SARRY、KURION とも安定的に稼働しております。SARRY が $28\text{m}^3/\text{h}$ 、KURION が約 $17\text{m}^3/\text{h}$ で順調です。明日 H ベッセル 2 棟の交換予定です。本日トピックス的な作業はございませんでした。明日は若

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

干、数は少ないですが作業はありますので注意していきたいと思えます。

(1F5～6 号復旧班)本日メガフロート、T/B から仮設タンクへの移送はありませんでした。明日は仮設タンクへの移送は 10 時～16 時実施予定です。滞留水の RO 淡水化処理は継続して実施しており、ひまわりによる散水の状況は継続して行っております。

(1F 土木班)汚染水処理関係、本日 H エリアでタンクの組み立てを実施しています。遮水壁は、1 工区、2 工区ともボーリング抗ということで継続実施でした。明日ですが、主だった工事は休工になります。構内の道路整備等が予定されています。あと、先程所長からあった気象状況ですが、朝 9 時から 12 時の 3 時間降雨で 10mm 程度、12 時から夜 9 時、それぞれ 3 時間降雨で 5～9mm 程度の予報となっています。風は明日の夜、6 日の日付が変わる頃、24 時頃から平均で 5m 程度の風、最大瞬間で 10m 程度との予報が出ています。

(1F 建築班)カバーリングですが、1 号機については本日・明日とも休工です。災害発生以降の対策を検討し、月曜日から再開する予定で準備を進めています。3 号機ガラ撤去関係は構台上でダクト解体、ガレキ降ろし、2・3 号間の海側で砕石、南側ヤードで路盤整備を実施しており、明日も継続実施の予定です。4 号機ガレキ撤去関係、750t クレーン組み立てエリアで溶接等の整備等を行っています。また、そちらの地盤のボーリング調査等、こちらも明日継続実施の予定です。スラッジ貯槽設置については、スラッジ棟において継続作業で壁柱 PC 建方、コンクリート打設、足場組み立て、壁スリーブ・ダクトの取り付け、設備棟において、ほぼ外形が完成しているので、外壁の目地シール、鉄骨のタッチアップ塗装、クリーニング等、明日の作業についてはスラッジ棟の足場の解体のみを行う予定です。ガレキ収集運搬関係は、本日昼間、ガレキの移動、照明の給油、本日これから夜間作業で 3 号機周辺のガレキの積み込み運搬を行います。明日は休工の予定です。滞留水移送配管 PE 管化に伴う建築工事ですが、4 号 T/B 周辺のガレキ撤去を行い、明日は休工の予定です。1・4 号サブドレン浄化試験に伴う、直営で行っている準備工事並びに 66 開閉所については本日・明日とも休工となっています。

(1F 所長)降水量の確認ですが、3 時間降雨で 10mm、1 時間に相当すると 3mm くらいということで、先程 10mm と申したのは 3 時間降雨ということで修正して下さい。

(安定化 C ████████)安定化センターは、今日報告することはございません。本店本部さんからご報告事項がございましたらお願いします。

(本店広報班)本日のプレス対応状況についてご報告します。本日は午前中 11 時から、██████による発表で、プラントの状況等を説明し質疑は全くなく 5 分間で終了しています。夕方は 18 時から、同じく██████から会見、当社単独会見です。内容は、プラントパラメータ等のご紹介に加え、3 号機原子炉建屋のロボットによる干渉物の撤去作業の結果、それからシリーズ企画で淡水化のしくみにつ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

いてご説明する予定になっています。

(安定化 C ■■■■) 本日は土曜日にもかかわらず、大勢の方が作業にあたり、また参加頂き、大変お疲れ様でした。明日も作業がごございますので、引き続き宜しくお願います。ご安全に。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<11/6(日)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C ████████) 本日作業に当たられた皆様、あるいは現場を各所から支えて下さいました皆様、お疲れ様でした。11/6 日曜日の統合本部全体会議を始めます。本日は昼過ぎから雨が降り始めました。作業は休日ということで少なめでしたが、雨の中、順調に進捗をみたようです。なお、建屋水位は大きな変動はありません。2号 PCV ガス監理システムにおける水素濃度も変化ございません。プラントの状況、作業の進捗について、福島第一さんからご報告頂きたいと思えます。

(1F ユニット所長) 本日は午後から雨模様という状況で今も降り続けている状況ですが、特に傷病者の発生はなく作業の方は進んでいます。本日のトピックスとしては、燃料プール関係で、2号機 放射能の除去装置が 11:04 からインサービスになっています。3号機に関しては、使用済燃料プールの冷却装置のストレーナの詰まりがあるだろうということで、明日ストレーナの詰まりを除去するために、一旦冷却装置を停止する予定になっています。水処理関係では、1号機から1号 T/B に送っていた水の移送を停止しています。蒸発濃縮装置に関して、給水ポンプの不具合があり、ボイラが停止しているという状況ですが、対応ができるだろうということで、明日具体的な対応をしたいと考えています。油が溜まっていた野鳥の森の防油堤ですが、こちらの水を抜く作業を本日も実施しています。明日の作業ですが、しばらく事故の関係で止まっていた1号機のカバーリングのクレーンの片付け作業、対策ができたということで、明日から作業を開始したいと考えています。それから明日は海外のコンサルタントチームの方々が福島第一にご視察になられる予定になっています。

(1F 発電班) 1号機は給水系から 7.8m³/h で注水中です。RPV 底部ヘッドで 45.2℃ です。低下傾向が非常に穏やかになっています。D/W 圧力は 20kPa_{gage}、プール水温は 23℃ です。2号機は、CS 系から 7.2m³/h、給水系から 3.0m³/h、あわせて 10.2m³/h の注水を行っています。RPV 底部ヘッド上部で 72.4℃ です。D/W 圧力は 9.8kPa_{gage}、PCV ガス管理システムの水素濃度は現在 2.6% です。ここ一日変化無く安定状態にあります。プール水温は 27℃ です。なお、先程ありましたが、使用済燃料プールの冷却系において本日 11:04 にプール水のセシウムを除去する装置をインサービスしています。トラックの荷台に上げた吸着塔に通水をする形でセシウムの除去を開始しました。3号機は、CS 系から 8.0m³/h、給水系から 2.3m³/h、あわせて 10.3m³/h の注水です。RPV 下部ヘッド温度は 71℃、D/W 圧力は 0.2kPa_{gage}、プール水温は 25℃ です。なお、先程紹介がありましたように、使用済燃料プールの循環ポンプの吸込圧力に低下が見られますので、明日 14 時から 17 時にかけて系統停止してポンプの吸込台にあるストレーナのフラッシングを行う予定です。現在はプール水温の温度上昇率の評価としては、1 時間に 0.2℃ 程度の評価になっています。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

4号機はプール水温 32℃、共用プールは 27℃です。5, 6 号機については特にトピックスございません。冷却は順調に行われています。

(1F 復旧班) 水移送関係ですが、2号 T/B、3号 T/B から HTI への移送を順調に継続しています。本日、1号 T/B 抜管エリアから 2号機 T/B への移送を停止しています。9:41 です。水処理設備ですが、キュリオン、サリーの運転は継続で順調に行っています。先程ありましたが、淡水化装置の蒸発濃縮装置用ボイラについてですが、給水タンクのレベル低低によりボイラがトリップした関係で、蒸発濃縮装置を手動で停止しています。これについては、ボイラの 2 台ある給水ポンプのうち、運転していた方のポンプが不調と想定されましたので、もう一方のポンプを起動したところ、給水タンクの警報をクリアすることができました。従って、明日メーカーさん立ち会いの下、再起動することとしています。それから、明日ですが、キュリオン、サリーともベッセル交換はありません。水位関係ですが、1号機 T/B で 20mm 下がり OP3768mm です。R/B については 14mm 上昇 OP4447mm です。2号機については、T/B が 3mm 下がり OP3051mm、トレンチについては 4mm 下がって OP3032mm という状況です。3号機については、T/B が 5mm 下がって OP2967mm、トレンチが 4mm 下がって OP3210mm です。4号機については 5mm 下がって OP3005mm という状況です。集中 R/W ですが、プロセス建屋で 45mm 下がり OP2436mm、HTI は 127mm 上昇して OP2197mm という状況です。作業関係ですが、明日は継続的な作業が殆どですが、1号で PCV ガス管理システムの配管サポート・ケーブル等の布設を継続で行っています。5・6号で滞留水関係ですが、浄化水の散水を明日から再開します。明日は野球場の周辺を行います。滞留水の移送はありません。

(1F 土木班) RO の処理水タンク、H エリアですが、明日はタンクの組み立てを実施します。明日の作業ですが、海側の遮水壁は 1 工区・2 工区ともボーリングを継続になります。本日の作業は主だったものはございませんでした。

(1F 建築班) カバーリング関係ですが、1号機、先程ユニット所長からご紹介がありました通り、明日からクレーンの解体作業を再開したいと思います。3号機ガレキ撤去関係ですが、こちらは継続作業で、本日も構台上でダクト解体、ガレキ降ろし、2・3号間で碎石敷込、それに伴う L 型 PC の設置、地組ヤードで鉄板溶接等の作業を実施しています。明日も継続作業です。4号機、本日は休工で、明日より 750t 組み立てエリアの整備を中心に作業を再開します。スラッジ貯槽設置、こちらは本日は内部足場の解体のみで明日よりスラッジ棟の PC 建方を中心に作業を再開します。ガレキ収集・運搬関係、こちらは本日は休工で、夜間作業も休工となっています。再開は明日、昼間のガレキの移動、夜間の運搬から作業を始めます。滞留水移送配管 PE 化に伴う建築作業ですが、本日は休工で、明日より 4号 T/B のガレキの撤去を再開します。直営で行っている 1~4号のサブドレン浄化試験ですが、先週までポンプを設置して水を汲み上げていますので、そちらの状況を確認した後、サンプリング

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

をやるかどうかの判断は明日現場を見てから決めたいと思います。66 開閉所については、本日休工で、明日より敷地造成を再開したいと思います。

(安定化 C ■■■■■)安定化センターから若干報告させていただきます。先程ご報告がありました 2 号機の塩分除去装置の設置に先立ち、2 号機のプールの放射能濃度を低下させるための放射能除去装置が本日からインサービスしたので、その概要をご紹介します。

(安定化 C 冷却 Pj 部海水腐食防止 G) (書画にて説明)本日 11:04 に、2 号機の燃料プールの放射性物質の除去装置を設置しています。設置の目的ですが、そもそもプールの塩分除去をするために、そのまま塩分除去を行うと放射性物質の濃度が高くなり、塩分除去するのが困難になるということで、それに先立ち、本日より 2 号機燃料プールの放射性物質の除去作業を開始するものです。2 号機、3 号機ですが、この通り 4 号機と比べると、5 乗、4 乗と非常に高いことが確認されているので、今の 5 乗のオーダーレベルを今回の作業により 2 乗～3 乗に下げるということを今回の作業の目標としています。今回この作業において、2 乗～3 乗に落とす期間ですが、だいたい 1 ヶ月くらいを想定しており、1 ヶ月後また段取りを行い、この装置を 3 号機側に持っていき、3 号機の放射性物質の除去を行うという作業に入ります。2 号機については、現在 4 号機の塩分除去を行っている装置を 2 号機側に移設して、引き続き 2 号機の塩分除去を行うという段取りを計画しています。装置のイメージですが、下の方に絵が書いてあり、左側が使用済燃料プールの冷却システムになっています。プールからサージタンクへ来たものが、熱交を通してまたプールに戻るラインから一部分岐させ、プールの熱交出口から放射能の高いプール水を今回の装置に受け、弁ユニットで流量コントロールしながらセシウム吸着塔に通水し、放射性物質を除去した後に処理水を系統に戻すと。これにより 2 号機の放射性物質の除去を行うというものです。本日写真を撮っており、こちらが吸着塔を搭載したトレーラーの写真になっています。トレーラーの荷台の四角い箱にセシウム吸着塔が入っており、そこに通水させ徐々に放射性物質の除去を行うものです。もう一つ、弁ユニットですが、トラックごと 2 号機の FSTR 建屋に、流量をコントロールさせたり、制御系を乗せているというもので、この装置によって放射性物質を除去するという作業に入っています。

(安定化 C ■■■■■)放射能除去のデータについては今後この場で皆様方に適宜報告させていただきますと思います。もう一点、蒸発濃縮装置に加熱蒸気を供給するためのボイラがトリップし、蒸発濃縮装置が停止することがありました。この状況について説明を致します。

(安定化 C 水処理 Pj 部) (書画にて説明)こちらの図面は、キュリオン・サリーで処理した水が SPT に入っていく、それ以降の系統を示した図になっています。SPT に入ってきた処理水は RO 装置で塩水を除去し、その後バッファータンク経由で原子炉へ注水されます。今回発生したボイラは、この RO 装置で発生した濃い塩水を更に

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

処理するための蒸発濃縮装置を駆動するために必要な蒸気を作るボイラで発生したものです。細かい図面はこちらになっており、タンクに溜めた水を加熱するボイラに送るポンプがあり、こちらのポンプの一つに本日不具合が発生し、運転していたボイラ B のレベル低低 ANN が発生し、自動停止しました。ボイラから供給する蒸気なくなるので、蒸発濃縮装置の 3B・3C を運転していたところを手動停止したものです。ボイラが停止した原因については、ANN が発生したのがタンクのレベル低低ということなので、運転していたポンプの駆動がよろしくなかったのではないかとということで、その後調査のために B ポンプを一旦起動したところ、ANN が解消されています。ということで、A ポンプで十分水が送れなかったのではないかと、現在は考えています。詳細は明日体制を整えて改めて試運転等をして問題なければ明日運転を復旧させたいと考えています。なお、蒸発濃縮装置は停止していても、RO 装置により水をバッファータンクから下流の原子炉に注水することができるので、すぐさま原子炉注入に問題が出るものではないと考えていますが、速やかな対策をしたいと考えています。

(安定化 C ■■■■■) 原因究明は慎重にお願いします。

(本店広報班) 会見の状況についてお知らせします。本日は日曜日ということで、午前中は広報方からプラントデータ等についてご説明させて頂き、10 分程で終了しています。夕方は 18 時から■■■■部長で対応しており、今話が出ていました 2 号の使用済燃料プール放射性物質除去装置の設置について、明日から再開するクレーンの解体作業、蒸発濃縮装置のボイラ停止についてご説明させて頂いています。

(安定化 C ■■■■■) それでは 11/6 の統合本部全体会議はこれにて終了したいと思います。ご安全に。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<11/7(月)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C ■■■) 昨夜まで降っていた雨が上がり、概ね曇りであった。気温は16℃であった。週が明け、全面的に作業が展開された。1号機カバーリング工事のクレーン解体作業も再開した。本日は、怪我や重大トラブルがなかった。

(1F ■■■) 昨日までのトラブル復旧関係は、3号機 SFP のポンプストレナの洗浄を現在実施中でまもなく復旧できると思われる。エバポレータのボイラーについては、吸水ポンプを予備に切り替えて起動している。1号機カバーリング工事については、再発防止対策をたてて当社立会のもと無事再開された。明日、電源工事関係で2、3号機の水移送を停止する予定。N2についてはD/Gに切り替える作業をする。4号機ガレキについてはMG-SET油抜き作業を1週間程度明日から実施する。明日から、1Fに免震棟や5、6号機に来られる方はマスクは着用せずとも良い。本日は世界原子力発電協会のメンバーが来た。明日は災害医療アドバイザー及び海上保安庁が視察する予定。

(1F 発電班) 1号機は給水系から7.8m³/hで注水中です。RPV 底部ヘッドで44.3℃です。D/W 圧力は20kPa_{gage}、プール水温は23℃です。2号機は、CS系から7.3m³/h、給水系から3.0m³/h、あわせて10.3m³/hの注水を行っています。RPV 底部ヘッド上部で73.3℃です。D/W 圧力は9.2kPa_{gage}、PCV ガス管理システムの水素濃度は現在2.4%です。低下傾向である。プール水温は27℃です。3号機は、CS系から8.0m³/h、給水系から2.3m³/h、あわせて10.3m³/hの注水です。RPV 下部ヘッド温度は70.8℃、D/W 圧力は0.2kPa_{gage}です。なお、使用済燃料プールの循環ポンプの吸込圧力に低下が見られますので、現在作業を行っている。14:30から停止しており、フラッシング作業を実施した。再起動に向けた準備を進めているところ。4号機はプール水温32℃、共用プールは27℃です。

(1F 発電班) 5、6号機については特にトピックスございません。冷却は順調に行われています。

(1F 復旧班) 2、3号機T/Bからの移送を継続している。明日は、11月9日に予定している電源停止の関係で移送を停止する予定。水処理はキュリオンとサリーは運転順調である。昨日停止した淡水装置のボイラーは14:55再起動しており、蒸発濃縮装置本体は今晚再起動予定。

水位関係ですが、1号機 T/B で18mm 上昇し OP3821mm です。R/B については23mm 上昇で OP4500mm です。2号機については、T/B が4mm 下がり OP3034mm、トレンチについては4mm 下がって OP3016mm という状況です。3号機については、T/B が5mm 下がって OP2955mm、トレンチが3mm 下がって OP3200mm です。4号機については3mm 下がって OP2996mm という状況です。集中 R/W ですが、プロセ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

ス建屋で 43mm 下がり OP2318mm、HTI は 129mm 上昇して OP2541mm という状況です。明日は、1号機 PCV ガス管理システム設置工事を継続で実施する。電源停止がらみで1、3号機の窒素供給装置を切り替えるため PSA4号機から5号(D/G 駆動)に切り替える。1号機仮設のIAコンプレッサーを電動からD/Gに切り替える。水処理設備でキュリオンのHベッセル2塔交換をする予定。5、6号機浄化水の散水を北門周辺で行う。滞留水の移送はなし。

(1F 土木班)タンク関係はHエリアでタンク組み立てを継続で実施する。ガラ撤去工事関係は本日休工で明日も休工である。海側防水壁の工事では継続でボーリングを実施する。明日は物上げ付近でのボーリングは所定の深度まで達するのでボーリングコア確認をする予定。

(1F 建築班)1号機のカバーリング工事を10時に再開した。当社監理員も現場に立ち入り、KY確認や実際の作業での再発防止対策での作業が進められているか、作業の最後まで立ち会って確認した。いずれも再発防止にのっとった作業で実施されており問題はなかった。今後も、解体が続くので作業手順について要領書を監理員として立ち会って見ていきたい。明日は引き続き750tクレーン本体の解体を実施する。3号機ガレキ撤去関係ですが、こちらは海側の構台ジグミヤードの鉄板敷き、ダクト解体を実施しており、明日も継続作業です。4号機では1号機で使用した750tクレーン組み立てエリアの整備を実施している。将来のSFP取り出しのためのボーリング調査を実施している。明日も継続。スラッジ貯槽設置建築工事は、スラッジ棟では壁柱のPC建て方、足場解体、設備棟では外壁の水シール、床の防塵塗装を実施している。明日も継続。

(安定化C水処理プロジェクト)2、3号機からプロセス建屋、HTI建屋への移送についてシミュレーションを実施した。2号機の移送については、11月4日起動している。その後、1号機から2号機への移送があり、水位が上がったが、移送が終わったので水位が低下している。3号機の移送については、11月2日に開始して水位は下降中である。今後は2号機、3号機とも11月9日の電源停止により明日の夕方移送を停止する。2号機は明日の夕方再開するが、その後は基本的にポンプ1台で移送するが適宜1号機からの移送をするので水位が上下する。3号機では明日移送を停止した後は、現在水位が低いとしばらく停止するが、15日に移送を再開する。その後は水位低下を続けると考えている。今後のオペレーションは水位を見ながら柔軟に対応する。

(安定化C海水腐食防止G)前回8月に測定したが、3ヶ月たったので特段問題ある変化があるか確認した。結論からいうと問題となる数値の変化はなし。1号機は水質は前回と同等。2、3、4号機は若干PHが上昇しているが、定期的にヒドラジン注入を実施しているためと思われる。

塩化物イオン濃度は3ヶ月前と特に変化なし。4号機は8月下旬から浄化していたが、

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

現在2000→150ppm まで浄化が進んでいる。今月の末にイオン交換システムに交換して年内には通常の管理値にする予定。

放射能濃度については変化なし。4号機は放射能濃度が落ちてきている。

(安定化C環境影響評価チーム)11月4日の1号機ダスト濃度測定について、機器ハッチとフィルターユニット入口出口で測定した。機器ハッチは前回とほぼ同じ値である。排気フィルターの入口については今回低めの数値となっており、出口は検出されていない。3号機については、11月5日に測定した。前は北側を測定したが今回はクレーンが南側に届くので、3カ所計測した。測定結果としては高いところでは南東側のセシウムが $6\sim 7\times 10^{-4}$ であった。前は北側で測定しているが、比較するとセシウムについて今回は今回一桁低い状態であった。9日に北側機器ハッチを計測し、3号機の放出量の評価をしていきたいと考えている。

(本店広報班)11時から単独、16:30から統合会見を実施している。午前中では、3号機の循環冷却装置のストレーナ洗浄について、2号機SFPの放射性物質除去装置の設置状況について説明した。16:30からの統合会見では現在やっているところであるが、1、3号機建屋ダストサンプリング結果について説明をする。また、2号機キセノン検出の質問がいくつかあったようである。

(保安院)キセノンの検出については、保安院としても独自の計算をして東京電力と同じ結論である。評価結果とりまとめた際には、県知事からは測定結果出てから報告が遅れたと指摘されている。併せて臨界であったか情報を出すようにとのこと。保安院への報告が遅れたことについて改善をお願いした。2Fについては、海水冷却系復旧が進んでいるが、本日付で報告徴収命令を命じた。2Fにおける設備の恒久復旧の対応状況についてである。保安院としては、福島の実施状況をふまえて評価していきたい。来週以降は立ち入り検査を予定している。

(小森)2号機のキセノン検出については、社内にも反省点があり報告の点からも反省がある。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<11/8(火)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C ■■■)本日、深夜に2件のトラブルが発生しました。一つが4号機塩分除去装置にてフランジからの漏えいにより自動停止しています。もうひとつは蒸発濃縮装置のボイラに水を供給するためのポンプの調子が悪くなり、昨日起動しましたが、今朝もう一度自動停止しました。その他各エリアにて作業が行われ、予定通り進捗しました。

(1F ■■■)本日の天候は穏やかでした。残念ながら1名のけが人が発生しました。電源関係の作業の方で、ケーブルトレイに指を挟み、左の薬指を裂傷しました。大きな状況になっていませんが、再度現場の安全確認を徹底したいと思います。

現場では、明日の所内共通 M/C の電源工事にともなう準備として、いくつか電源関係の切替、装置の停止等を行っています。主なもので、N2 封入装置について、先ほどまでかかりまして、IA コンプレッサも含めて D/G への電源の切替を終了しました。2号機 SFP の放射能除去装置について電源を停止しており、2、3号機の滞留水の移送も停止をしています。本日準備を進めており、明日はその本番となります。

(1F 発電班)1号機は給水系から 7.8m³/h で炉注を行っており、RPV 底部ヘッド温度は 43.2 度で安定しています。D/W 圧力は 20kPa_{gage}、SFP 温度は 22℃です。2号機は給水系から 3.0m³/h、CS 系から 7.3m³/h 合計 10.3m³/h で炉注を行っており、RPV 底部ヘッド上部温度は 73.4℃、D/W 圧力は 8.4kPa_{gage} で通常の変動範囲内です。SFP 温度は 25℃です。PCV ガス管理システムの水素濃度は現在 2.2%で若干の低下傾向を示しています。3号機は給水系 3.0m³/h、CS 系 8.0m³/h 合計 11.0m³/h で炉注を行っています。給水系の流量が 2.3m³/h まで低下していたため、本日 16:05 に 3.0m³/h まで上昇させる操作を実施しました。パラメータ関係で、RPV 下部ヘッド温度は 71.2℃、D/W 圧力は 0.2kPa_{gage}、SFP 温度は 24℃と安定しています。4号機 SFP 温度は 32℃、共用プール温度は 26℃で順調に冷却しています。5、6号機は特にありません。

(1F1~4号復旧班)明日所内共通 M/C1A の電源切替工事があり、水移送等の対応を行っています。水移送について、2、3号機から HTI 建屋へポンプ1台で移送していましたが、15:00~15:05にかけて両者を停止しています。電源工事の対応となります。明日2号機の移送を再開する予定です。3号機は水位の様子見があり、15日を目途に再開する予定です。水処理について、キュリオンにて処理水移送ポンプのモータから異音のため16:00に停止し、ポンプの切替を行って16:54に再起動してします。サリーは運転を継続しています。ROも運転を継続しています。アレバは停止中ですが、明日単独運転を実施する予定です。蒸発濃縮装置について、今朝方ボイラの A が停止しました。こちらも給水ポンプの関係です。本日給水ポンプの

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

上流のストレーナを清掃しまして、ポンプ A、B ともに異常なしを確認しました。ボイラ B を15:45に再起動しています。蒸発濃縮装置の再起動はこの後になります。水位関係では、2号機は今朝から1mm程度下降しており、T/BでOP3025mmです。3号機は1~4mm下降しており、トレンチがOP3190mmです。4号機は9mm下降してOP2983mmです。1号機復水器抜管エリアは18mm上昇してOP3868mm、R/Bは11mm上昇してOP4538mmです。電源工事の関係で、N2供給装置をPSA4からD/G駆動のPSA5に切替を実施しています。2号機SFP放射能除去装置の停止を実施しています。1号機IAコンプレッサもD/G駆動に切り替えています。これら電源工事の対応です。本日から始まる作業として4号機PLR M/Gセットの油抜きを開始しています。

(1F1~4号復旧班)滞留水関係で、明日浄化水の散水を土捨場北側周辺で実施します。6号機T/Bから仮設タンクへの移送を10時から16時で予定しています。その他の滞留水の移送はありません。

(1F土木班)タンク関係では、Hエリアでタンクの組み立てを実施しています。Gエリアで明日盛土を実施する予定です。海側遮水壁工事は、地質確認ようボーリングを引き続き実施します。ガラ撤去は休工です。

(1F建築班)1号機カバーリング工事は、本日750tクレーン解体工事を行っており、明日も継続です。3号機ガレキ撤去は、T/B北側でボックスカルバートおよびオッキ構台を設置しています。R/B西側でガレキの分別、地組ヤードの整備等を行っており、明日は継続作業の他、T/B屋上でダクトの解体を再開します。4号機ガレキは、750tクレーン組み立てヤードの整備、ボーリング調査、PLR M/Gセットの油抜きを行っており、明日も継続です。ガレキ運搬は、夜間作業で3号ガレキの運搬を行っており、明日は夜間作業で3、4号のガレキ運搬を行います。スラッジ貯蔵施設は、スラッジ棟で壁・柱PCの建方、壁コンクリートの打設、床塗装を行っており、設備棟の方で、外壁ジョイント部の処理、床塗装・鉄骨塗装を行っており、明日も継続です。

(1F ■■■)本日、災害医療アドバイザーの■■■先生のメンバがお見えになり、緊急時医療の色々な意見をいただき大変参考になりました。現場で活用させていただきたい。また、海上保安庁の関係の方々もご視察に来られています。

(安定化 C ■■■)蒸発濃縮装置のボイラ給水ポンプの停止と起動、キュリオンのポンプの異音発生、アレバ装置の単独運転について報告願います。

(安定化 C 水処理 PJ)(書面説明)蒸発濃縮処理装置について、昨日、ボイラ給水が滞ったためトリップしました。本日、補給水を移送するポンプのストレーナを調査しました。もともと蒸発濃縮装置は3B、3Cが動いており、ROの濃縮水をさらに濃縮するよう動いていた。ボイラの供給が絶たれて最終的にトリップした。ボイラの水源は濾過水(川から原水をとっている)であり、そちらの状況を分析しました。本日調査した結果は次の通りで、外部の漏えいはなく、スクリーンの変形・破損はありませんが、

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

川の水を取ってろ過水としているため、パンチ穴のメッシュに水あか・ぬめりが一面にびっしりついており、これによりつまりが発生して、ポンプの入り口吸い込み圧低でトリップしました。A系B系両方向同じ状況であり、清掃してA系のポンプをインサートしています。今後は、水質による水あか等が付く可能性を理解したので、運転に際して差圧が高まったら切替ながら使うようにします。また、本日、ボイラが再起動されており、本日中に蒸発濃縮装置の起動を予定しています。

2点目は、キュリオンのセシウム吸着装置の処理水移送ポンプ(処理をした水をためているタンクからSPTへ移送するポンプ)に若干異音が発生しているため、B系からA系に切り替えています。全体のシステムを止める必要があり、再起動して17:00に安定流量に達しています。今回インサートしたA系も以前に同様に異音が発生して取り替えた経緯があり、今後B系のポンプについて原因分析を行います。それほど大きな異音ではありませんでした。A系のポンプトリップ時は会話が出来ないほど大きな音でしたが、今回は早めに切替を行っています。今後調査を行います。

最後に、アレバ装置で単独浄化運転を予定しています。現在、アレバ装置は完全にスタンバイ状態で、流れがないと固着の可能性があるので、月に1度ないしは2度(2週間に1度程度)、1時間ないしは2時間位水を流して固着を防止する運転を計画します。明日の10時から35t/hくらいの流量で単独循環運転・固着防止運転を実施します。

(安定化C [] 今朝自動停止した4号機の塩分除去装置について報告願います。(安定化C 海水腐食防止 G)本日、4号機で実施しているROユニットによる塩分除去装置が0:25に警報が発生して停止しました。ROのユニット漏えいの警報が発生し、この瞬間に隔離弁全閉して停止しています。隔離弁は、プールから来るすべてのバルブ、トラック間のバルブすべてです。燃料プールの代替冷却系には異常はありませんでした。現場を確認したところ、ROユニットの高圧ポンプ部のケーシングに漏えい跡がありました。高圧ポンプは、燃料プールから水を導入し、前置フィルタを通してRO浸透膜に水を押し込むポンプです。漏えい量は約5リットルと算定され、すべて漏えい受けのドレンパンに収まっており、外部への漏えいはありません。本日の対応は状況の調査と、漏えい水の拭き取り、サンプリング、警報のリセットを行っています。現場の状況について、ROシステムは4号機のR/Bの山側にトラック5台で設置しており、2番目のトラックの中にROユニットが設置されています。荷台の下に受けパンとその内側に高圧ポンプが入っています。ポンプのモーターとプランジャ式のポンプがあり、この辺りに漏えい跡があります。下の受けパンに水溜まりがありました。今後は、4号機の塩素濃度は目標の150ppm程度(11/5測定(当初は2000ppmありました))まで浄化されており目標がほぼ達成出来ているため、次のステップのイオン交換装置による最終浄化に移りたいと思います。塩分除去装置自体はポンプの修理を行って、移設工事を経て2号機に移します。現在、プールの放射

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

性物質除去装置の運転をしていますが、今月末に終わる予定なので、その後に塩分除去装置を2号機に設置して浄化を開始することを考えています。

(安定化 C 保安環境部)明日、2号機の PCV ガスの測定を実施する予定です。

(安定化 C ■■■)測定結果の迅速かつ確実な共有を実施します。

(本店広報班)本日は11時と6時に当社単体会見となっています。午前中は4号機塩分除去装置、蒸発濃縮装置の停止について説明し、やりとりがなされています。短時間で会見は終了しています。午後は、3号機建屋ダストサンプリング他、1、4号機プールのサンプリング結果について説明する予定です。

会議場のスクリーンの右隅に会見の様子が映されています。当社ホームページ上で当社単体会見をみられるようにライブ配信を試行しています。10日まで試験実施期間で、今までは午前中のライブ配信でしたが、本日から午後も当社ホームページ上でライブ配信がみられます。社員は、社内 TV でも会見がみられます。当社の説明姿勢、どんな説明をしているか見られるようになっていきますので、活用願います。

(安定化 C ■■■)全体会議を終了します。ご安全に。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<11/9(水)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C 所長) (本店 TV 会議不調のため聞き取れず)

(1F ユニット所長) 本日は天候に恵まれましたが、かなり作業量としては多かったという状況ですが、おかげさまでケガの発生もなく、作業は進んでいる状況です。本日は所内共通 M/C への乗せ換えの関係で、電源関係の作業が具体的には進んでいます。その関係で、2号機の PCV ガス管理システムで一部不具合が生じましたが、電源を切り替えまして、現在は運転をしている状況です。この後、作業が終了次第、復旧すべき電源については復旧して運転を続けていきます。今日はガスの分析を2件行っておりまして、1件は2号機の PCV ガス管理システムからのガスの分析、それから、3号機の R/B のガスのサンプリングを実施しています。ポンプ関係で少し不具合がでていまして、蒸発濃縮装置のポンプ、ストレーナを綺麗にしていますが、かなり汚れがひどいということで、今後対策を考えなければならない状況です。先程ですが、3号機使用済み燃料プールの冷却系についてもポンプの吸込圧力低の警報が出た状況でありまして、今推移を見ているところです。これについても、必要があれば対応したいと思います。

(1F 発電班) 1号機は給水系から 7.8m³/h で注水中です。RPV 底部ヘッド温度は 41.7°C で安定中です。D/W 圧力は 19kPa_{gage}、SFP 水温度は本日の朝の電源切替作業の準備で朝の 5:43 に停止をしています。現在も継続停止中です。再起動後にプールの温度の確認を行います。2号機は CS 系から 7.2m³/h、給水系から 3.0m³/h、合わせて 10.2m³/h で注水中です。RPV 底部ヘッド上部温度は 71.6°C で安定中です。D/W 圧力は 7.6kPa_{gage}、格納容器のガス管理システムの水素濃度は現在 2.1% で安定状態にあります。SFP 水温度はこちらも1号と同様に電源切替の準備のため本日朝 5:41 に停止しています。現在も停止中です。再起動後にプールの温度の確認を行います。3号機は CS 系から 8.0m³/h、給水系から 2.9m³/h、合わせて 10.9m³/h で注水です。RPV 下部ヘッド温度は 70.8°C で安定中です。D/W 圧力は 0.2kPa_{gage}、SFP 水温度は 23°C です。なお、プール冷却システムについて、17:16 にプールの冷却の循環ポンプの吸込圧力が低いという警報が出ましたので、現場確認を行いました。ポンプを含めて系統に異常がないことを確認していますが、今後変化を注意して見ていきます。4号機の SFP 水温度は 29°C、共用プールのプール水温度は 25°C です。5、6号機は原子炉、プール、順調に冷却が行われていまして、トピックスは特にありません。

(1F1～4号復旧班) 水移送ですが、2号、3号ともに停止しています。2号から HTI へは明日朝再開する予定です。本日の予定でしたが、明日朝に延期しています。水位の問題は特にありません。3号は15日を目途に再開する予定です。水処理設

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

備について、KURION、SARRY は運転中です。KURION が17時現在 17.3m³/h、SARRY が 21.7m³/h で、明日、SARRY のベッセル交換2塔がありますが、ベッセル交換にあわせて上流のろ過フィルターを逆洗しまして流量の回復を図る予定です。RO も運転しています。本日、AREVA は単独運転を実施し、現在は停止中です。蒸発濃縮装置はボイラーの給水ポンプに詰まり傾向があるということで、ボイラーを停止してストレーナ関係の洗浄を行っています。明日、RO のソフト改造がありまして RO が停止し、また再起動がありますので、それまでは蒸発濃縮装置は停止継続になります。水位関係では、2号機は 24mm～25mm 今朝から上昇しており、T/B で OP3093mm です。3号機は 8mm～10mm 上昇しており、トレンチが OP3207mm です。4号機は T/B は 8mm 上昇して OP2987mm です。1号機は T/B 抜管エリアは 14mm 上昇して OP3907mm、R/B は 3mm 上昇して OP4552mm です。受け入れ側は、プロセス建屋は 44mm 下降して OP2083mm、HTI 建屋は 153mm 下降して OP2411mm です。本日、電源切替を実施中ですが、完了後、様々な機器の復旧があります。N2 供給装置は PSA5、D/G 駆動から PSA4、1号の A ポンプは D/G 駆動から常用の駆動のものに、2号の SFP 放射能除去装置を再起動する作業があります。2号機の PCV ガス管理システムはモニター電源を再び戻す作業がありますので、関係者間で調整しながらやりたいと思います。2号PCVガスサンプリングを本日実施しており、その対応の一環としてホウ酸水注入タンクに5ホウ酸ナトリウム 200kg を追加投入しています。以前発生しました3号主変圧器の冷却器を無人重機で撤去した際、油が漏洩したという件について、電気関係報告規則第4条の公害防止等に関する届出に基づく事故届出書を本日経済産業大臣に提出しています。

(1F5,6号復旧班) 滞留水関係は、浄化水の散水、明日は6号機の北側の Fタンクエリア周辺で行います。滞留水の移送関係はありません。

(1F 土木班) タンク関係では、G エリアで盛土を行っています。H エリアでタンクの組み立て、いずれも継続作業中です。海側遮水壁の関連工事は、ボーリング作業を実施しています。物揚場から取水路海峡全面の構内側をやっています一工区は、今のところ6本予定しているボーリングのうち1本が本日完了しまして、明日はその後かたづけを行う予定です。南側の放水口全面の二工区は、4本予定しているボーリングのうち1本を掘進中で、もう1本について今、設置作業中です。ガラ撤去は休みです。

(1F 建築班) 1号機建屋カバーでは、クレーンの解体、解体材の物揚場への移動を行っています。明日も継続作業です。3号機上屋ガレキ撤去は、T/B 屋上のダクトの解体、敷き鉄板の溶接、飛散防止剤の散布を行っています。明日もダクトの解体、敷き鉄板の溶接を継続で行います。4号機上屋ガレキ撤去は、クレーン組み立てヤードの整備、ボーリング調査、PLR M/G セットの油抜き、明日も継続で実施します。スラッジ貯蔵は、スラッジ棟で壁・柱PCの建方、コンクリートの打設、床の塗装、設備

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

棟で床・鉄骨の塗装、屋根・外壁のクリーニングを行っています。明日も継続作業です。

(1F ユニット所長)先程の電源工事の関係ですが、これから復旧をいろいろやりますが、夜間作業になる状況ですので、十分にそれぞれ体制をとって安全に気をつけて進めたいと思います。

(安定化 C 所長)PCV のガスサンプリングでどんな不調になったかを速報ベースですが解説をお願いします。

(安定化 C 外部循環冷却 G) (書面で説明) 2号機のガス管理システムの今日停止した状況を概略でお示します。単結の概略図ですが、システムは A 系、B 系ありまして、A 系は大熊の 2L から母線を受電して回っている状態。B 系は 3L から受電している状況です。今日、2L で作業があるということで、あらかじめ電源を停止しない 3L から受電している B 系のファン、放熱器、ヒーター等を受電してシステムとしては回っていました。システムの中に水素濃度等を監視するモニター設備が A 系、B 系ありまして、設備を納期の関係から A 系だけしかモニターを設置していませんでした。そのため、B 系は物が無いということで、A 系のモニターを活かすべく電源停止の前に仮設の D/G からケーブルを繋いで A のモニターを活かしてその後の電源停止に備えようというのが今朝の作業として計画していました。頭の電源が落ちる前にあらかじめ系統側で ELB を落とそうということで、朝方からファンの頭にある ELB とか、そのもう一つ上の頭の分電盤の電源を落とす作業をしていましたが、ファン A に繋がっている ELB を落としたときに、なぜか廻っている B のファンが停止したという状況が確認されました。その後、原因の調査をしていましたが、なかなか短時間では原因ははっきりしないということで、その後控えている大熊線 2L の停止に備えて、もう一度同じように ELB をとばして、やはりファンの B は止まってしまったのですが、電気は受電していますので、手動で CS をひねったところファンが起動しましたので、とりあえずガス管理システムとしては、停止のために 10 分程度の停止のタイミングがあったのですが、ほぼほぼ常時運転している状態で継続運転することができました。監視のための D/G を繋いだり等で作業は少し止まりましたが、監視も復帰して水素濃度もその後 2.1%ということの監視は継続してできている状況です。

(安定化 C 所長)その間を繋いでいるインターロックなのか、制御系なのか、結線に出てこないところに課題があると思いますので、プログラムのソース等、チェックも含めて。

(安定化 C 外部循環冷却 G)これから原因を追及して対策を考えていきたいと思っています。同じシステムが幸い 3号機用にありますので、このシステムを使いながら悪さの検証をしながら、できるだけ2号の修理は短時間でできるような形で手順等も事前に整備して対応したいと考えています。

(安定化 C 所長)水処理関係の週報をお願いします。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(安定化 C 水処理 PJ 部) (書画で説明) 水処理関係です。週報です。今週の状況ですが、滞留水の貯蔵に関しては記載の通りですが、前回の報告としては建屋の水位が 3000 近辺でキープしていますが、2号機がプラス 1200m³ で若干増加しています。こちらは2号のポンプを一時停止していたためということと、11/4~6にかけて1号機の T/B から2号機の T/B への移送をしているということで、プラスの水が入ってきているという状況もありますので、高温焼却炉建屋へ2号機から送るタイミングを同じタイミングで送りましたが、若干上昇ということですが水位は維持できているという状況です。処理量関係、貯蔵設備ですが、プロセス建屋、高温焼却炉建屋の貯蔵量は 8980m³、4030m³ ということですが、プロセス建屋は減少に転じています。水位は 2200 とかなり低めになってきていますが、高温焼却炉建屋は升が小さいので移送すると非常に変動が激しいということですが、プラス 840m³ ということ。それから、処理量は 7440m³ 処理しています。11/2~8 まで、廃棄物ですが、前回発生量から延べ AREVA の廃スラッジは継続、変わっていません。581ton。それから、使用済みベッセルは 227 本と、前回から 6 本搬出しています。線量に関しては変更ありません。11/1 にデータ採取してしまっていて、滞留水、大分薄くなってきていますが、7×10⁺⁵ くらいの汚染水の状況は変わっていません。貯蔵量ですが、タンク類、濃縮塩水の受けタンク、淡水の受けタンク、濃縮廃液スラッジが記載されていますが、前回から約 1727 それぞれ増えています。淡水受けタンクは若干減ってしまっていて炉注の増加に伴い少し減っています。状況としては以上です。もう一点ですが、蒸発濃縮装置のボイラーの補給水のストレーナの詰まりがありまして昨日説明しました。滑りのようなものがフィルターに引っかかってしまっていて補給水の移送ポンプを停止したということです。今朝方もストレーナを清掃して一旦起動していましたが、今朝方もやはり詰まりが発生しまして早めに止めています。こちらについては、明日の電源停止がありますので、システムを止めるときに合わせて明日の午前中から清掃に入りたいと思います。清掃の内容は、ろ過水からの水源であるので非常に綺麗な水ですが、一因としてはボイラー、蒸発濃縮装置を運開してからしばらく保管しておく時期がなかったもので、ろ過水タンクから補給水タンクへ移送するライン、ホースが若干停留して、いわゆる死に水ということで、汚れてしまったのではないかと、それで藻類の発生があったということでこちらをフラッシングかけます。明日の午前中に実施すると同時にその第一の受けタンク、こちらマンホールから中を見ましたらいくつか藻が浮いていましたので、滑りが浮いていましたので、こちら一旦水を外に出しまして、中をきれいに洗って復旧するという根本を絶ちます。この上流のストレーナを確認したところ、特に詰まりはありませんでしたので、上流は大丈夫だということで、ここが停留していたことが原因ということで、フラッシングをしたいと思います。明日の午後からボイラーの起動に入りたいと予定しています。

(本店広報班) 本日のプレス対応状況について説明します。本日午前中は11時か

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

ら当社単体会見ということで、会見をしています。時間は11:00から11:15で、15分程度で終わっています。説明内容は 1F4 使用済みプールの塩分除去装置の漏洩状況、蒸発濃縮装置のストレナーの洗浄について説明しましたので、質問もそれぞれ2問程度関連する質問をいただいて終了しています。夕方の会見については、18時からこちらも当社単体会見ということで、通常の大気等の分析結果等の説明の他に 1F の高濃度滞留水処理・貯蔵状況第20報、こちらの説明をしています。なお 1F1~4 の中期的安全確保の考え方に対する改訂版の提出を17時に保安院さんに提出しています。これについては、今、報告書等の印刷をしまして、公表資料の準備をしています。資料の準備ができ次第プレスに対して発表したく準備をしています。

(本店復旧班)3月当初、4号が爆発した関係で現場調査をしていますので、その状況について報告します。

(原子力設備管理部原子炉安全技術 G) (書画にて説明) 昨日、4号機の R/B に建屋の水素爆発に関する現場調査をしていますのでその状況について簡単に報告します。建屋にある○囲み、点線で○囲みしているところが写真を撮ったところ、小さい矢印が発電所の方向。フロアに青い点線を入れていますが、こちらは事故前に主なダクトが引かれていたラインです。①は、左側ですが、プールの脇の床面がめくれ上がっているところになりますが、4階側からオペフロ方向に向かって鉄筋が立ち上がっている様子が確認されています。②は鉄筋のところと反対側になりますが、床面が下からめくれ上がっている状況が確認できています。となりの面は剥がれていませんが、レールのところを横から撮っていますが、床面のところが多少南西側の方から盛り上がっていることが確認できています。原子炉ウエルと使用済み燃料プールのところに 4 階の排気ダクトに繋がります排気口のネットがありますが、よく見るとプール側もウエル側も反対側、オペフロ側に膨れているという、圧力がかかって膨れている状況が見てとれます。オペフロでいろいろ確認した結果、4階側から圧力がオペフロ側に掛かったであろうということが推定されます。ダクトを通ってきたという推定は以前 SGTS 配管のベントが流れてきた可能性を言及していますが、4号機の R/B オペフロ5階の南面はこちら、綺麗に抜けている状況になっています。それは外からも確認できます。4階フロアは東側、こちら側は行けないので現場確認はできてませんが、西側エリアはほぼ全てのところが確認できる状況です。⑥のダクトの残骸、⑧のダクトの残骸、⑨と⑩は MG セットの裏側、ダクトが這っていたところですが、こちらはダクトがもともとあったところはないとか、ダクトの残骸が多数確認されている状況です。特徴的なのは、めくれ上がっていると説明したオペフロのエリアですが、床面が下に変形していることが確認できます。4階の建屋の中で圧力が上下方向に発生したのではないかと推定しています。3階もある程度損傷が見込まれています。3号機側は点線のところのダクトの○囲みのところはダクトの残骸が非常に多く、進むのも

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

非常に難しい状況でして、北西側は床面が抜けていまして2階まで見える状況が確認できています。3階、オペフロ側においても爆破事象が起きたであろうということが推定されますが、今回の調査の結果、建屋の爆発に至った主たる圧力発生箇所は、R/B の4階のエリアで主たる圧力が発生したのではないかと推定しています。

(本店広報班)今の件につきましては、準備が整った段階でプレスに紹介したいと思えます。

(安定化 C 所長)2号機のガス管理システムの話がありましたが、ガスのサンプリングをしていますので、前回いろいろと不手際でお騒がせしていますが、本日は内容の確認と評価をしっかりとやりたいということで、特段異常でなければちゃんとした形で皆さんに報告するというので、判定基準等についての議論もしましたので、臨界等の状況になりましたら、直ちの措置と情報共有ということですが、ここはしっかりと進めていきたいと思えます。統合本部全体会議を終了します。ご安全に。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<11/10(木)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C ■■■■■)本日作業にあられた皆様、また、現場を支えるために各所で業務につかれた皆様、お疲れ様でした。統合本部全体会議を始めます。本日は、秋晴れの日でした。気温は14℃で作業しやすい一日でした。屋外では、タンク設置工事や3、4号のオペフロガレキ撤去工事、屋内では水処理関係の作業、PCV ガス管理システムの設置工事等々、各エリア、全部門で全般的に作業が展開されました。順調に作業が進捗しました。

(1F ユニット所長)本日は大変穏やか天気の日でしたが、朝晩の気温差がかなり出てきて、冷え込みもきつくなってきました。体調管理を引き続ききちんと管理したいと思います。作業は、本日は全般的に順調に進んでいます。昨日、電源関係の工事で止めていました2号機の滞留水の移送に関して、本日朝方、HTI へ再開をしています。本日、3号機の R/B ダストサンプリングが行われました。

(1F 発電班)1号機は給水系から 7.8m³/h で注水しています。RPV 底部ヘッド温度は 40.3℃で安定しています。D/W 圧力は 18kPa_{gage}、SFP 水温度は 21℃で安定しています。2号機は CS 系から 7.2m³/h、給水系から 2.9m³/h、合わせて 10.1m³/h で注水中です。RPV 底部ヘッド上部温度は 70.6℃で安定しています。D/W 圧力は 7.6kPa_{gage}、SFP 水温度は 26℃です。傾向監視しています、格納容器ガス管理システムの水素濃度は現在 1.9%まで低下しています。3号機は CS 系から 8.0m³/h、給水系から 2.8m³/h、合わせて 10.8m³/h で注水しています。RPV 下部ヘッド温度は 70.1℃で安定しています。D/W 圧力は 0.2kPa_{gage}、SFP 水温度は 21℃です。プール冷却系システムについては、昨日夕方にプール冷却循環ポンプの吸込圧力低下警報が発生しています。この対策としまして、本日、ヒドラジン注入とスキマーサージタンクの水張りをおこないましたが、圧力は若干改善したものの、警報動作値近辺のところでの復旧に留まっています。こちらについては継続して監視していきます。4号機の SFP 水温度は 29℃、共用プールのプール水温度は 23℃で安定しています。5、6号機は特段大きなトピックスはありません。

(1F1~4号復旧班)水移送関係ですが、本日、2号機 T/B から HTI 建屋への移送を再開しています。3号機は移送停止中です。1号から2号の水移送も停止中です。水位関係は、1号機は T/B で 13m の上昇です。2号機は 1mm~2mm の下降です。3号機は 6mm~10mm の上昇、4号機は 10mm の上昇です。受け入れ側の集中ラドは、プロセス建屋は 43mm 下降して OP1968mm、HTI 建屋は 155mm 上昇して OP2323mm です。シミュレーション通り推移しています。滞留水処理装置関係は、先程、SARRY のベッセル交換が終了しまして、17:14に定常流量到達を確認しています。28m³/h です。KURIONも順調に稼働しています。約 17m³/h で安定的に運転

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

しています。RO 装置は、ソフトの改造が終了しまして、RO2を起動しています。明日の作業ですが、特に高放射線作業はありません。引き続き注意して実施します。

(1F5,6 号復旧班)滞留水の移送関係は本日ありませんでした。ひまわりの散水ですが、本日はGエリア、9時から10時、38m3実施しています。明日はFエリア、発電所の北側ですが、散水予定です。移送関係は、本日同様、計画されていません。

(1F 土木班)汚染水の処理設備、高低中タンク関係ですが、G エリアで盛土を継続です。RO の処理タンク、H エリアですが、タンクの組み立て、継続です。明日も同様の作業です。遮水壁は、ボーリング工、一工区、二工区、継続になっています。明日も同じです。

(1F 建築班)1号機 R/B カバーは、750ton クレーンの解体、解体材の移動を行いました。明日も継続となります。3号機 R/B 上部ガレキ撤去は、南側地組ヤードにおいてヤード整備、東側においてのガラ、コンテナの養生を行いました。明日も継続です。4号機は、750ton クレーン組み立てエリアの整備、ボーリング調査、M/G セットの油抜きを行い、明日も継続です。スラッジ貯蔵施設は、スラッジ棟で壁・柱 PC の建方、床塗装など、設備棟で壁・外壁のジョイント処理、床あるいは鉄骨の塗装を行い、明日も継続となります。

(1Fユニット所長)現在も一日あたり3300人程度の作業の方がこちらの方に入ったりもっていますが、一時、サーベイエリアのところの混雑が大変でしたが、今、企業さんのご協力をいただきまして、時間のピークを少しずらしていただいて、かなり出入口の混雑は緩和してきている状況です。

(安定化 C ■■■■■)水移送関係で若干、オペレーションの変更がありますので説明します。

(安定化 C 水処理 PJ 部) (書画で説明) 2号機が緑色、3号機が青色で示しています。2号機の水位ですが、昨日、電源停止が終わりましたので、今朝ほど移送を再開しています。これにより水位は若干ですが減少傾向に転じています。3号機もポンプを停止中で、現在、水位は上昇中です。今後の作業ですが、明日、11日の夕方から1号機 T/B 抜管エリアから2号 T/B への移送を開始したいと思います。こちらは、1号機の抜管エリアの水位が上昇傾向にあるということと、週末の比較的作業の少ない時間を狙って移送を行うという観点で決めたものです。これにより、2号の水位はまた若干上昇しますが、移送が終わって下降傾向にいくと考えています。今後の1号から2号への移送については、また、水位の上昇傾向と作業との干渉を考慮しながら定めていきたいと考えています。3号については先日お話ししたとおり、11/15に移送再開で変更はありません。

(安定化 C ■■■■■) 1号機から2号機への水の移送は、今、1号機でPCVガス管理システムの設置作業をしていますので、できるだけ作業工数の少ない週末を狙っての予定で進めています。もう一点、構内の照明についてです。既に 1F ライブカメラで

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

ご覧の通り、プラントは照明を始めているところですが、人の移動、パトロールルートについて照明を設置していく計画ですので紹介します。

(安定化 C 施設基盤部) 1F の構内照明計画について説明します。構内照明については、1～4号までの R/B の外から照らす照明、これについては実施済みですが、本日、免震棟の駐車場の北側、南側、ここの照明が点灯しました。合計7灯、点灯しています。今後は、南側の 66kV の開閉所周辺、この辺を11/14点灯予定、11月の下旬には物揚場、および3、4号のプロセス建屋の西側道路面の照明が点灯します。更に、12月上旬には1、2号の西側道路面の点灯が予定されています。

(本店広報班) 本日の広報状況をお伝えします。本日も11時と16時30分に統合会見を行っています。11時は40分強ということで、終えています。主な説明内容ですが、昨日、全体会議で説明いただきました1Fの4号機の原子炉建屋内における空調ダクトの損傷状況について、調査状況ということで、11/8に行われた調査の結果を写真とともに説明しています。これまで当社で考えていた爆発の状況の裏付けとなったところを説明しています。もう一点は、昨日行われました2号機格納容器ガス管理システムの気体サンプリングの結果を説明しています。その間系で、マスコミからの質問はその2つに大きく偏った状況です。午後は16時30分から統合会見を行っていきまして、先程まで拝見している中では、フリーランスの記者のご質問が多かったという状況です。例えば、SPEEDIの運用状況とか、事故時対応マニュアルの運用とか、フリーランスからの質問が多かったと感じています。未だ続いていますので、この後も確認していきます。

(安定化 C ████████) 統合本部全体会議を終了します。ご安全に。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<11/11(金)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化C 所長)本日は、1Fの免震棟にあります。2011年11月11日の全体会議を始めます。1が6つ並んでいるということでございますが、3月の11から数えて8ヶ月ということにもなります。色々ご迷惑・心配をお掛けしている皆様方には、お詫び申し上げたいと思いますが、安定化に向けてみんなで、一致協力して邁進していきたいと思えます。また、事故の収束に向けて日々活躍されている皆様にもあらためて感謝申し上げます。本日は、安定化センターから何点か報告があります。一つは、Jブレッジの公開ということで、Jブレッジの運営部の方から紹介があります。もう一点技術的な話としては、3号機R/Bガスサンプリングの報告をお願いしたいと思います。本日は、日中雨でございましたので作業的にはやりにくいところがあったかと思えますが、特段問題は無かったと聞いております。それでは、1Fさんからプラントの状況・作業状況をお願いします。

(1F 所長)本日は今日一日雨です。作業は結構あったんですけども人身災害等はなかったということです。小森さんから有りましたように、8ヶ月たったということで、黙禱から1日をはじめました。新たな気持ちで作業に当たっていききたいと思います。それでは、プラントの状況等について簡潔をお願いします。

(1F 発電班)1号機は給水系から $7.8\text{m}^3/\text{h}$ で注水しています。RPV 底部ヘッド温度は 38.7°C で安定しています。D/W 圧力は $19\text{kPa}_{\text{gage}}$ 、SFP 水温度は 20°C で安定しています。2号機は CS 系から $7.3\text{m}^3/\text{h}$ 、給水系から $2.9\text{m}^3/\text{h}$ 、合わせて $10.2\text{m}^3/\text{h}$ で注水中です。RPV 底部ヘッド上部温度は 69.5°C で安定しています。D/W 圧力は $8.2\text{kPa}_{\text{gage}}$ 、SFP 水温度は 22°C です。傾向監視しています、格納容器ガス管理システムの水素濃度は現在 1.7% まで低下しています。3号機は CS 系から $8.0\text{m}^3/\text{h}$ 、給水系から $2.7\text{m}^3/\text{h}$ 、合わせて $10.7\text{m}^3/\text{h}$ で注水しています。RPV 下部ヘッド温度は 69.3°C で安定しています。D/W 圧力は $0.2\text{kPa}_{\text{gage}}$ 、SFP 水温度は 20°C です。プール冷却循環ポンプの吸込圧力が低下していますが、 0.047MPa で下限のしきい値までは、まだ余裕があります。継続して監視していきます。4号機の SFP 水温度は 28°C 、共用プールのプール水温度は 23°C で安定しています。5、6号機は、パラメータは安定しています。

(1F1~4号復旧班)1から4号の滞留水の関係です。1号機は T/B で 7mm 上昇しています。2号機は T/B 水位が 6mm 、トレンチの水位が上 6mm の下降です。3号機は T/B 水位が 9mm 、トレンチ水位も 9mm 上昇しています。4号機は T/B 水位で 4mm 下降しています。1号機につきましては、本日 15:42 から1号機の T/B から2号機の T/B へ移送を開始しています。2号機は、昨日から、HTI の方に移送しております。3号機の滞留水の移送は、11/15から再開予定です。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

す。受け入れ側の集中ラドは、プロセス建屋は 45mm 下降しております。HTI 建屋は 21mm 下降しています。順調です。ベッセル交換ですが、本日、キュリオンHベッセル2塔交換しております。明日は、ベッセル交換ありません。2号機のSFP放射性物質吸着塔の交換を明日10:00から予定しています。

(1F5,6 号復旧班)本日、ひまわりの散水ですが、Fエア実施しています。42m³です。明日はGエア、双葉通りに散水予定です。滞留水移送関係は、予定されていません。

(1F 土木班)汚染水の処理設備、高低中タンク関係ですが、Gエアで継続です。タンクの組み立て、継続です。明日も同様の作業です。遮水壁工事は、ボーリング継続になっています。明日も同じです。

(1F 建築班)1号機カバーリング工事ですが、750ton クレーンの解体が終了しています。物揚場に解体材の移動を行いました。明日は休工です。3号機 R/B 上部ガレキ撤去は、南側地組ヤードにおいてレベル設定・整地、東側 T/B のダクトの解体、屋根の補修を行っています。明日も継続です。次に4号機は上部ガレキ撤去ですが、南側ヤードで敷き鉄板の溶接、今後設計されます燃料取り出し用のカバーのボーリング調査、M/G セットの油抜きを行い、明日も継続です。スラッジ貯蔵施設は、スラッジ棟で壁・柱 PC の建方、床塗装など、設備棟で壁・外壁のジョイント処理、床あるいは鉄骨の塗装を行い、明日も継続となります

(1F 所長)1F以上です。

(安定化 C 所長)明日は、細野大臣、政務官、柳沢本部長のご視察、1Fにプレスの方が入られるという予定です。しっかりと対応していきたいと思えます。本日、Jビレッジの公開がありましたので、Jビレッジから紹介願います。

(J ビレッジ)マスコミ公開の1日目ということで報告しますが、天候はあいにく雨でございましたが、12:00~16:30までJビレッジの各施設、ホールボディセンター、新広野寮を予定通りご視察いただきました。約40名と大人数であったことから、3グループに分けてご案内しましたけれども、本店広報部さん他多大なご支援のもと無事終了することができました。ありがとうございました。明日は、10:00Jビレッジ出発予定で1Fに送り出しますので、宜しくお願いします。

(安定化 C 所長)続いて、3号R/Bガスサンプリングの結果について報告願います。

(環境影響評価G) (書画にて説明)3号機原子炉建屋上部について9, 10日にサンプリングしています。9日につきましては、4・5・6番、機器ハッチの7番について測定をおこないました。10日は、南側の前回高かった1番、北側の4・5・6・7番を測定しました。結果につきましては、南側は、10の4乗台、北側の3カ所につきましては、3乗から4乗程度で、前回とほぼ同様の結果がえられました。機器ハッチも4乗台とほぼ同様です。10月下旬から、1~3号機の測定を行ってききましたが、これらデータ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

をもとに、現時点での放出量の評価をして参ります。

(安定化 C 所長)また、総合的な評価をお願いします。それでは、本店本部さんお願いします。

(本店情報班)2号機のD/W圧力の公開データですが、10/29から11/10まで、誤りがございました。すいませんでした。中身は書画で説明します。

(書画にて説明)2号機のD/W圧力は、2号機のN2供給装置の仮設圧力計にて測定しております。この仮設圧力計とD/Wの間に配管がありましてN2流量に対して圧力損失が発生しますので、その分を差し引いて、D/W圧力データとしています。10/29までは、N2封入量は、一定でしたので圧力損失も一定でした。10/29以降、N2の封入量を段階的に増加させています。本来であれば、N2封入量が増えますと、圧力損失も増加しますが、当初14m3に応じた圧力損失で計算していたため、誤ったデータを算出していました。正しい圧力損失値で計算すると青いグラフになります。こちらの対策としましては、こちらの仮設圧力計を使い続けるということであれば、流量が変わる事に確実にそれに応じた圧力損失にて算出する。また、本設の圧力計もありますので、こちらで安定的にデータがとれるのであれば、こちらを採用することを検討したいと思えます。この件につきましては、現場に情報をお知らせするのが遅かったこととお詫び致します。今、再発防止の話もありましたが、データの記載方法に過ちがないようにしていきたいと思えます。

(保安院)プラントパラメータは、大変重要なデータですので、信頼性確保の観点から、再発防止対策をしっかりやっていただきたい。プラントの状態が変わった場合、考慮することがないか十分検討していくようお願いしたい。

(本店情報班)承知致しました。

(本店広報班)11:00の主な内容につきましては、情報班から説明があったとおり、2号機のD/W圧力データの訂正ということで説明をしています。質問は、数件有った程度です。8ヶ月たったということで、現状の課題など多岐にわたる質問がありました。18:00は現在実施しております。内容は、福島第二の緊急事態応急対策をとりまとめて説明しています。また、Jビレッジの現場公開ということで、朝礼や出社風景を動画で紹介しています。それから3号原子炉建屋のサンプリングについて報告しています。また、3月11日以降公開していない映像があれば公開するようにご指示をいただいています。これについて本日、保安院さんに報告するとともに、映像を公開しています。これに当たりましては、福島第一さん、安定化センターの協力ありがとうございました。

(保安院)先ほどありました、福島第二の緊急事態応急対策については、報告をうけて、来週立ち入り検査をおこないますので対応お願い致します。

(2F)いまおっしゃって頂いたように、14~16日の立ち入り検査準備させて頂いております。ご指導宜しくお願いします。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(本店本部)本店からは以上です。

(安定化 C 所長)データはプラントのいろんな状態を取ってますけども、それに変動を与えるような要素については、まず前提条件を確認しておくことが重要かと思えます。もう一度再確認をした上で、パラメータが変わるときにはしっかり反映するという事に努めたいと思えます。

以上で統合本部全体会議を終了します。ご安全に。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<11/12(土)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C 所長)土曜日の出勤、作業ご苦労様です。12 日の全体会議を開催致します。本日は晴天ということで、皆様も TV 等でもう既に流れているのをご覧頂いていると思いますが、マスコミの公開がございました。またいろいろ情報がございましたら、また後ほど補足頂ければと思います。いずれにしましても、対応された皆さん、本当にお疲れ様でした。だいぶ映られた方が多数おられると思いますが、みなさんどういう形で受け止められているかというのは、まだこれからだと思いますが、現場をいろんな方に見て頂くという一つのきっかけになったのではないかと考えています。また、細野大臣、園田政務官、柳澤現地本部長から励まし、あるいは激励のお言葉を頂いたということで感謝申し上げたいと思います。作業関係については、比較的少なめで、淡々と進捗しているということかと思えます。特に安定化センターから本日補足することはございません。早速ですが、福島第一さんの方からプラントの状況、作業状況についての紹介をお願い致します。

(1F 所長)一番たくさん映った私から報告させていただきます(笑)。天候は晴れで穏やかな1日で、作業はあまりなく、人身災害等はございませんでした。それではプラントの状況について各 G から簡潔に報告して下さい。

(1F 発電班)1号機は給水系から 7.8m³/h で注水しています。RPV 底部ヘッドが 39.3℃で、昨日とほぼ変わっておりません。D/W 圧力は 19kPa_{gage}、使用済燃料プールは 20℃です。2 号機は CS 系から 7.2m³/h、給水系から 2.8m³/h、合わせて 10m³/h で注水しています。RPV 底部ヘッドで 69℃、D/W 圧力は 8.4kPa_{gage}、PCV 中の水素濃度は 1.6%でゆっくりと低下傾向です。使用済燃料プールは 23℃で、本日の午後、スキマーサージタンクに約 9m³ の水を補給しています。3 号機は CS 系から 8.0m³/h、給水系から 2.7m³/h、合わせて 10.7m³/h で注水しています。RPV 下部ヘッドが 69℃、D/W 圧力は 0.2kPa_{gage}、使用済燃料プールは 21℃です。ゆっくりと低下傾向でございます使用済燃料プールのポンプの吸込圧力ですが、0.041 で傾向は変わってございません。継続監視致します。4 号機は、使用済燃料プールの温度が 26℃で、2 号機と同様でスキマーサージタンクに 10m³ の水の補給をしています。共用プールは 24℃で安定しています。5, 6 号機についても、原子炉、使用済燃料プール、いずれも 30℃以下で順調に冷却しています。

(1F 復旧班 1~4 号)水移送関係ですが、1 号機から 2 号機 T/B への移送を継続しています。明日停止予定です。2 号機については HTI 建屋に移送を継続しています。3 号機については、移送停止中です。15 日再開の予定です。水位関係ですが、1 号機で 120mm の下降です。2 号機は 14~15mm の上昇、3 号機は 8~9mm の上昇です。4 号機は 7mm の上昇となっています。受け入れ側の集中 Rw/B ですが、プ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

ロセス建屋で 44mm 下降して OP1736mm、HTI 建屋で 13mm 下降して OP2246mm ということで、ほぼシミュレーション通りに推移しています。滞留水処理装置関係ですが、キュリオン、サリーとも順調に稼働しています。今日、明日、ベッセル交換作業はございません。作業関係ですが、土日ということで若干少なくなっていますが、SFP 関係、新設変電所関係の作業は引き続き実施していますので、気をつけて実施したいと思います。

(1F 復旧班 5~6 号)5・6 号の滞留水移送ですが、本日は仮設タンク等の移送はございません。ひまわりによる散水ですが、本日は G エリア、北側を散水しました。細野大臣もご視察頂きました。明日は、ひまわりによる散水はありません。滞留水の移送ですが、T/B 地下から仮設タンクへの移送を 10 時から 16 時の予定です。

(1F 土木班)汚染水処理のためのタンクの設置ですが、G エリアで継続実施です。本日はタンク組み立て、水張り試験、ヤードの整備等を実施し、予定通り終了しています。明日は休工です。1~4 号の遮水壁設置工事は本日、地質確認のボーリングを継続実施しています。明日は休工です。

(1F 建築班)1 号建屋カバー工事は本日・明日とも作業はございません。3 号機上屋ガレキ撤去工事は本日、屋上のダクトの解体、屋根の防水の補修、構台の鉄骨の地組用の架台の組み立てを行っています。明日も継続で、ダクト解体、架台の組み立てを行います。4 号の上部ガレキ撤去は、クレーンの組み立てヤードの整備、ボーリング調査、MG セットと天井クレーンの油抜き、こちらは本日終わっています。明日は作業はございません。スラッジ貯槽ですが、スラッジ棟では PC 間のコンクリートの打設、床の塗装、設備棟では床、鉄骨の塗装、ジョイント部の処理を行っています。明日は作業はございません。

(1F 所長)各 G からありました通り、明日は作業がかなり限定されて、少なくなります。トピックス的というと、熊谷組さんはずっと休みなしでお仕事されていたのですが、やっと明日休みを取られるということで、非常に結構なことかと思っています。

(安定化 C 所長)今お話しがあった通り、休工できるところは休みを取ることかと思いますが、明日はかなり作業は少なめということです。安定化センターの方から特に補足することはございませんので、本店本部からご報告があれば宜しく願います。

(本店広報班)本日 11 時と 6 時に会見を行っています。内容は、細野大臣のご視察、マスコミ公開の話題で一色です。午後の 6 時からは引き続き質問を受けることになっていますが、それに加えてシリーズ広報企画、水処理設備のご説明第 4 弾ということで、各タンクの貯水量と保有水の管理計画及び水処理設備の信頼性向上というテーマで 10 分程度のレクをすることになっています。

(安定化 C 所長)作業そのものは少なめということでも、また月曜日から作業がかなり入りますし、安全を第一に進めたいと思います。また、来週は、週の半ば 17 日に道

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

筋の進捗状況の公開が予定されているので、準備をされている方は宜しくお願ひしたいと思ひます。特にないようでしたら、全体会議は終了したいと思ひます。ご安全に。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<11/13(日)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C 小森所長) 日曜日の作業お疲れ様です。本日の作業は3号機カバーリング工事に伴うガレキ撤去は行われましたが、かなりの作業は定例的なものを除いて作業休みが多かった。明日から作業がかなりの量で始まりますので、また管理の方をしっかりとやっていきたい。特段、安定化センターから補足することはありません。早速1Fさんからプラントの状況と作業状況についての説明をお願いします。

(1F 吉田所長) 天候は穏やかに晴れておりまして、特段人身事故等もございませんでした。もともと作業量も少なかったのもそんな状況でございます。プラントの方も安定しております。それでは各グループの方からプラント状況等について簡潔に報告願います。

(1F 発電班) 1号機は給水系から7.8m³/hで注水を継続しております。RPV底部ヘッド温度は39.1℃で安定しております。D/W圧力は19kPa gageです。SFP温度は20℃です。

2号機のCS系から7.2m³/h、給水系から2.8m³/hで合わせて10m³/hで注水しております。RPV底部ヘッド温度は69.1℃、D/W圧力は8.7kPa gageです。2号機PCV内水素濃度は1.4%でゆっくり低下しております。SFP温度は23℃で安定しています。

3号機はCS系から8.1m³/h、給水系から2.7m³/hで合わせて10.8m³/hで注水しております。RPV下部ヘッド温度は68.6℃、D/W圧力は0.2kPa gageです。SFP温度は22℃です。

4号機のSFP温度は30℃で、共用プール水温度は26℃です。

56号機ですが、炉水温度、SFP温度とも30℃以下で順調に冷却しております。

(1F 復旧班 1～4号) 水移送関係ですが、2号機T/BからHTI建屋への移送を継続しております。3号機からの移送は停止中。1号機T/Bから2号機T/Bへの移送は本日停止しました。

建屋水位は、1号機T/Bで39mm下降、2号機では2mm上昇、3号機では8～9mm上昇、4号機では10mmの上昇となっております。受け入れ側の集中RWの方ですが、PM/Bは41mm下降でOP1625です。HTI建屋では14mm下降しOP2210で、ほぼシミュレーション通り推移しております。

水処理関係ですが、キュリオン、サリーとも順調に稼働しております。明日Hベッセル2塔の交換を予定しております。

明日の作業関係ですが、3号機R/B1階高線量区域について、ロボットを用いて線量調査を実施する予定です。2号機PCVガス管理システムにおいては、バイアル管(瓶?)を用いた分析を実施する予定です。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(1F 復旧班 5~6 号)本日、ひまわり散水は中止です。滞留水の移送ですが、本日は10時~16時で実施しました。明日のひまわりによる散水は、Aエリア発電所南側野球場方面行います。滞留水の移送はありません。

(1F 土木班)3月11日以降復旧工事を進めてきたということなんでございますけれども、本日初めて全休ということで作業はございませんでした。作業員の方々もリフレッシュできたのではないかと考えてございます。明日は通常作業に戻りまして、汚染水の処理の関係、タンクの設置、1~4号機の遮水壁の設置等々継続工事を実施予定でございます。

(1F 建築班)本日、3号機のガレキ撤去工事で架台の組み立て、屋上の防水補修を行っております。他は休工となっております。明日の作業ですが1号機建屋カバーでは工具の移動、クレーンワイヤーの交換準備を行います。3号機のガレキ撤去は継続で架台の組み立て、...《地震で中断》

18:05

(1F 吉田所長)地震が発生しました。速報で震度3となっております。福島沖でマグニチュード4.9。データについては確認しますので、引き続き報告をお願いします。

(1F 建築班)引き続き報告します。3号機のガレキ撤去工事では架台の組み立て、ダクト解体、屋上防水補修を行います。4号機ガレキ撤去工事では、ボーリング調査、オペフロの柱の補強のワイヤーの現調を行います。スラッジ貯層では、スラッジ棟でPCの立て方、コンクリート打設、床の塗装、設備棟では床塗装を行います。

(1F 吉田所長)それでは中断なんですけど、地震の情報を適宜報告の発話してもらえますか。全体の流れなど気にせずに、基本的に今のところ安定しているでいいかな。

(1F 発電班)地震計は動作しておりますので1ガル以上です。パラメータの方は安定しておりますので、最終確認して報告致します。

(1F 保安班)MP指示に変動はありません。

(1F 吉田所長)地震に関する情報は、引き続き確認した範囲で報告しますが、全体的な報告は以上です。明日からまた作業が再開ということで作業量が増えますので、そのへん注意しながら実施していきたいと思っております。以上です。

(安定化C 小森所長)第二の免震棟も少し揺れましたが、継続時間はそんなに長くなかったと思います。のちほどまた状況わかれば報告おねがいます。また、明日は2号機のPCVガス管理システムによるガスサンプルを実施する予定ですので、関係の各所の方々には、関係を良くしてしっかりとした体制で臨んでもらいたいというふうに思います。特に安定化センターからの補足はありませんので、本店本部の方からございましたらよろしくをお願いします。

(本店広報班)本日プレスへの説明は、午前は11時、午後は6時です。11時の説明は短時間で終わっております、特段の大きな報告はありません。午後6時についてもトピックスはありません。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(安定化センター)NHKでは、18:05 福島県沖 震度3 マグニチュード4.0 津波の心配はありません。というような状況です。その他各部署から情報共有すべき事項がありましたらよろしく願います。

(2F)ただいまの地震ですが、1号機の水平で4.6ガル、垂直で4.7ガルです。中操の方は時に異常ありません。3号機の高圧炉心スプレイ系のディーゼル発電機を不待機にしますのでご報告いたします。明日から3号機の電源盤の清掃作業に入りますので、メタクラ高圧炉心系Hを停止します。D/G-Hが不待機となります。明日の朝10時から11/17までの予定です。

(1F 発電班)1~4号機のプラントの方は異常はありません。炉注、SFP、N2供給、電源、ガス管理システムとも異常ありません。56号機についてもプラントパラメータで冷却の方は異常ありません。あとガル数を確認して最終的に報告します。

(1F 所長)ガル数について、こちらに速報で入っている情報では水平で2.5ガル、上下方向で1.5ガルということです。…この情報で確定しました。本地震については問題ない。また、作業を外で実施していないので、これをもって先ほどの地震に関する報告を終了します。

(1F)水処理のキュリオン、サリーの異常もありません。

(安定化 C 小森所長)了解しました。また、補足がありましたら、全体会議終わった後でも発話していただくということでよろしく願います。他なければ、以上で全体会議を終了します。ご安全に。

~全体会議終了~

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<11/14(月)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C 所長) 14 日月曜日の全体会議を開催します。月曜日からまた作業が、相当な量がまた今日から行われています。安定化 C からは後ほど何点か補足しますが、3 号機のロボットは苦戦中ですが、まだ作業中のものもあります。2 号機の格納容器のガス管理システムでのサンプリングをしました。その結果の速報が出せるということです。後ほどご紹介します。明日以降の仕事についても若干補足したいと思います。

(1F 所長) 天候は晴れ、曇りでこれから雨が降る可能性があるという状況です。作業はかなりありましたが、今のところロボット作業等々続いています。現時点では人身災害等ありませんでした。

(1F 発電班) 1～3 号は安定しています。1 号機は給水系から 7.7m³/h で原子炉注水中です。RPV 底部ヘッド温度は 38.8℃、使用済燃料プール水温度は 21℃、D/W 圧力は 19kPa_{gage} です。2 号機は CS 系から 7.3m³/h、給水系から 2.8m³/h、合わせて 10.1m³/h で原子炉注水中です。RPV 底部ヘッド上部温度は 69.1℃、D/W 圧力は 8.7kPa_{gage}、使用済燃料プール水温度は 23℃です。傾向監視しています。PCV ガス管理システムの水素濃度ですが、現在 1.3% でゆっくりと低下傾向にあります。3 号機は CS 系から 8.1m³/h、給水系から 2.6m³/h、合わせて 10.7m³/h で原子炉注水中です。RPV 下部ヘッド温度は 69.7℃、使用済燃料プール水温度は 22℃、D/W 圧力は 0.2kPa_{gage} です。4 号機の使用済燃料プール水温度は 31℃、共用プールのプール水温度は 26℃です。5, 6 号は本日はトピックスはありませんが、明日からの作業予定で、1 件トピックスです。6 号機において、明日から取水路の清掃作業が開始されます。これに伴いまして、海水ポンプ、また原子炉冷却しています RHR 系、プール冷却系、こちらを一日 10 時間程度停止します。明日朝の 7 時頃にこれらのポンプ類を停止していきます。その冷却系を停止している間、原子炉は温度上昇が約 12℃程度、プール水は 3℃程度を見込んでいます。原子炉水は Max では 38℃程度まで上昇する可能性があるかと踏んでいます。こちらについては監視強化していきます。

(1F 復旧班 1～4 号) 水移送ですが、2 号機から HTI 建屋へ移送を継続中です。3 号機は停止中ですが、明日 10 時頃にプロセスに向けて移送を再開する予定です。水処理は順調にっています。17 時現在で SARRY が 28.1m³/h、KURION は 70gpm、15.9m³/h で処理を継続中です。RO 蒸発濃縮装置も運転を継続しています。AREVA は待機停止中です。本日、KURION の H ベッセル 2 塔の交換を実施して、明日は交換の予定はありません。水位ですが、2 号機は T/B で 3mm、トレンチで 5mm 下降して、T/B で OP3165mm という状態です。3 号機は 7mm の

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

上昇で、トレンチで OP3310mm です。4 号機の T/B も 4mm 上昇で、OP3084mm です。1 号機は R/B で 13mm 下降して OP4597mm、T/B の抜管エリアで 21mm 上昇で OP3454mm という状況です。受け入れ側のラドですが、プロセス建屋で 42mm 下降して OP1515mm、HTI 建屋で 24mm 下降して OP2185mm という状況です。本日の作業ですが、2号機の使用済み燃料プールへのヒドラジン注入を 2m³ しています。2号で PCV ガスサンプリングが行われています。D/G の B、旧 2B D/B ですが、こちらの潤滑油系とターニング装置のテストランを行いまして、問題ないことを確認しています。3号の R/B の1階の PCV 機器ハッチ前のロボット調査ですがウォーリアーの R/B の引き入れを断念して、バックボットのみで今、作業しています。拭き取り作業並びに線量の調査を継続です。19時を目処に終了する予定です。

(1F 復旧班 5~6 号) 滞留水関係の明日の作業ですが、浄化水の散水ですが、北門の周辺で行います。その他、通常の滞留水関係の移送はありません。

(1F 土木班) 昨日、工事は全休でしたが、本日作業を再開しています。タンク関係については、G エリアで採石の敷き均し、H エリアでタンクの組み立て作業、いずれも継続実施中です。海側の遮水壁の設置工事ですが、調査のためのボーリングを実施しています。南側放水口の前の海側遮水壁で実施していますボーリング、3本中1本目のボーリングの掘進が明日完了する予定で、確認する予定です。明日、6号の補機ポンプ室の清掃を実施する予定です。海水系の補機ポンプが停止して以降、清掃を行う予定で、モニタリング等の結果を踏まえながら海域環境に影響を与えないように慎重に作業を進めたいと思います。

(1F 建築班) 1 号カバー工事は本日クレーンワイヤー交換の準備、産廃の搬出、工具移動等を行ってしまして、明日はクレーンワイヤー交換、産廃搬出の他、1号クレーンの最終点検を行います。3 号機ガレキ撤去は、本日 T/B 屋上でダクト解体、屋根防水の補修、R/B の東側でガレキの集積、地組ヤードで架台の組み立てを行ってしまして、明日は継続作業の他、R/B の北西部で SFP 冷却ユニットの防護壁の組み立てを行います。4 号ガレキ撤去は、オペフロの足場の補強ワイヤー張り、No.6 トレンチの埋設補強、ボーリング調査等を行っており、明日も継続です。ガレキ運搬は本日、明日とも夜間作業で3、4号のガレキの運搬を行います。スラッジ貯槽設備は、スラッジ棟では壁・柱 PC の建方、壁のコンクリート打設、床エポキシの塗装等を行っており、設備棟で床の防塵塗装を行っており、明日も継続になります。

(1F 保安班) 本日お昼頃ノーマスク運用の監視用の連続ダストモニター、正門に設置してある1台ですが、警報が発生したためノーマスクの運用を一時見合わせています。警報発生の原因は、フィルターの詰まりの機器異常であり、ダスト濃度が上昇したものではありませんでした。また、正門付近に事象発生時にノーマスクでおられた人はいませんでした。その後、ダスト濃度の確認をしまして、マスク着用基準以下であることを確認したことから、ノーマスク運用を再開しています。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(1F 所長)今のサンプリングの件は、1台の機械の故障で影響がでてくるので、機器のダブル化とか、他のデータを扱うとか、運用面を含めて見直した方がよいと思います。検討を、本店を含めてしっかりやっていただきたいと思います。

(安定化 C 所長)ダストの件は安定化 C も一緒に考えたいと思います。安定化 C から2点ほど補足の説明をします。2号機の格納容器ガスサンプリングについて本日行いまして、結果がでましたので紹介します。

(安定化 C 原子炉安全評価 G) (書画で説明)今、お示していますのが、PCV のガス管理設備の概要です。今回採取したのはフィルターの前後、そしてモニタリング装置の集塵フィルターとチャコールカートリッジ、これらをサンプリングしています。こちらが結果のとりまとめです。臨界の判定基準として設定していますが、フィルターの入口のキセノン 135 です。今回も $9.2 \times 10^{-2} \text{Bq/cc}$ という検出限界に対して、ND ですので、今回も判定基準である 1Bq/cc を超えないということから臨界には達していないものと判断しています。それ以外の値も特に大きく変動しているものはありません。こちらがチャコールフィルタとダストフィルタの測定結果です。こちらも特に大きく変化しているものはなく、安定して推移をしていると判断しています。この米印がついていますのは、最初にクリプトン85の換算値を使って評価を結果した結果ですので、生値とは数字が違いますが一番最初の時に臨界騒ぎを起こしたのは 1.9×10^{-2} という数字が出たからということで、その数字が今は 4.6×10^{-3} ということで、少し小さめの値ですが、ほぼ同じようなオーダーで推移しているものと考えています。次の計画は 16 日の水曜日に次回のサンプリングをしまして、その後は週1回、バイアル瓶のサンプリングというふうに定常的な業務に移っていきたいと考えています。

(安定化 C 所長)引き続きある程度安定して継続的に作業ができるという状況になるまで、関係の方々への注意はしっかりと怠らずにお願いします。もう一つ、明日、炉注関係で作業がありまして、非常用系についての作業がありますが、その内容について作業計画を概要説明をお願いします。

(安定化 C 循環注水冷却 G) (書画で説明)明日から非常用の高台炉注水ポンプ用の D/G をトラックを移動して、非常用系についても流量調整弁を追設する作業を行いますので、その概要について説明します。まず、作業の内容ですが、現状の高台の注水ポンプについては、流量調節弁の追設をしていますが、非常用の側についても同様に流量調節弁の追設を行うということです。非常用の高台の注水ポンプの吐出側については、D/G の積載のトラックが配置されていまして、流量調整弁を追設するエリアがないということで、こちらが非常用の高台炉注水ポンプですが、こちらが車庫と D/G に挟まれてしまった空間がないということがあります。また、D/G の積載トラックの北側については、常用の高台炉注水ポンプの積載トラックが配置されていまして、D/G が万が一火災等が発生したときに、常用、非常用の両方に影響を及ぼす可能性があるということがあります。こういったことを踏まえまして、

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

D/G 積載のトラックを移動してそちらのスペースをあけるとともに、そこに非常用側の高台炉注ポンプの流量調整弁の追設を行うということを行いたいと思います。先程の D/G の積載のトラックは先程のところに移動しまして、こちらのトラックの並んだ南側に車庫があります。こういった H 鋼でなっている車庫ですが、こちらにトラックを移動しようということで予定しています。スケジュールは、明日、D/G のトラックの移動ということで、こちらは午前中2時間くらいで終わる予定にしています。その後、16、17、18日と、3号機、2号機、1号機ということで流量調整弁の追設を行なって、金曜日に最終的な運転圧での漏洩確認を行うということを予定しています。こちらは2時間ほど非常用の高台炉注水ポンプ、明日、電源の D/G がなくなるということになりますが、常用側の炉注ポンプについては10月に M/C の切替がありまして、5、6号側の D/G が繋がるという状態になっていまして、強化されたという状況です。それから、非常用の高台の炉注水ポンプが一時起動できなくなりますが、純水タンク脇の炉注ポンプというのが、同じくバックアップであります。それから、常用の高台炉注水ポンプの隣に消防車がありまして、こういったことで炉注水の再開が可能になっていまして、この間についてはそういった形のバックアップが行えると想定しています。最終的に18日に作業を終えるということで計画しています。

(安定化 C 所長) D/G のトラックの移動は2時間くらいと。2時間経ったら一応非常用 D/G の非常用ポンプ側と結線してスタンバイになるのですね。

(循環注水冷却 G) 明日の午前中に開始して12時くらいに結線まで終わる予定です。

(安定化 C 所長) 確実に作業と連絡体制もしっかりやってください。

(本店広報班) 本日の広報の状況についてお伝えします。本日は当社単独で 11 時、16 時 30 分からは統合会見を実施して現在も継続中です。11時の会見は約 20 分くらいで終了しています。主な説明内容はロボットによる3号機 R/B の線量調査、スラッジ貯蔵設備の工事開始、2号機の PCV ガスサンプリングについて紹介しています。質問は上記説明に関するものに加えまして、11月11日、12日に実施した視察に関するもの等がありました。16 時 30 分からの統合会見では、本日12:32くらいに発生しています、正門の連続ダストモニターの機器異常の警報発生に伴う全面マスクの着用ということで説明しています。

(安定化 C 所長) 今週は17日に道筋の進捗の報告をするということです。一つの節目でありますので、関係で作業されている方々引き続きよろしく願います。全体会議は以上で終了したいと思います。ご安全に。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<11/15(火)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C █████) 本日現場で作業にあられた方々、各所から現場を支えて頂いた方々、お疲れ様でした。11月15日統合本部全体会議を開始します。福島は朝晩が寒くなり、気温も昼は14℃くらいまで上がりましたが、朝晩は10℃を切る天候であります。本日の作業も引き続き、各方面、各エリアで全面的に作業が展開されました。特段のトラブルもなく、順調に作業は進みました。いくつかのトピックスもありますが、この後報告します。作業・プラント状況を1Fから報告をお願いします。

(1F ユニット所長) 本日は一日晴れ。傷病者の発生はありませんでした。プラントパラメータも安定して推移しております。水移送・水処理・散水は何れも計画通り実施しております。今日の主な作業として、非常用高台炉注ポンプに流量調整弁を取り付ける作業が明日から始まりますので、今日は当該ポンプ用のD/Gを移動する作業を行いました。6号機では取水路の補機ポンプ室の土砂除去作業は本日から8日間の子定で実施します。

(1F 発電班) 1号機では給水系から7.7m³/hで注水しております。RPV底部ヘッド温度は37.6℃で低下傾向、D/W圧力は19kPa gage、SFP温度は20℃です。2号機はCS系から7.3m³/h、給水系から2.8m³/hで合わせて10.1m³/hを注水しており、RPV底部ヘッド温度は69.2℃で安定。D/W圧力は8.3kPa gageです。PCV内H₂濃度ですが1.4%でゆっくり低下しております。SFP温度は22℃です。

3号機はCS系から8.1m³/h、給水系から2.7m³/hで合わせて10.8m³/hを注水しており、RPV下部ヘッド温度は69.3℃で若干の低下、D/W圧力は0.2kPa gage、SFP温度は22℃です。

4号機のSFP温度は31℃、共用プール温度は25℃です。

5号機は原子炉水温度、SFP温度とも順調に冷却しております。パラメータに大きな変動はありません。

6号機は本日から海水の取水ポンプ室の清掃を始めました。当該作業のために今朝早朝にRHRポンプ、RHRSポンプ、ASWポンプを停止しておりましたが、17:22に冷却を再開しております。冷却再開時の炉水温度は36.5℃、SFP温度は25.5℃です。当該作業は日曜を除いて22日まで継続する予定です。

(1F 復旧班 1～4号) 水移送関係ですが、2号機からHTI建屋への移送は継続して実施しております。3号機からプロセス建屋への移送は本日9:25に再開しております。水処理関係ではキュリオン、サリーとも順調に稼働しております。アレバは待機停止中です。RO装置、蒸発濃縮装置も運転を実施しております。本日ベッセル交換はありません。明日はキュリオンのHベッセル2塔並びにSMZベッセル1塔の交

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

換を予定しております。

高台炉注ポンプの移動を本日9:30~10:37の間実施しており無事終了しております。明日は3号機の非常用ポンプに流調弁の取付作業がありますので、消防車の待機等準備したいと思います。

1~3号機のR/B滞留水サンプリングの準備のための現場調査を実施しております。線量的にも問題との連絡を受けております。

明日は炉注バッファタンクのN2バブリングの流量調整が行われます。水位計の指示に注意していききたいと思います。

(1F 復旧班 5~6号)滞留水関係ですが、浄化水の散水を土捨場の北側周辺、伐採木置き場で行います。滞留水移送の予定はありません。

(1F 土木班)タンク関係ではGエリアで・・・、Hエリアでタンク組み立てを実施しております。海側遮水壁設置工事ではボーリング調査を継続実施しております。6号機補機ポンプ室の清掃作業は昨日に引き続き、明日も継続実施予定です。

(1F 建築班)1号機カバーリング工事では750tクレーン1号機点検、2号機の起伏ワイヤーの交換を行っております。明日も1号機は点検、2号機は部品の片づけになります。

3号機ガレキ撤去では、本日は架台組み立て、T/B屋上の排気ダクト解体、RWの飛散防止剤の散布を実施しております。明日も継続して行いますが、海側の地組ヤードでは○台の補強溶接と足場の組み立てになります。それとRWでは上部のガレキ撤去を開始いたします。4号機ガレキ撤去工事は本日5階のオペフロのワイヤーの補強とボーリング調査を行いました。明日も継続して行います。次にスラッジ棟では壁・柱PCの立て方、PCの間の壁コンクリートの打設、床のエポキシ塗装、設備棟では床の防塵塗装、明日も継続して実施予定。

(1F ユニット所長)他にありませんので、福島第一からは以上です。

(安定化C ■■■■)昨日実施した3号機でロボットのオペレーションを行いました、これは3号機PCVガス管理システムを設置するにあたって、線量を低減・測定するという作業の一端であります。それに対してご報告させていただきます。

(安定化C 技術支援部)(書面による説明)

11/3に3号機R/B1階PCV機器ハッチ前の線量を測定したところ、620mSv/hを確認しており、線量が高かった場所の再調査を実施いたしました。使用機器はアクポット2台を使用しております。PCV機器ハッチ床面の状況ですが、床面のエリアは乾燥しております、機器ハッチのレールを確認したところ、表面はスラッジ状になっておりまして、水の有無が分からなかったため、表面をロボットにウエスを持たせてこすったところ、水が有ることを確認しました。

こちらが線量測定の詳細な結果ですが、今回は線源が床にあるかを確認するために高さ方向で40cm、120cm、170cmの1箇所あたり3つの高さで測定しました。図

(非管理メモ)

本資料は、本部門卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

で赤いところが600mSv/h以上、青いところが300mSv/h以下、北側のレールに沿って線量が高いところがあります。PCVに近い場所の高さ40cm付近では870 mSv/hを確認しました。(表)数値で示される通り、床に近いほど線量が高くなっており、レール溝部をウエスで擦りましたが、その時のレールの表面近傍では1.3 Sv/hであることを昨日確認しました。以上が昨日の作業の概要です。

(安定化C 所長)非常に厳しいデータですが、これは貴重なデータでもあると思います。今後、このエリアの除染作業をどう進めていくか、PCVガス管理システム設置の作業の段取りをどうしていくか、今回得られたデータに基づきましてさらに深く検討してより安全な作業計画を立てて参りたいと思います。

安定化センターの報告は以上なので、本店本部から報告をお願いします。

(本店 広報)本日、午前は11時から30分程度、午後は18時から会見を実施しております。午前の説明内容ですが昨日21:30に保安院から報告しておりますが、1～3号機事故時操作手順をなぜマスクングしているのか説明している。

2号機PCVガス管理システムのサンプル結果。ロボットによる線量調査結果を口頭で説明しております。1～6号機サブドレン水位結果を報告しております。

ロボットによる線量調査結果については、準備が整い次第、映像を用いて説明していきたい。マスコミの反応ですが、手順書マスクング理由、高台ポンプのバックアップに関する質問があった。

(本店 工務部)(書画による説明)

新福島変電所での機器点検に伴う岩井戸線 1Lの停止に関する説明。停止期間は11/22 9時～17時。富岡線1L・2L、岩井戸線2Lのうち、どれか1つが停止しても容量が十分なため、発電所への影響はない。なお、停止時間9時～17時ですができるだけ前倒しで点検を終了できるようにいたします。

(安定化C ■■■)その他連絡事項なければ、全体会議を終了します。お疲れ様でした。ご安全に。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<11/16(水)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C ■■■■)本日現場で作業にあられた皆様、また、現場を各所から支援頂きました皆様、お疲れ様でした。11月16日の統合本部全体会議を始めます。本日は昨日に引き続き朝夕は肌寒い天候でしたが、昼間は晴天に恵まれ、各エリア、各部門で全面的に作業が展開されました。トラブル、また、ケガもなく予定通りの進捗を見ました。ありがとうございました。

(1Fユニット所長)天候には恵まれました。それから、本日もけが人、病人の発生もなく無事に作業は進んでいます。特記事項をいくつかお話ししますが、3号機については使用済み燃料プールのポンプのサクシオン圧が下がるという状況が確認されていて、今日は手順書に従いましてスキマーサージタンクのレベルをあげるということでポンプのサクシオン圧の回復を図っています。今後は、ストレーナが詰まるという事象が原因ですので、対応を考えて検討したいと考えています。6号機については昨日から取水路の清掃を始めています。本日は丸一日フルに作業をするという状況でして、午前中にシステムの冷却系の停止を行いまして午後復旧をするという作業の段取りに入ってきました。モニター等については特に異常なく進んでいます。明日以降も連続して進める予定になっています。3号機の高台の緊急時の炉注ポンプについては、今回流量調整弁の設置が進みまして、リークチェックまで完了しているということで、明日以降、他号機への展開を図る予定になっています。

(1F 発電班)1号機は、給水系から7.7m³/hで注水を行っています。RPV底部ヘッド温度は36.9℃で低下傾向が継続しています。D/W圧力は19kPa gage、SFP水温度は19℃です。2号機は、CS系から7.4m³/h、給水系から2.7m³/h、合わせて10.1m³/hの注水です。RPV底部ヘッド上部温度は68.7℃で安定状態です。D/W圧力は8.1kPa gageです。PCVのガス管理システムの水素濃度ですが、現在1.1%、ゆっくりとした低下傾向です。SFP水温度は20℃です。3号機は、CS系から8.1m³/h、給水系から2.6m³/h、合わせて10.7m³/hの注水です。RPV下部ヘッド温度は68.5℃、まだ若干の低下傾向を見せています。D/W圧力は0.2kPa gage、SFP水温度は20℃です。本日午後、プールの冷却系の循環ポンプについて吸込圧力の低下傾向が継続して、対応目安の0.035MPaになりましたので、スキマーサージタンクの水張りを行い、吸込圧力を0.043MPaに改善しました。明日の午後、システムを停止してポンプの吸込ストレーナの逆洗を行う予定です。4号機のSFP水温度は28℃、共用プールは23℃のプール水温です。5号機は原子炉、SFPとも順調に冷却が継続しています。6号機は本日朝方2日目の海水の、取水ポンプ室の清掃準備として6:37から6:41にかけて海水ポンプを停止しました。その後、予定通り本日の作業が終了しましたので、16:49から17:06にかけて停止したポンプを再起動して原子炉とプールの冷却を再開しています。再起同時の原子炉水の温度は36.6℃、朝停止時点からみて12℃の上昇でした。SFP水

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

温度は25.5℃で、朝からみて1℃の上昇でした。

(1F 復旧班) 1~4号関係ですが、水移送は継続です。2号 T/B からHTI建屋、3号 T/B からプロセス建屋へ順調に送っています。水処理は継続で SARRY、KURION 運転中です。本日、KURIONでSMZベッセル1塔交換済みです。Hベッセルについては今2塔について交換中でそろそろ終わる予定です。明日はベッセル交換はありません。水位関係ですが、1号機はT/Bで17mm上昇してOP3549mmという状況です。R/Bは11mm下降してOP4528mmです。2号機はT/Bで5mm下降してOP3136mm、トレンチで10mm下降したという状態です。3号機はT/Bで7mm下降しました。トレンチは6mm下降してOP3302mmです。4号機は10mm下降してOP3089mmという状況です。集中ラドですが、プロセス建屋は22mm上昇してOP1507mm、HTI建屋は21mm下降してOP2066mmです。明日の作業関係ですが、継続で1~3号のPCVのガス管理システム設置工事を行っています。1, 2号については、今日3号をやりましたが、非常用の高台原子炉注水ポンプ用の流量調整弁の追設を行います。1, 2号です。3号でR/Bの1階で機器ハッチの前のレール部、ちょっと線量が高かったところですが、その調査を行います。4号で使用済み燃料プールへのヒドラジン注入2m3行います。5, 6号ですが、滞留水関係ですが、浄化水の散水、明日は土捨場の東側周辺を行います。滞留水の移送ですが、6号T/Bから仮設タンクへの移送を明日行います。10時~16時です。その他についてはありません。

(1F 土木班) タンク関係の作業は、Gエリアで敷き鉄板の敷設、Hエリアでタンクの組み立て作業を継続しています。海側遮水壁の関係の作業は、ボーリング工事、調査を継続して実施しておりますが、構内側で実施していますボーリングについては、本日2本目のボーリングのマシンのセットがありまして、明日よりボーリングの掘進を開始する予定です。構外側、港の外側のボーリングについては本日まで1本目を完了してしまっていて、明日その片づけを行う予定です。

(1F 建築班) 1号 R/B カバーは、クレーンの最終点検、整備を行っています。また、物揚場で産廃の搬出を行いました。明日も継続になります。3号上部ガレキ撤去は、T/B屋上のダクトの解体、RW上部のガレキの撤去、冷却ユニットの防護組み立てを行い、明日も継続となります。4号は、5階オペフロ柱の補強ワイヤー張り、トレンチ、U字構などの補強、またボーリング調査を行いました。明日も継続となります。スラッジ貯槽については、壁・柱のPC建方、壁のコンクリート打設、床塗装、ダクト取付など、設備棟では床塗装を行いました。明日も継続となります。

(1F ユニット所長) ご視察等の関係ですが、本日、保安院さんの大村検査課長さん、米山統括保安検査官他の皆さんがご視察に来られました。明日は JAEA さんの放射性廃棄物の処理サブチームの方々が登場のご視察に来られる予定になっています。明後日は警察庁、福島県警さん他のメンバーの方々が登場のご視察に来られる予定になっています。

(安定化C ■■■■■) 今日水曜日ですので、水処理のオペレーションの週報を報告

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

します。

(安定化 C 水処理 PJ 部) (書画による説明) 毎週水曜日、週報ですので、15日現在の状況をかいつまんで説明します。貯蔵量です。1~4号機まで移送を継続していますが、1号機の水位を2号機に移すということで1号機が減っていますが2号機が若干前回報告より増えている状況です。高温焼却建屋、移送先ですが、今は、3号機はプロセス建屋に切り替わっていますが、先週までの状況ではご覧の通りです。2号、3号は若干水位が戻っている状況です。処理ですが、プロセス建屋、高温焼却炉建屋、15日現在で 6000t、3200t という貯蔵量で、水位が 1400mm、2100mm と、OP になります。累積処理量ですが、161710m³ 処理をしまして、ベッセル8本交換しています。廃スラッジの量ですが、これは AREVA の装置を指しますが、今現在は稼働していませんので AREVA の発生量 581m³ の廃スラッジがあります。これは貯蔵しているプロセス建屋の地下のピットですが、こちらの表記ですが、今回から実力値、設計値から運用上の上限値、前回までは 800m³ と書いてありましたが、500m³ の運用上の上限値ということで決めさせていただいていますので、そちらを記載しました。DF 関連、これはサンプリングは特に変わっていませんが、プロセス建屋、HTI 建屋の 10+5Bq くらいのおおむね DF4 乗以上出ているということで、KURION 側についてセシウム吸着塔出口で 74×10+2Bq、SARRY は ND ということで安定して処理ができているということです。貯蔵タンクですが、若干量が継続して増えています。タンクは今月末までにいくつか増設していきませんが、貯蔵容量に対して濃縮水受けタンクが 80000m³ ということでかなり近づいていると。淡水受け、エバポレータ、蒸発濃縮装置の廃受け貯槽について、まだ若干余裕があるという状況です。

(安定化 C ■■■■) 2号機の格納容器ガス管理システムがオペレーションに入りましてから、ガスの分析を、最初動き始めた当初ということもあり、キセノンが出たと言うことがありまして、頻度をあげて採取、あるいは分析しているところです。本日も採取を行いましたのでその結果を速報ベースで報告します。

(安定化 C 原子炉安全評価 G) (書画による説明) 本日もこのガス管理システムのフィルタの入口、出口、モニタリング装置で粒子状フィルタとチャコールカートリッジ、この4つを採取して分析しています。こちらがフィルタの入口の結果です。概ねこれまでと同じ傾向を示しています。臨界の判断はこのポイントでのキセノン135の数字で判断することとしています。今回も検出限界未満ということで管理値の1Bq/cc を下回っているということで未臨界と判断しています。続いて、こちらがダストフィルタとチャコールフィルタの結果です。こちらもおおむねこれまでと同じ傾向を示しています。お騒がせをしたときに検出されたキセノン135についても、1.9、2.7、1.1、4.6 のときは 10⁻³ ですが、今回 2.5×10⁻²、ほぼ同じオーダーで推移してまして、自発核分裂であるということの調査になっていると考えています。ただ、若干、入口のクリプトン85の数字ですが、揺らぎの範囲とも考えられますが、これまでからみても一番大きな数字を示しています。出口側のフィルタの数字としてもこれまでより一番大きな数字を示していますので、今後どこから来ているのかを踏まえて検討を進めていきたいと

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

思っています。また今後の予定ですが、これまで頻度を高めて行っていましたが、フィルタ入口のバイアル瓶の採取を週一回行いまして、検出限界の判断を継続して行っていききたいと思います。また、モニタリング装置のダストフィルタ、チャコールフィルタについては、こちらも従来の予定通り月一回ということで測定をしていききたいと思います。

(安定化 C █████) クリプトンの問題はいろいろ原因があるかもしれませんが、引き続きデータの揺らぎの範囲なのか、あるいは何か測定方法があるのか、あるいは格納容器の中の気体の流れに何か知見が得られるのか、引き続きしっかりと分析していききたいと思います。各方面のご協力をお願いします。

(本店広報班) 本日のプレスへの説明状況です。本日は、午前は11時と午後は6時、当社単独会見となっています。午前中の会見については、特筆すべき内容はありませんでした。午後については先日のロボットによる3号機 R/B 線量調査結果、また滞留水の処理状況ということの説明の予定です。明日は道筋の会見ということで、状況を整理したりおさらいしたりする質問等が予想されています。

(2F 所長) 報告1件と連絡1件お伝えします。報告事項ですが、本日まで11月14日から16日本日まで、保安院さんにより緊急事態応急対策の実施状況の立入検査を受検させていただきました。書類検査、現地調査を中心に実施していただきまして、若干誤記がありまして申し訳ありませんでしたが、コメントは特にありませんでした。今後、緊急事態の解除に向けて評価をいただくという予定と伺っています。報告事項1件ですが、1号機ですが、原子炉を除熱します RHR の A 系の復旧作業が進んでおりまして、明日、ポンプのテストランを14時から15時に行いまして、16時から18時の間、RHR 系の B 系を止めて A 系に切替る作業を行います。炉水温度は今25°Cですが、29°C程度まで上昇するのではないかと評価しています。8ヶ月を経たわけですが、除熱系統は1号～4号まで2系統すべて復帰ということで、代替の1系統も確保できるという状況まで復旧しました。今後、まだ機器のメンテナンス等で止めることもありますが、2系統+代替1系統ということで、通常の状態までようやく戻すことができました。

(安定化 C █████) 確実にまた安全確保に最善を尽くしていただきたいと思います。統合本部全体会議を終了します。今日1日お疲れ様でした。ご安全に。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<11/17(木)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C) 本日は月例の道筋の公表を実施した。また、本日は残念ながら若干のトラブルがあった。先日2号機 PCV ガス管理システム試験で検出されたデータに若干の誤りがあった。また、循環ループにピンホールがあり、微少リークが見つかった。その他は順調である。

(1F ■■■) 本日天候には恵まれ、怪我人はなかった。2号機 PCV ガス管理システムでの水素濃度は1.0%で安定している。その他パラメータも安定している。

3号機ポンプ吸込圧力が下がってきていたが、ストレーナの逆洗をしたところ無事回復している。4号機については、熱交換器の流量差が大きくなったためプールの冷却が自動停止した。現場の点検結果をしたところ、漏えいがないため起動した。計装の不具合が考えられるためセンターと相談したい。1号機カバーリング作業における750tクレーンの片づけを実施しているが、最終的な調査が終了したので明日から4号機へ移送する。ガレキ無人重機作業は本日終了。

(1F 発電班) 1号機は、給水系から7.7m³/hで注水を行っています。RPV底部ヘッド温度は36.8℃で安定状態。D/W圧力は20kPa gage、SFP水温度は18℃です。2号機は、CS系から7.4m³/h、給水系から2.7m³/h、合わせて10.1m³/hの注水です。RPV底部ヘッド上部温度は68.8℃で安定状態です。D/W圧力は7.0kPa gageです。PCVのガス管理システムの水素濃度ですが、現在1.0%で低下傾向の継続です。SFP水温度は19℃です。3号機は、CS系から8.1m³/h、給水系から2.5m³/h、合わせて10.6m³/hの注水です。RPV下部ヘッド温度は67.9℃、D/W圧力は0.2kPa gage、SFP水温度は19℃です。先ほど話があったように、本日 SFP の吸込圧力低下の対策として、系統停止してポンプ入口ストレーナの逆洗をし再起動した。吸込圧力が0.035MPaから0.17MPaに上昇し改善された。

4号機のSFP水温度は28℃です。なお、14:58熱交換器ユニット漏えい大の警報のため自動停止した。この警報は入口出口の差流量を検出しており、20m³/hの差があると自動停止するインターロックである。現場確認したところ、漏えい等異常はなかった。流量検出器の一過性のものと判断し16:12再起動し、様子を見ているが現在異常なし。なお、再起動の際、出口の流量検出フランジに水のにじみがあり、3分に1滴程度であった。その水は堰内に収まっている。明日、増し締め等実施する予定。共用プールは23℃です。

(1F 発電班) 先日に引き続き、6号機海水ポンプ室清掃のため、RHR また RHRS を約10時間ほど停止した。炉水温度は約12℃、プール水温度は約1℃上昇した。夕方共にポンプ類を再起動し通常状態となっている。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(1F 復旧班) 1~4号関係ですが、水移送は継続です。2号 T/B から HTI 建屋、3号 T/B から プロセス建屋へ順調に送っています。水処理は継続で SARRY が 26.3 m³/h、KURION が 15. ? m³/h となっている。アレバは停止中。RO は運転中です。本日、ベッセル交換はありません。明日も予定なし。

水位関係ですが、1号機は T/B で 17mm 上昇して OP3592mm という状況です。R/B は 10mm 下降して OP4503mm です。2号機は 4~5mm 下降して T/BOP3122mm、3号機 5~6mm 下降しトレンチは OP3290mm です。4号機は 2mm 下降して OP3081mm という状況です。集中ラドですが、プロセス建屋は 17mm 上昇して OP1552mm、HTI 建屋は 17mm 下降して OP2018mm です。

本日、高台非常用炉注ポンプ1, 2号機用について FCV 取付完了している。その後 L/T し異常ないことを確認している。

3号機 R/B1階の PCV 機器ハッチレールの水の拭き取りをロボットで行っており明日はその効果を確認する予定。

(1F 復旧班) 明日は浄化水の散水 F タンクエリア周辺で行う。6号機北側あたりになる。滞留水の移送はなし。

(1F 土木班) RO 処理水タンクは H エリアでタンクの組み立て水張り試験を継続しています。海側遮水壁の関係の作業は、物上げ場南防波堤のキグ? でボーリング工事を実施している。5. 6号機の取水ポンプ室の清掃だが、明日も 8:45 から 15 時の間で予定している。

(1F 建築班) 1号 R/B カバーは、750t クレーンの最終点検が終わったので、明日 4号機側へセンカイトの移動を開始する予定。その他作業として、吊りジグの調整、物揚場において産廃の搬出を明日も継続する予定。3号上部ガレキ撤去は、ジグミヤードで準備足場の組立て、T/B 屋上のダクトの解体、3号機東側で RW 上部のガレキの撤去、3号機南西で冷却ユニットのボウグ組み立てを行い、PC 搬入を本日、明日も継続となります。4号は、オペフロ上の補強ワイヤー張り、継続作業として、トレンチ及び南側ヤードの U 字構の補強、ボーリング調査を行う予定。スラッジ貯槽については、壁・柱の PC 建方、コンクリート打設、足場盛り変え、本日も明日も継続。設備棟では、防塵塗装を実施している。ガレキ収集運搬関係は昼間給油、夜間作業 3, 4号機のガレキ積み込み運搬を行う。滞留水移送配管切替えに伴う建築工事は、昨日までで T/B 内のガレキ撤去が終わったので、プロセス建屋前のガレキ撤去、継続作業で 4号機 T/B のガレキコア抜きを本日明日共に行う。共用プール建屋復旧関連工事は、現在地下 1 階のケーブル貫通部処理として止水材の注入を行った。明日も継続。また、消防設備点検についてジカクホウショウカセン CO₂、消火設備等について調査を行い、明日も継続。666 開閉所の建築工事については、昨日実施したナラシコウの養生、本日は〇〇の積み出しを実施した。

(1F 土木) 震災後から実施してきた、無人重機による屋外ガレキ撤去の完了報告を

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

する。震災以降、各グループの依頼でヤードに点在していたガレキを無人重機で撤去してきた。今回、一段落ついてきたので、無人重機の撤去作業は一時終了とした。震災以降、ヤードの周り、建屋の周り、R/BT/B周り、海側ヤード、各プロジェクトで依頼のあったポイントについてガレキ収集を実施してきた。撤去したガレキは発電所北側エリアに8m³のコンテナに収納している状況である。3段積でヤードに置いている。コンテナに入れているのは遮蔽及び飛散防止のためである。発電所のなかにはガレキが点在しているが、例えば3号機T/B北側の循環水系のホース敷設されている周辺は未処理のガレキが多数ある。重機が入れない狭隘部のガレキも未処理の状態。今後各プロジェクトの要望があれば、無人重機は発電所に待機しているので土木で撤去を考えていきたい。明日は無人重機のメンテナンスを実施する。

(安定化C保安環境部)2号機のPCVガスサンプリングに関連してデータの誤りがあったのでお詫びと報告する。11月14日のサンプルだが、過少評価していた実態が分かった。補正後はクリプトン81を見ると6.2×10¹となっているが、実際には7.2×10¹であった。7サンプルで最大で2割程度高いというのがわかった。原因は、放射線計測器の校正をする際、第三者機関からショウソクしたキチの水の形をした線源、例えば100Bq があった場合 100cpm カウントすると100Bq/ccと値付けをする。校正する際は水で行っているが、実際にはかるサンプルは気体であるため、ジコキュウシュウという遮蔽する効果があるため、補正している。水だと100cpmであったものが気体だと120cpmのようになる。プログラム上していなかった。影響は7サンプルで最大20%程度であるので、問題ない。再発防止としては、当面校正業務の際に生じてしまうのが今回の事象であるため、チェック項目としてきちんと気体ではなく水分で校正したというチェックリストをもうけて対策をしたい。

(保安院山本)ガス管理システムのデータ誤りということで、先般もD/Wのデータの誤りがあったが、幸いにも1,2割程度であるとのことであるが、データの信頼性は極めて重要であるため、国民的にも関心が高いデータである。正確にデータを提供すべきである。今回については、原因と対策は報告あったとおりであるため、先般の例もあるように、データの作成・評価・手順全体について見直しをしてもらいたい。合わせて、測定ないし評価データについては結果の妥当性も確認すべきである。いずれにせよ、原因と対策を実施してもらえればと考えている。

(安定化C水処理プロジェクト)午前中に発生した循環ラインのホースの漏れについて説明する。10:50頃ヤードにて、保温材をホースにかけようと当社社員含めて現場調整しているところ漏えいを発見した。RO濃縮水で3カ所とRO処理水で2カ所確認された。RO濃縮水はタンクに貯めているが、タンクはたくさんヤードにあるが、隔離されているタンクとの接続している箇所であった。処理水ホースはポンプで加圧しており微量の漏えいであった。RO濃縮水は広がっており25m位の長さで幅は1m、深さ1mmで25リットル位漏えいであった。アクティビティについては、γ線の雰囲気

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

線量は確認されず、β線は 1mSv/h 程度の雰囲気になっていた。止水テープで処理してホース交換を今後する予定。(系統図、写真紹介)。

(安定化C原子炉安全評価G) 1号機は現在給水系から給水しているが、給水の多様化のため CS 系から入れるための段取りを実施している。先般保安院へ報告した施設運営計画でも示していたが、多様性を確保するという観点からCSから注水出来るように現在進めている。先立ち、CS系のインサービスの事前準備として給水系の注水量を低下させることを考えている。現在7.5m³/h で注水しているが、明日5.5に絞り込み1週間程度静定するのをまとうと考えている。温度は40℃程度まで下がってきているが、5.5m³/h まで絞ると温度が上昇することも考えられる。注水量を増やしていった時の傾向を見ると、5.5m³/h のときにRPV底部で65℃くらい、HVHで65～70℃くらいの実績があるので、だいたいその程度まであがる可能性があると考えている。仮に80℃上がるようであれば6.5m³/h に上げて温度を監視することを考えている。

(安定化C循環注水冷却 G) 原子炉注水系は今処理水をバッファータンクから注水しているが、信頼性向上の一環として3号機CSTを水源とした注水ラインを構築することを考えている。現在、3号機のCSTには滞留水が溜まっているのでこちらを移送することを来週月曜日から5日程度かけて行いたいと考えている。水処理プロジェクトの滞留水移送Gと共同で移送を行う。CST のポンプ、T/B ラインのポンプを用いて移送する。約1300tを計画している。現在処理水をバッファータンクから常用の高台炉注ポンプを経由して注水している。これに対して、3号機の CST に処理水を入れてそれを3号機CST炉注ポンプあるいは、T/Bの炉注ポンプを用いて注水することを考えている。3号機CSTに溜まっている1300tについては、3号機 T/B 地下にヘッド差を用いて落とすことを予定している。

(安定化 C 滞留水移送 G) (シミュレーション図を用いて説明)。来週月曜日に丁度水位が3000程度のところで移送を開始する予定である。金曜日位まで変わるかもしれないと考えている。その他の関連する作業としては、25日から1号機 T/B から2号機 T/B へ移送をする予定であるが、水位は3000前後をキープするよう考えている。集中 R/B21, 25に電源停止に伴い移送が停止するが、日中だけの作業であるので移送は継続して運用していきたい。

(本店広報班) 11時単独、16:30から統合会見を実施している。ガス管理システムの分析結果誤りについて公表した。これに対しては特段なかった。16:30からは道筋の会見ということで、説明している。ステップ2終了の判断を主な質問事項である。(2F) 昨日報告したように1号機 RHR(A)が復帰したので17:29切替えを実施した。切替えに伴う停止時間は14分であった。炉水温度は25℃から25.5℃となった。順調に運転している。

(福島地域支援室小森) 道筋の進捗状況の福島県政の状況について説明する。1

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

6:30から同じく始まっており、30分ほどで道筋の話と支援の話をしている。保安院の渡辺統括が話をされており、質問としては4~5点程であった。ステップ2の終了は年内できるのか、判断基準、中期的安全確保の評価ポイントについて保安院に質問が出た。ガス管理システムの設置はステップ2の必要要求となるのか。東電には除染活動の参画方針が質問された。

~全体会議終了~

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<11/18(金)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C 所長) 本日の天候は曇りで雨には降られませんが、週末は雨の予報となっていますので、外の環境への対応を含めて作業を行っていきます。

1号機の原子炉注水流量を15時半頃に $2\text{m}^3/\text{h}$ ほど絞りました。

バックアップ側にてカナフレックスホースのカシメ部で漏水を発見しましたが、大きなトラブルはありませんでした。

後ほど来週以降の電源強化工事について紹介します。

(1F ■■■) 本日もけが人、病人の発生もなく、作業が進んでいます。今夜半くらいから天気が崩れ、明日はかなり雨が降る予報なので、現場の点検を持ち場で行っています。

プラントの特記事項については、1号機の炉注ライン多重化の一環で、流量を $7.7\text{m}^3/\text{h}$ から $5.5\text{m}^3/\text{h}$ まで下げる作業を行っています。2号機 PCV ガス管理システムの水素濃度は、現在 0.9%まで低下しています。本日も6号機の取水路の清掃を行っており、プラントの冷却は先ほど復旧しています。全体的に順調に進んでいます。本日はホウ酸水注入ラインの凍結防止対策が終了しました。1号機の 750t クレーンの4号機への搬送が始まっています。昨日のロードマップともリンクしますが、本日より D/W 温度管理として HVH 温度も報告します。

(1F 発電班) 昨日の収束に向けた道筋に示した内容に関連して、1号機から3号機の格納容器内の雰囲気温度も D/W 内温度という表現でお知らせすることになります。この温度は RPV 底部に近い箇所になります。

1号機は給水系 $5.5\text{m}^3/\text{h}$ で注水を行っています。注水量については、本日 15:33 に計画通り $7.7\text{m}^3/\text{h}$ から $5.5\text{m}^3/\text{h}$ に変更しました。RPV 底部ヘッド温度は 36.7°C で若干の上昇傾向となっています。今後も継続して監視します。D/W 内温度は 38.4°C 、D/W 圧力 $20\text{kPa}_{\text{gage}}$ 、SFP 温度 18°C です。

2号機は CS 系 $7.0\text{m}^3/\text{h}$ 、給水系 $3.0\text{m}^3/\text{h}$ あわせて $10.0\text{m}^3/\text{h}$ で炉注を行っています。本日1号機の流量調整を行った際に若干の変動がありましたので微調整をしました。RPV 底部ヘッド上部温度は 68.1°C 、D/W 内温度 69.4°C 、D/W 圧力 $8.7\text{kPa}_{\text{gage}}$ です。PCV ガス管理システムの水素濃度は 0.9%で低下傾向を継続しています。SFP 温度は 19°C です。

3号機は CS 系 $8.1\text{m}^3/\text{h}$ 、給水系 $2.5\text{m}^3/\text{h}$ あわせて $10.6\text{m}^3/\text{h}$ で炉注を行っています。1号機の流量調整により若干の変動がありましたので微調整を行いました。RPV 下部ヘッド温度は 67.6°C 、D/W 内温度は 57.9°C 、D/W 内圧力は $0.2\text{kPa}_{\text{gage}}$ 、SFP 温度は 19°C です。昨日午後、SFP 冷却システムのポンプの吸込ストレーナの逆洗を行いました。その後ポンプの吸込圧力は、若干の低下はありますが現在安定して

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

います。

4号機 SFP 温度は 27°Cです。昨日午後に警報が発生して系統が停止しましたが、再起動後は警報検出予想である熱交換機出入口の流量は安定しています。今後も継続して監視します。供用プール温度は 22°Cです。

5, 6号機について、6号機取水路ポンプ室の清掃作業にともない、海水ポンプの停止、再起動を行いました。約10時間海水ポンプ・RHR ポンプを停止し、炉水温度の上昇は 11.5°C、SFP 温度の上昇は 1°Cで昨日と同様のレベルです。明日も同様に作業を行います。

(1F 復旧班)水移送については、2号機は T/B から HTI 建屋に移送を継続しています。3号機もプロセス建屋への移送を継続しています。水位関係について、1号機抜管エリアで 14mm 上昇、2号機 T/B で 3~5mm 下降、3号機は 4~5mm 下降、4号機で 1mm 下降です。受け入れ側集中ラドでは、プロセス建屋で 18mm 上昇して OP1597mm、HTI 建屋で 19mm 下降して OP1968mm で、シミュレーション通りです。滞留水処理関係では、キュリオン・サリーとも順調に運転しており、キュリオン 15.7m³/h、サリー25.7m³/h です。明日キュリオン H ベッセル 2 塔交換予定です。

5, 6号機ひまわりPJでは、G エリアへの散水(81t)を実施しています。明日は C エリア散水の予定です。

本日、ホウ酸水タンク凍結防止対策として、ヒータの受電・通電を行っており、問題ないことを確認しています。引き継ぎ関係を実施し、来週以降インサービスする予定です。

配管からリークがありました。1号機の高台炉注ポンプ(D/G)の吸込側で3秒に1滴のリークがありました。部位はカナフレックス間のカシメ部で、交換が必要になると思います。この件について安定化センターに依頼しています。

(1F 土木班)タンク設置工事について、G エリア H エリアにて継続実施しています。遮水壁設置工事について、第一工区はボーリングを継続しています。第二工区では、本日1本目が仕上がりましたので、ボーリングマシンの移動を明日行います。

(1F 建築班)1号機カバーリング工事について、本日、750t クレーンの旋回体を4号機ヤードの方に積み込み、搬入しています。もう一方のクレーンの移動・整備、産廃搬出を行っており、明日はカバーの排気設備の水素濃度計の校正のみを行います。3号機がれき撤去について、T/B 屋上でダクトチラーの解体、ラドビルの上部がれきの撤去、冷却ユニット防護壁の組み立て、地組ヤードでの構台足場の組み立て、鉄板敷きを行っており、明日は継続作業の他、南側ヤードでコンクリート打設を行います。4号機がれき撤去について、クレーンの搬入の他、5階オペフロの高線量がれきの撤去、トレンチ補強、ボーリング補強等を行っており、明日は継続作業の他、5階オペフロでの柱のワイヤー張り、重機のブーム交換があります。がれき運搬について、本日明日とも、夜間作業で3, 4号のがれき運搬を行います。スラッジ貯蔵施設につ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

いて、スラッジ棟で壁柱の PC 建方が本日で完了しまして、全部で 217 ピース完了しています。あわせて、床エポキシ塗装を行っています。設備棟では床の防塵塗装を行っています。明日は継続でとそう作業と足場解体を行います。

(1F ■■■) 本日もご視察があり、警察庁、福島県警のみなさんが現場をご視察に入っています。

(安定化 C 所長) 3号機の格納容器のハッチで高線量の場所があった件について、本日明日ともロボットが入りますが、本日の作業は終わっていない状況なので、状況がわかりましたら後日説明します。電源関係で M/C の修理と所内電源強化にともなう工事が来週以降予定されています。その作業および停止する負荷について説明願います。

(安定化 C 施設基盤) 大熊線 3L につながっている移動用変圧器 3B の漏洩修理にともなう設備停止について説明します。移動用の変圧器車について、先日ラジエータから微量な油の漏洩があると連絡しましたが、量が微量であることから変圧器車ごと取り替えるのではなく、ラジエータのみの交換を行うことで対応していましたが、来週から交換ができるため、それにともない停電作業が発生します。負荷として、滞留水処理関係の負荷が停止します。これにともない所内共通 M/C2A の列盤の増強工事にあわせて行うため、その取替が終わった後に増強工事を 11/25 から 12/2 にかけて行います。変圧器車を停止しても連携線が引かれているため、負荷については、切り返しの停止はありますが、修理をしている間は電源がきている状態です。これにあわせて、所内共通 M/C2A の列盤の増強を行います。工期について、ラジエータ取替が 22 日から 24 日の間に行い、その前後の 21 日と 25 日に水処理関係の負荷が停止します。また、25 日から所内共通 M/C2A の列盤増強を行います。これにあわせてその前後、25 日と 12 月 3 日に負荷の停止があります。来週から負荷の停止がありますのでご協力よろしくお願いします。

別にもう一件電気工事があります。これは停電をとともなうものではありませんが、お知らせです。現在、南側 66kV 開閉所の工事を行っています。所内共通変圧器 2A と所内共通 M/C2A を接続する際に、ノンセグの貫通口を建屋に設置します。この穴を開けるための足場の組み立てを行います。東電原子力線と非常に近い作業となるため、東電原子力線を停止します。足場の組み立て時の 12/1 から 12/2 の 16 時まで、足場の解体時の 12/19 から 12/20 までの間、東電原子力線を停止します。特に停止負荷はありません。この停止にあわせて、外部電源強化グループでも東電原子力線の架線の調査を実施する予定です。ちなみに東電原子力線は現在では受電をしていない状態です。

(安定化 C 所長) 負荷の切り替えについて、設備の所管のグループとよく調整して来週の作業に万全を期すようにお願いします。

(本店広報班) プレスの説明状況について、11 時と 6 時に当社単独会見となってい

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

ます。11時の会見では、1号機の注水ライン多重化にともなう注水量の減少の説明と3号機SFP循環冷却ストレーナ清掃等を説明し、特段のやりとりはなく終了しています。6時からの会見では、3号機のロボットの現段階の作業状況と冬季対策として現段階で検討している防寒対策、設備の凍結防止対策を説明する予定です。

(安定化C所長)本日から20km圏内での除染モデル事業として大熊町役場の除染等が開始されました。立ち入り禁止区域内の作業ですが、自衛隊さんも含めているような方々が入られますので、交通安全に十分な注意が必要となります。関係の方にはご配慮よろしくお願ひします。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<11/19(土)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C 所長) 本日、午前中は少し曇り状態だったが、現在は雨天となっている。作業的には平日に比べ仕事が減っている。

3号機 SFP の熱交換機冷却側の温度が上がった件について、元弁が閉まっていたのが確認された。また、元弁を開した後インサービスしたときに水が濁ることがあった。後ほど説明する。その他、昨日の夜の段階で水処理 RO2 ポンプトリップしたが、水処理のバランスは取れている状態である。

(1F ■■■) 現在雨が激しく降っている状況である。また、風も出てきている。ただ、現場作業は順調であった。プラントの特記事項は2点である。1点は、1号機炉注流量を7.7m³/h から5.5m³/h に落としたが、温度は上昇に転じている。12時間で1.5～1.7℃程度上昇している。今後、継続して監視していきたい。2点目は、3号機 SFP の2次系冷却だが、水の給水ラインの弁が閉であったこと、給水した際に砂が溜まっていて十分な性能がでなかったということがあった。構造上中が汚れる構造となっているので、今後定期的に清掃するなどメンテナンスの方法を確立する必要がある。

(1F 発電班)

1号機は給水系 5.4m³/h で注水を行っています。RPV 底部ヘッド温度は 38.6℃で1.7℃の上昇となっています。現在サチレートする傾向は見えていない。D/W 内温度は 40.3℃で上昇傾向、D/W 圧力 18kPa_{gage}、SFP 温度 19℃です。

2号機は CS 系 7.0m³/h、給水系 3.0m³/h あわせて 10.0m³/h で炉注を行っています。RPV 底部ヘッド上部温度は 68.4℃、D/W 内温度 69.2℃、D/W 圧力 9.7kPa_{gage} です。PCV ガス管理システムの水素濃度は 0.9%で低下傾向を継続しています。SFP 温度は 20℃です。

3号機は CS 系 8.1m³/h、給水系 2.4m³/h あわせて 10.5m³/h で炉注を行っています。RPV 下部ヘッド温度は 67.0℃、D/W 内温度は 57.6℃、D/W 内圧力は 0.2kPa_{gage}、SFP 温度は 21℃です。

3号機 SFP 冷却系については熱交換機の冷却水側温度が上昇していた。そのため朝現場を確認したところ、冷却水を冷やす装置に散水をしているが、その散水装置に水がないことを確認した。補給ラインを確認したところ、補給弁が閉まっていたので開操作をし、散水棟を再起動している。当該弁については通常開運用である表示をした。合わせて、再起動した散水棟は水質が悪く水が落ちていかないため、予備側に切り替えて温度が下がることの確認は取れた。

4号機 SFP 温度は 27℃です。供用プール温度は 22℃です。

5, 6号機について、原子炉、プール冷却は順調である。6号機について、5日目の

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

取水路ポンプ室の清掃作業となる。朝7時に海水ポンプの停止をした。その後17:14~17:28にかけて再起動を行った。原子炉水温度は36.5°Cで12°C上昇であった。プール水温度は25.0°Cで0.5°Cの上昇であった。なお、この作業は22日迄続くが、明日は本作業を実施しない。

(1F 復旧班)水移送については、2号機はT/BからHTI建屋に移送を継続しています。3号機もプロセス建屋への移送を継続しています。水位関係について、1号機抜管エリアで14mm上昇、2号機T/Bで3~5mm下降、3号機は4mm下降、4号機で2mm下降です。受け入れ側集中ラドでは、プロセス建屋で15mm上昇してOP1641mm、HTI建屋で15mm下降してOP1929mmで、シミュレーション通りです。滞留水処理関係では、キュリオンはHベッセル2塔交換した。HFベッセルについても通水切り替えを実施して、午前中終了している。現在、キュリオン、サリーとも順調に運転しており、キュリオン17.3m³/h、サリー15.7m³/hです。

5, 6号機ひまわりは、C エリアへの散水(77m³)を実施しています。明日は作業は縮小しているが、1.2号機PCVガス管理システム棟を実施予定です。

(1F 土木班)タンク設置工事について、G エリア H エリアにて継続実施しています。明日は休工。遮水壁設置工事について、第一工区はボーリングを継続しています。第二工区では、ボーリングマシンの移動を実施した。を明日は休工。

(1F 建築班)1号機カバーリング工事について、水素濃度計の校正を行った。明日は、休工。3号機がれき撤去について、南側ヤードにてコンクリートの打設、地組ヤードでの構台足場の組み立て、道路鉄板敷き、T/B建屋屋上でダクトチラーの解体を実施した。明日は地組ヤードで構台の補強溶接、道路鉄板敷、解体については、T/B屋上で継続で実施するが加えてRw/B上部がれきの解体を行う。4号機がれき撤去について、5階オペフロにおいて柱のワイヤー補強、重機のブーム交換トレンチU字溝の補強、ボーリング調査を行う。明日は休工。スラッジ貯蔵施設について、スラッジ棟で足場の解体、床塗装、壁のシールを行った。明日は休工。

(1F ■■■) 明日は保安院防災課の事故〇〇がメンバーインタビューにこられると聞いている。

(安定化C外部循環冷却G)3号機冷却塔の概要を紹介して状況を説明する。冷却塔の概要としては、下側に散水槽があり、そこに溜まっている水をくみ上げて上部の散水槽に送り、その槽には穴が空いているので、そこから水が降ってくる構造となっている。その水が下におちて循環している状態である。それに加えて、ファンで空気を送り循環させる構造である。水が流れていなかったことについて、下部の散水槽が空になっていた。水が無くなってくると補給口の弁が開いて水が補給されるが、途中の弁が閉まっていたことを確認した。そのため、当直に弁を開けてもらった。その後、装置を起動したものの、水がうまく降ってこなかったのは、装置が屋外にあるので粉塵が入ってくるが、下に堆積していたヘドロを上を持ち上げて移送したため、上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

部の穴が目詰まりしてしまい水が落ちないで溜まってしまったと考えている。そのため、B系に切り替えて冷却は順調であるが、来週以降清掃を考えたい。2号機も同様の構造であるため、切り替えをやりながら、清掃の運用を考えていきたい。

(安定化C所長)3号機格納容器機器ハッチ周りの高線量箇所のロボット作業については未だ終わっていない。3号機のがれき撤去が行われていたので、日中は作業安全を考えて実施していない。

(本店広報班)11時から単体会見を実施しており、内容は3号機SFPの出口温度上昇について説明した。これを受けて質疑応答を受けた。合わせて、1号機注水量を減らした件も質問を受けている。18時から単独で会見を行っており、3号機SFPの追加情報について情報提供している。本日は土曜日でもあり、シリーズ広報企画として、1F発電所内の放射線モニタリングの方法をレクしている。また、当社HPで会見のライブ配信を試験的に行っている。平日に配信していたが、土日についてもライブ配信をすることとした。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<11/20(日)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C ██████████) 本日は日曜日でクリティカルの作業は行われているが全体的に作業は少なめで無事に行われている。ありがとうございました。

(1F ██████) 本日はけが人病人なく工事が進捗している。今夜は冷えるという予報で体調管理に各所気をつけて頂きたい。1号機は5.5m³に炉注をしぼっているので2℃/日程度の上昇。また本日10時頃地震があった。震度3程度のもので、プラント等に異常はない。

(1F 発電班)

1号機は給水系 5.5m³/h で注水を行っています。RPV 底部ヘッド温度は 40.3℃で1.7℃/日の上昇となっています。D/W 内温度は 42.0℃で 1.7℃/日の上昇傾向、D/W 圧力 14kPa_{gage}、SFP 温度 20.0℃です。

2号機は CS 系 7.1m³/h、給水系 2.9m³/h あわせて 10.0m³/h で炉注を行っています。RPV 底部ヘッド上部温度は 69.0℃、D/W 内温度 69.4℃、D/W 圧力 8.8kPa_{gage} です。PCV ガス管理システムの水素濃度は 0.8% で低下傾向を継続しています。SFP 温度は 23℃です。

3号機は CS 系 8.1m³/h、給水系 2.3m³/h あわせて 10.4m³/h で炉注を行っています。RPV 下部ヘッド温度は 67.2℃、D/W 内温度は 57.7℃、D/W 内圧力は 0.2kPa_{gage}、SFP 温度は 23℃です。

3号機 SFP 冷却系については、昨日2次ループにある散水塔を A 系から B 系に切り替えているが運転状態良好。

4号機 SFP 温度は 30℃です。供用プール温度は 26℃です。

5, 6号機について、海水温度が 15.4℃で、原子炉、プール冷却は順調である。RHRS ポンプの流量低下傾向があったが現在は 900t/h で安定している。海水ポンプ室の清掃の関係で海水ポンプの停止操作が明日の朝方にある。現在ポンプのパラメータは流量 215l/s、吐出圧力 0.29MPa で安定している。

(1F 復旧班) 水移送については、2号機は T/B から HTI 建屋に移送を継続しています。3号機もプロセス建屋への移送を継続しています。水位関係について、1号機抜管エリアで 15mm 上昇、2号機 T/B で 2~3mm 下降、3号機は 2~5mm 下降、4号機は変化なし。受け入れ側集中ラドでは、プロセス建屋で 14mm 上昇して OP1677mm、HTI 建屋で 12mm 下降して OP1890mm で、シミュレーション通りです。滞留水処理関係では、キュリオン 17m³/h、サリー 25.7m³/h です。明日は通常通りの作業を行います。

大熊線3号の油漏れに関連して、その変圧器の修理のため電源切り替えを実施予定。それにともない、キュリオンサリー、蒸発濃縮、カメラの電源がなくなるので、2号

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

機側に電源切り替えを明日実施予定。

ひまわりは、B(?)エリアへの散水予定。水移送関係で3号機の復水タンクの水をT/Bへ3日間ほど行う予定。

(1F 土木班)タンク設置工事、遮水壁設置工事について本日は休工。明日はタンク設置工事は G,H エリアを実施。遮水壁設置工事について、第一工区、第二工区、ボーリングを実施する。

(1F 建築班)3号機以外は休工。1号機カバーリング工事について、明日は廃棄物の搬出、片づけを実施する。3号機上部がれき撤去について、本日地組ヤードでの鋼材の補強溶接、解体については、T/B建屋屋上でダクトチラーの解体、ガレキおろし、RW/B 上部のガレキ解体を行った。明日は継続作業に加えて、南側ヤードでのコンクリート打設、2号機西側での冷却塔の養生を行う。4号機上部がれき撤去について、明日解体用重機のブーム交換、ボーリング調査を行う。スラッジ貯蔵施設について、明日、壁コンの打設、足場の解体、床塗装、壁のシールを行う。

() 本日保安院の事故室長らが来所され、先ほどまでメンバーへのヒアリングを実施。

() 安定化センターからは、木、金、土に掛けて3日間、3号機の機器搬入ハッチレールに非常に高い線量があった件、これがPCVガス管理システムに障害になるが、この除染作業の件について報告。

(作業無人化検討G)3日間パックボットによりサンプリング、拭き取り等を行ったことについての報告をする。PCVハッチ前にレールがありこれに沿って水の拭き取りを実施。ロボットのマニピレータにウエスを付けて走らせた。ウエスについてはスラッジが付着した状態となった。レールのPCVハッチ側から下部を確認したが、PCV側からの水の流入は確認されていない。レールの金属部分が見えるまで除去をおこなったが、全ては取り切れていない。作業後の線量は、幅のある結果で、①の場所で400~1400mSv、②の場所で500~1500mSvとまだ非常に高い線量。(参考にロボットのマニピレータにウエスを付けて、レールを走らせて除去する動画を紹介。)

() 3日間で述べ10時間あまりの作業であったと思うが、作業に当たられた方々のご苦労様。残念ながら線量は大幅に下がっている訳ではないが、レールに水が次々入ってきている状況ではないことが判ったのは朗報。引き続き除染を行い、PCV管理システムの導入に繋げたい。

(本店広報班)AMでは単独で10分程度、3号機のロボット作業を説明実施。明日以降、本日の動画を含め説明したい。PMは今も18時~()による説明を実施中。大熊線電源停止作業、3号機T/B水の移送の説明を予定。また環境モニタリング作業の説明を行う。

(1F)先ほどのロボット拭き取りの画像で、作業前後での画像は、きれいになったと理解すれば宜しいか。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(安定化C)レールにスラッジや水がまだ残っているのと、大幅に線量もさがってはいなく、ただもう少しウエスに取れても良かったかという状況。PCV側から入っていると仮定すると、PCV側から見た限りでは流入が確認は出来ている訳ではない(よって断定はできないが)、流入は無いものと考えているということとなる。

()映像を分析しながら今後も工夫をし、引き続き清掃作業を行っていくこととなる。では、本日も大変お疲れさまでした。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<11/21(月)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C ■■■■) 本日、現場で作業にあられた皆様、また、各所で現場を支援されました皆様、お疲れ様でした。統合本部全体会議を始めます。ここ福島県浜通りでは、昨夜からぐっと気温が冷え込みまして、本日は日中での気温が10℃、現在では2℃ということでもあります。現場の作業ではタンク設置工事、3、4号ガレキ撤去工事、PCV ガス管理システム工事等々、各エリア、各部門で全面的に作業が展開されています。本日電源の停止がありまして水処理装置の KURION 装置、SARRY 装置、海水淡水化装置が停止しましたが、既に電源が復旧しまして再起動しているところです。本日もトラブルもなくケガもなく順調に進捗を見ました。なお、今月11月に入りましてからは休みを伴う人身災害が発生していません。関係者の皆様のご努力にあらためて感謝します。

(1F ユニット所長) 本日はかなり冷え込んでいまして、風邪、インフルエンザの対策はさることながら、作業前に体を暖めて作業を始める等の配慮が今後必要になると思っています。プラントは、プラントパラメータは安定しています。炉注流量を減らした1号機についても、RPV の下部温度等、頭打ち傾向となっています。滞留水の移送の関係、散水、計画通り今日も実施しています。滞留水の移送の関係は、3号の CST から3号の T/B への移送を今日から実施しています。今日の主な作業は、移動用変圧器から油が漏れていると、その修理の準備として当該の変圧器の負荷を順次安全に切替を行っています。それに伴って水処理設備も先程17時過ぎまで停止していました。今、運転を再開しています。

(1F 発電班) 1号機は給水系から 5.5m³/h で注入中です。RPV 下部ヘッド温度は 39.2℃で、昨日の夕方に比べますと 1.1℃程低下しています。D/W 内温度は 41.3℃で、昨日に比べると 0.7℃程低下しています。これは、18日に炉注の流量を絞りまして、しばらく上昇傾向がありましたが、ほぼ一定に落ち着いた傾向となっているような状況にあると見受けられます。今後とも監視を継続していきます。D/W 圧力は 14 kPa_{gage}、SFP 水温度は 20℃です。2号機は CS 系から 7.1m³/h、給水系から 2.9 m³/h、あわせて 10.0m³/h で注水中です。RPV 下部ヘッド上部温度は 68.1℃、D/W 内温度は 69.0℃、D/W 圧力は 7.5kPa_{gage} で安定です。PCV ガス管理システムの水素濃度は 0.8%で、ほぼ安定した傾向になっています。SFP 水温度は 22℃です。3号機は CS 系から 8.1m³/h、給水系から 2.3m³/h、あわせて 10.4m³/h で注水中です。RPV 下部ヘッド温度は 67.0℃、D/W 内温度は 57.4℃、D/W 内圧力は 0.2kPa_{gage}、SFP 水温度は 21℃です。このデータは安定したデータとなっています。4号機の SFP 水温度は 28℃です。供用プールの温度は 24℃です。5号機は海水温度が 14.9℃で、炉水、使用済み燃料プール水ともに順調に冷却をしています。6号

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

機は本日6回目の取水ポンプ室の清掃のために朝方6:32から6:34にかけてシャットダウンと海水ポンプを停止していましたが、17:20から17:42にかけて再起動して原子炉と燃料プールの冷却を再開しています。なお、取水ポンプ室の清掃は明日も実施する予定です。

(1F 復旧班)水移送関係は、2号機 T/B から HTI 建屋に移送を継続しています。3号機もプロセス建屋へ移送を継続しています。また、3号機の CST から3号機の T/B への移送を本日より実施しています。5日間の予定です。水位関係は、1号機の抜管エリアで 13mm 上昇しています。2号機は 6mm から 8mm の下降、3号機は 2mm から 3mm の下降です。4号機は 13mm 上昇しています。受け入れ側の集中ラドですが、本日は水処理が止まったということで、プロセス建屋が 62mm 上昇して OP1763mm、HTI 建屋は 140mm 上昇して OP2013mm です。滞留水処理関係ですが、本日は大熊の電源停止関係で、KURION、SARRY、RO、蒸発濃縮装置が停止していますが、KURION は16:56に運転に入っています。SARRY も17:40に運転に入っていて、それぞれ、17.0m³/h、26m³/h、定常流量を確保しています。本日の実績ですが、ひまわりはBエリアで56m³の散水を実施しています。明日の予定ですが、ひまわりは D エリア、北門あたりですが、これを散水する予定です。1号機の炉注水関係で、1号高台D/Gの吸込配管のカナフレックス管のピンホールについては、カナフレックス管の調達ができましたので、明日、交換作業を実施する予定です。炉注水への影響はありません。KUROIN で H ベッセル2塔の交換です。本日、電源切替を実施しましたが、当該変圧器のラジエーター修理を3日間かけて実施する予定です。2号機のPCVガス管理システムもバイアル瓶によるサンプリングを実施する予定です。

(1F 土木班)タンク関係は、G エリアで排水溝(?)の実施、H エリアでタンクの組み立て作業、いずれも継続作業です。海側遮水壁は、ボーリングの作業を実施しています。構内側は、2本目のボーリングの掘進を行うとともに、3本目のボーリングマシンの設置の準備を行っています。構外側は、2本目のボーリングマシンの設置の準備を行っています。6号機の補機ポンプ室の清掃は、本日ポンプ室の内部についてカメラによる確認を行いまして、明日も引き続き残っている土砂について清掃を行う予定です。

(1F 建築班)カバーリング関係は、1号機については、先週から引き続き片づけ関係として、物揚場周辺で産廃の搬出、操作室の片づけを行っています。3号機関係は、昨日からの引き続きで南側ヤードで地盤面の均し込み、打設、明日からの打設に備えて打設準備、地組ヤードで構台補強溶接、鉄骨地組用架台の組み立て、仮設台の搬入、T/B 屋上でダクトチラーの解体、ガレキ降ろし、3号東側において Rw/B 上部でガレキの撤去、2号西側で冷却ユニットの組み立て、ツールの整備を継続作業で行っています。油処理建屋で配管切断準備を行いまして、明日から配管の切断

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班に入る予定です。4号機がれき撤去関係は、解体用重機のブームの切替、南側トレンチの埋設補強、地盤のボーリング調査を継続して行っています。スラッジ貯蔵設置関係は、先週までで PC 板の組み立てが終わりましたので、その部分のコンクリート打ち、足場解体、床塗装の作業を行っています。設備棟は、壁シーリングを継続で行っています。ガレキ収集運搬関係、滞留水移送配管 P 化に伴う建築工事、66 開閉所に伴う建築工事、共用プール建屋復旧関連工事については、土曜からの継続になっています。

(安定化 C 所長) 明日から無人調査船による海水の調査を実施します。報告します。

(安定化 C 環境影響評価チーム) (書画で説明) 無人船については夏前くらいから開発をしていましたが、関係機関との調整が終わりまして、明日から運行を開始ということになっています。写真にありますとおり、ボートタイプのものであり、全長が6m程度、幅2m程度で、重量1.8ton、最大速度は7ノットで、航続距離は約100km程度です。こちらの船については、無人での運行が可能となっており、そのあたりの開発に、東京大学、三井造船の協力をいただいています。この船でできることは、採水器が付いていて、水を10リットルまで採ることができます。また、水中のγ線線量率計と流速計が付いていますので、周囲の海水の流れ等を観測することができます。こちらが明日の運行予定ルートです。福島第二の港湾を出発しまして、大体3km沖合のところを北に1Fの沖合を横切るように進んで、ポイントポイントで2リットルずつ採水する予定です。それから、沖の8km程度のところまで出て、また2ポイント採水して第二の港湾に戻る予定です。

(安定化 C 所長) 様々なデータが得られることを期待したいと思います。

(本店広報班) 本日のプレスへの説明状況です。本日は11時から当社単独、16:30から統合記者会見ということになっています。午前中の会見では、無人船によるサンプリングを、写真を付けて説明していることと、湯ノ岳断層に関する断層調査状況について速報でいくつか説明しています。湯ノ岳断層については、4/11に発生した余震で耐震設計上考慮する活断層と評価していなかった断層で、正断層形の断層が出現していることを確認して、このことを踏まえて、ボーリング調査あるいはトレンチ調査をすることとしておりました。今の調査状況については実際トレンチを掘って確認したところ、時期については未定ですが、断層が活動したと見られる痕跡を確認したということをお知らせしています。本件については8/30に既にこれが活断層と仮定した場合に基準地震動への影響についてどうなっているか検討してまいり、基準地震動に影響するものではないことは国に報告済みです。今後、年代等の詳細な評価を行っていくということで説明しています。23日、本件については国による現地調査、マスコミへの公開を予定しています。これについてのやりとりがありました。16:30から現在続いている統合会見については、本件への引き続き

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

の質問等がされています。バックチェックへの影響がないか、耐震指針への影響がないか等々を聞かれています。

(安定化 C ■■■■■)今の湯ノ岳断層でいろいろな質問があったことは分かりましたが、それに対してバックチェックへの影響あるとかないとかということに関しては、どのようになっているのでしょうか。

(本店広報班)本件については国あるいは安全委員会に質問がなされていて、基準地震動には影響がないという当社の報告を受けているということと、詳細の調査についてはこれからで、反映すべきものがあれば反映するということでお答えしています。

(安定化 C ■■■■■)統合本部全体会議を終了します。本日もお疲れ様でした。ご安全に。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<11/22(火)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C ■■■■) 本日、現場で作業にあられた皆様、あるいは、各地で現場を支えていただきました皆様、お疲れ様でした。統合本部全体会議を始めます。本日は昨日に引き続きまして福島県浜通りは厳しい冷え込みとなりました。朝の出勤時にはサイトの周辺で霜を見ることになりました。現場の方は、各エリア、各部門で全面的に作業が展開されていまして、トラブルもなくケガもなく順調に作業が進みまして予定の進捗を見ました。ありがとうございました。

(1F ユニット所長) 今日のは冷え込み昨日同様厳しいものでしたが、幸い一日晴れていました。傷病者の発生もありませんでした。プラントのパラメータは、いずれのプラントパラメータも安定して推移しています。水処理、滞留水の移送、散水それぞれ計画通り実施できています。

(1F 発電班) 1号機は、原子炉注入は給水系から 5.5m³/h で実施中です。RPV 底部ヘッド温度は 39.9℃で、昨日の 39.2℃より上昇していますが、数時間は 39.9℃となっており変動の範囲内と考えています。継続監視していきます。D/W 内温度は 42.0℃で、D/W 圧力は 14kPa_{gage} です。SFP 水温度は 18℃で安定しています。2号機は、原子炉注入は CS 系から 7.1m³/h、給水系から 2.9m³/h、あわせて 10.0m³/h で注水中です。RPV 底部ヘッド上部温度は 67.3℃、D/W 内温度は 68.3℃、D/W 圧力は 7.3kPa_{gage} で安定しています。PCV ガス管理システムで見えています水素濃度は現在 0.8%でほぼ安定した状態になっています。SFP 水温度は 20℃でこちらも順調に冷却しています。3号機は、原子炉注入は CS 系から 8.2m³/h、給水系から 2.3m³/h、あわせて 10.5m³/h で注水中です。RPV 下部ヘッド温度は 66.9℃、D/W 内温度は 56.8℃、D/W 内圧力は 0.2kPa_{gage} です。SFP 水温度は 19℃といずれも安定しています。4号機は、SFP 水温度は 26℃、共用プールの温度は 22℃と、こちらも冷却に問題ありません。5号、6号のトピックスですが、6号機は本日7日目になりますが引き続き取水ポンプ室清掃を実施しています。このため朝方に海水ポンプを停止していますが、先程ご連絡したとおり、夕方の時間帯で海水ポンプ類を再起動しています。原子炉水と燃料プール水、こちらは一時的に温度上昇していますが、その後冷却を再開しています。炉水温度は、再起動後は 36℃で約 12℃上昇、プール水温は 24.5℃で約 1℃の上昇で、その後の冷却を再開しています。取水ポンプ室の清掃は明日も実施する予定で今計画されています。

(1F 復旧班) 水移送関係は、継続で、2号機 T/B から HTI 建屋、3号機 T/B からプロセス建屋、3号機の CST から3号機の T/B、これは11/25までの予定ですが、継続で実施しています。水処理関係は、SARRY、KURION、継続で順調に運転中です。水位関係は、1号機は、T/B で 14mm 上昇して 3786mm、R/B は 17mm 下降し

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

て 4275mm という状況です。2号機は、T/B は 7mm 下降して 3058mm、トレンチは 9mm 下降して 3044mm という状況です。3号機は、CST から T/B へ行っている関係で上昇してまして、T/B は 9mm 上昇して 3044mm、トレンチは 8mm 上昇して 3269mm という状況です。4号機は 2mm 上昇して 3044mm です。受け入れ側の集中ラドですが、プロセス建屋が 11mm 上昇して OP1793mm、HTI 建屋は 12mm 下降して OP2000mm です。明日の作業関係ですが、1号の PCV ガス管理システムの設置工事は継続で配管、ケーブル敷設等を行っています。移動用変圧器車 3B のラジエーター修理、油の漏洩があったところですが、継続実施でクーラー部の取付、明日行います。11/25までの予定です。5、6号滞留水関係ですが、浄化水の散水関係は、浄化済みの滞留水がなくなりましたので、明日から散水は休止します。再び浄化水を作りまして、再開は11/29以降の予定です。滞留水の移送関係はありません。

(1F 土木班)タンク関係は、G エリアで排水溝の設置工事、H エリアでタンクの組み立て作業を継続作業しています。海側遮水壁の関連は、ボーリングの作業を実施しています。構内側の遮水壁は、2本目のボーリングを本日完了しまして、明日より3本目のボーリングに着手します。構外側のボーリングは、本日2本目のボーリングの準備を完了しまして、明日よりボーリングの掘進の行う予定です。6号のポンプ室の清掃は、明日も引き続き作業を実施する予定で、明日で終了の予定です。その後は準備しまして5号機の清掃の準備に取りかかりたいと考えています。

(1F 建築班)1号機建屋カバーは片づけ関係を行っています。明日は作業ありません。3号機上部ガレキ撤去工事は、コンクリート打設、地組ヤードで構台の補強、北側ハードで構台の設置、T/B 屋上でダクト、チラーの解体、Rw/B の上部のガレキの解体を行っています。明日は構台の設置以外継続作業になります。4号機上部ガレキ撤去工事は、養生用のネットハンガーの組み立て、ボーリング調査を行っています。明日も継続作業です。スラッジ貯蔵は、スラッジ棟で壁のコンクリートの打設、足場解体、床の塗装、設備棟で、壁のシールを行いました。明日は継続ですがスラッジ棟で加えて屋根の PC の取付を行います。

(安定化 C ■■■■)本日、週に一回、2号機のガス管理システムでやっている PCV 側のガスのサンプリングをやっていますのでその結果を報告します。

(安定化 C 原子炉安全評価 G) (書画で説明)今回は、従来このバイアル瓶とダストホルダーの両方を実施していましたが、今回からは、定例業務ということで週一回実施することにしていきますガスバイアル瓶の分析、これは未臨界の確認をするために行うこととしていますが、こちらの分析を実施しています。採取箇所はラインのフィルタの出入口からガスをバイアル瓶で採取したものを分析しています。結果はこちらです。本日の分析結果はこちらです。対象としていますキセノン 135 ですが、これまで通り ND、検出限界以下ということで今回も未臨界という判断になるかと思えます。ま

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

た、前回、クリプトン85がバイアル瓶の入口側も出口側も従来の数字から大きな値になっているということで、傾向監視をしていくことになっていましたが、今回これまでの傾向通り小さな値で出口側は検出限界以下となってきましたので、クリプトンも従来滞留していたものをずっと引き出していたものと考えられると思っています。従来の大きな流れの中の揺らぎの範囲で少し大きな値がでたものと考えていますが、こちらについても引き続き監視していきたいと思えます。

(安定化 C ■■■■■) 昨日のこの会議で報告しました無人船による海のサンプリングについてその結果、概要を簡単に報告します。

(安定化 C 保安環境部) 本日、無人船によります海水サンプリングを実施しています。母港が福島第二でして、9:30に出港して13:00に寄港しています。予定通り3kmと8kmの海域で5サンプルを無事サンプリングしています。この結果は纏まり次第この場でご紹介させていただきます。

(安定化 C ■■■■■) 初航海、ほっとしています。

(本店広報班) 本日のプレスへの説明状況ですが、本日は11時と18時、当社単独での会見となっています。11時の会見では、短いやりとりで、特筆したやりとりはありません。18時の会見では、3号機にロボットが入り線量測定をした結果について資料で説明しています。線量が高いものです。もう一つは、1号機の非常用復水器の動作状況の評価ということで、これについても参考資料を配付して説明する予定です。本件は10/18に現場に入りまして非常用復水器に冷却水が流出するような損傷がないことを確認し、その際、現場の弁の状態あるいは冷却水の水位の状態が判明したことからいくつかの事実関係を整理していてその整理ができたことから当社として今日説明というスタンスです。

(安定化 C ■■■■■) 統合本部全体会議を終了します。本日もお疲れ様でした。ご安全に。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<11/23(水)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C 所長) 本日は雨もなく、作業が進捗していますが、水処理の RO 関係でトラブルがありましたので後ほど状況の補足をします。明日以降、港湾内の海底土のサンプリングの作業があります。

(1F ■■■) 本日の天候は時々晴れましたが基本的には曇りでした。祝日ということもあり作業員は通常より少なめで 2500 名程度が入構しています。プラントの方は、温度等パラメータは安定して推移しています。水処理の方は、淡水化装置 RO の方で多少のトラブルがありましたが、キュリオン・サリーともに順調に稼働しています。滞留水の移送も計画通り実施しています。散水は本日はありませんでした。

(1F 発電班) 1号機は、給水系から 5.5m³/h で炉注を行っており、RPV 底部ヘッド温度は 40.4℃で朝方より約 1℃上昇しています。昨日も同じ時間帯で上昇して夜には下がっており、変動範囲内と思っています。継続監視します。D/W 内温度は 42.4℃、D/W 圧力は 16kPa、SFP 温度は 17℃です。

2号機は CS 系 7.1m³/h、給水系 2.9m³/h あわせて 10.0m³/h で炉注を行っており、RPV 底部ヘッド上部温度は 66.8℃、D/W 内温度は 70.9℃、D/W 圧力は 8.5kPa、PCV ガス管理システムの水素濃度は 0.7% でほぼ安定、SFP 温度は 20℃です。

3号機は CS 系 8.2m³/h、給水系 2.3m³/h あわせて 10.5m³/h で炉注を行っており、RPV 下部ヘッド温度は 66.6℃、D/W 内温度は 56.7℃、D/W 圧力は 0.2kPa、SFP 温度は 18℃です。

4号機 SFP 温度は 25℃で安定しています。

5号機 SFP、原子炉水とも順調に冷やしています。6号機の取水路ポンプ室清掃作業終了にともない、海水ポンプの復旧を行っていました。このうち RHRS と RHR の SHC は復旧して原子炉の冷却を開始しています。炉水温度は停止時 26℃から 38℃まで約 12℃上昇しています。ASW(A)については、17時に起動を試みましたが瞬時にトリップしました。これについては、警報が発生しなかったため状況の現場確認を行っているところです。なお、SFP 温度は18時現在で25℃で徐々に上昇していますが、まだ冷却には余裕がありますので継続監視していきます。

(1F1~4号復旧班) 水移送について、2号機から HTI 建屋、3号機からプロセス建屋への移送は順調に継続しています。3号機 CST から3語気 T/B への移送も継続していますが、明日午前中に停止する予定です。また、明日サイトバンカ建屋からプロセス建屋への移送を予定しています。

水処理も順調に運転しており、17時現在でサリー 24.4m³/h、キュリオン 77GPM (17.5m³/h) で運転しています。アレバは待機停止中ですが、明日10時から11時の1時間を見込んで、単独運転を実施する予定です。本日 RO については、カセット

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

2-2 が出口圧力高で停止しており、代替として 3-1 を起動して現在 3-1、2-1 で運転しています。なお、RO-1(水処理エース)は 1A、1B で水漏れが発生しています。蒸発濃縮装置は運転中です。本日、ベッセル交換はありませんでした。明日はキュリオン H ベッセル 2 塔の交換を予定しています。

水位について、2号機は今朝に比べて 5~6mm 下降して、T/B で OP3042mm です。3号機は 5~6mm 上昇しています。CST からの移送が影響していると思われ、トレンチで OP3285mm です。4号機は 7mm 上昇して OP3054mm です。1号機は R/B で 10mm 下降して OP4239mm、T/B 抜管エリアで 12mm 上昇して OP3819mm です。受け入れ側のラドは、プロセス建屋で 11mm 上昇して OP1823mm、HTI 建屋で 4mm 下降して OP1981mm です。

本日 1号機 PCV ガス管理システムの作業をを継続して実施しています。明日は 3号機の作業を再開します。1号機の CS 系を使った炉注ラインの工事の準備として、明日、治具等の設置が行われます。こちらは高線量の作業となります。電源関係で、所内共通 M/C2A について、本日 M/C の搬入が完了しています。また移動用変圧器ラジエーターから油が漏れている件で、本日クーラーの取替が完了しており、油入れを実施中です。明日、油入れが完了し次第、試験を行い、明後日電源の切替を行います。

(1F5, 6号復旧班) 滞留水について、浄化水の散水は休止中で再開は 29 日以降です。また、滞留水の移送もありません。

(1F 土木班) タンクについては、G エリアにて排水関係の工事、H エリアでタンクの組み立てを実施しています。海側遮水壁工事について、引き続きボーリングの作業を行っています。構内側については、5本中3本目のボーリングの資機材の搬入と準備を進めています。構外側については、3本中2本目のボーリングの掘進を実施しています。6号機補機ポンプ室の清掃について、本日で清掃を終了しています。明日から 5号機ポンプ室の清掃を行う予定で、5号機への機材の移動を明日予定しています。

(1F 建築班) 1号機カバーリング工事について、本日休工です。明日は物揚場の産廃搬出と引き渡し納品の検査を行います。3号機 R/B 上部ガレキ撤去工事について、T/B 側の排気ダクトの解体と空調の室外機チラーの解体を行います。南西面では、構台の足下のコンクリート打設と墨出し、2号機側の西側で SFP 冷却ユニットの防護の組み立て、Rw/B 上部ガレキの撤去と飛散防止剤の散布、海側の地組ヤードでは 300t クレーンのヤード整備、スイッチバックエリアで軽油配管の切断を行います。明日は継続作業の 300t クローラークレーンの海側での組み立てがあり、現地に出会い、手順通り組み立てされているかどうか確認します。4号機 R/B 上部ガレキ撤去工事について、本日は大物搬入口前の鉄板敷き、飛散防止剤の準備、ボーリングの調査を行いました。明日は、西側道路の塩分除去装置の跡地に鉄板の布設を行

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

います。飛散防止剤の配布とネットハンガの組み立て、ボーリング調査を行います。スラッジ貯蔵施設について、本日、スラッジ棟で屋根の PC の取り付け8ピース、壁のコンクリート打ち、足場の解体、床のエポキシ塗装、設備棟で壁のシーリングを行いました。明日も継続して行います。

(安定化 C 所長) 水処理関係でトリップと水漏れ関係のトラブルがあり、その説明を行います。

(安定化 C 水処理 PJ) (書面説明) RO-2 について、11/18に同じ ANN が出てトリップで止めていましたが、電源停止の後、RO-2 カセット2を再稼働しました。一過性として見ていましたので様子見ながら運転していましたが、今朝の9:56に異常が発生しました。RO スキッドの後段側の圧力計が圧力高の ANN を発生させました。その後リセットをかけましたが、前回の再発と言うこともあり、念のため RO-3 に切り替えて処理しています。現在、RO-2 のカセット1と RO-3 のカセット1の方で順調に処理をしています。こちらについて、RO の膜に非常に高い圧力をかけて水を分離していますので、仮に RO の膜が破れると圧力が後ろに抜けていくことになり、それを検知するための警報となっています。RO の膜自身は問題なく、状況をよく調べていきたいと思えます。

RO-1 (水処理エース) について状況を説明します。RO-1 は待機中(基本的には RO-2、RO-3 を主体として使用し、RO-1 はバックアップ)ですが、コンディションを保つために2日1回位通水をして維持しています。この通水のために RO-1 を稼働したところ(本日12:15頃) 漏えいが確認され、直ちに停止しました。操作盤は現場にあり、現場の蛇腹ハウスの中で起動して即停止しました。ユニットが 1A、1B と二つ分かれており、1A の方は濃縮水の出口配管(プラスチック製)の破損です。事象が発生したときに、XXXXXXXXXXより淡水側と発話していただきましたが、その後系統を調べたところ、1A は濃縮水側、1B は淡水側ということが判明しました。漏えい量は1A が 14 リットル、1B が 15 リットル程度で、下がコンクリートのたたきとなって漏えいしないように堰を設けており、その中に広がっている状態です。あわせて 29 リットル。線量については、ガンマ線はバックグラウンドレベルの 0.1~0.2mSv/h です。ベータ線は 1A が 1mSv/h 程度検出され、1B は検出限界以下です。原因は調査中です。1A は廃液供給タンクから導き、高圧ポンプで加圧して、RO モジュール(逆浸透の膜が巻き付けてある)に高い圧力をかけます。その後、淡水側と濃縮水側に分かれます。濃縮水側の流量計の配管に大きくひびが入って漏えいしています。1B の方は、若干システムが新しく、圧力を回収する装置が付いていますが、基本原理は同じで高圧ポンプで SPT の水が入ってきて、モジュールで淡水側と濃縮水側に分かれます。淡水側のサンプリングライン出口あたりでほぼギロチン破断し、プラスチック製の配管が吹き飛ばすような感じになっています。(書面説明)こちらが1A の破損箇所です。ウエストが細くなっているところがベンチュリー式の流量計がついているところで、そ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

こが大きく口を開けて破断しています。1B の方は、サンプリングラインがついているメインの母管が吹き飛んで、30cm くらいの L 字型エルボが吹き飛んで脇に落ちています。堰内の漏えいの状況は、14 リットル位の水がホースに沿ってたまっています。原因については、破損の状況を見ると、高い圧力がかかった可能性が高いと思います。通常では RO 膜の後段側にあるため高い圧がかからないのですが、高い圧がなにかしらで後段側にパスした可能性があり、バルブの操作等々いろいろな要因があると思いますので、現場をよく調査したいと思います。

(安定化 C 所長) RO-1 破損については、現場とシステムをよく見て、バックアップとはいえ原因を究明する必要があります。RO-2 については、システム的には解放タンクが後ろにあるため圧が上がらないと思いますし、計器側の可能性もあり、再発していることからよく調べる必要ありますのでよろしくお願いします。

明日以降の作業について、港湾内の海底のサンプリングの説明を願います。

(安定化 C 環境影響評価) (書画説明) 今回予定の海底土の放射能強度測定位置を示したもの(黒丸の所)です。調査目的は1~4号機取水口内の海水中放射能濃度は現在も高い状態であり、3ヶ月おきに測定している物揚場前の土壌についても放射能動度が高い状態です。また、海底土については1F 南北の放水口と、(聞き取れず)、21 地点で月1の頻度でサンプリングを行っていますが、今回は港湾内において現状を把握するために調査を実施します。調査は24日と25日を予定しています。調査場所は示している黒丸の9地点となります。作業内容は、黒丸の場所に小型船で移動して、(聞き取れず)海底土を採取して放射能分析を行います。なお、25日には1~4号機取水口のサンプリングを行いますので、シルトフェンスの開閉を予定しています。

(安定化 C 所長) 結果が出た段階でまとめて報告願います。作業安全についてもよろしくお願いします。

(本店広報班) 本日のプレス状況について、11時と18時の2回です。11時については、祝日と言うこともあり、本日の作業予定、プラントパラメータを中心に説明しています。加えて RO のトリップの件も説明していますが、事実関係のやりとりで特筆すべきことはありませんでした。18時からについては、海底土のサンプリング計画、昨日の2号機ガスサンプリング結果を説明する予定です。

(2F) 1号機は現在、原子炉の冷却に RHR の A 系、代替除熱機能として CUW が動いていて、B 系は待機という状態となっていますが、明日より3日間、B 系を不待機とします。1号機の EECW のポンプについて、震災直後に応急の代替モータをつけていましたが、修理が完了した本設のモータに交換する作業を実施するため、B 系を不待機とします。作業期間は24日の6時に待機除外とし、待機に復旧するのが26日14時半を予定しています。

(安定化 C 所長) 作業の管理をよろしくお願いします。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

気温は少しずつ下がりがつありますが、しばらく大雨は降りそうにない予報です。寒くなってきましたので、作業される方は体調管理をよろしく願います。ご安全に。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<11/24(木)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C 所長) 本日の朝4:24に震度4の地震がありました。2Fの方が少し大きめでしたが、1Fも含めてプラントに問題はあります。いつ余震があるか分からないので、注意を怠らないことが必要です。2号機ガス管理システムで水素濃度のトレンドがあり、今の水素の状況を評価している。格納容器内には春先からN₂を封入していますが、圧力容器側にも万全を期すためにN₂を入れた方がよいとの判断になりました。出来るだけ早くN₂を入れる工事をしたいが、それまでの間、炉水・原子炉の温度をあまり下げないことで蒸気量を確保する判断となりました。具体的なアクションとして、注水量を減らすことを準備が整い次第実施したいと思います。その他、水処理の週報について、昨日が休みだったので本日報告します。また、電源関係の工事がほぼ計画通り進んでおり、明日の受電のタイミングで水処理関係が一旦計画停止しますので、作業について補足します。

(1F ■■■) 今朝4:24に地震がありました。プラントは異常ありませんでした。MPも優位な変化はありませんでした。本日は一日中晴れで、傷病者の発生もありませんでした。プラントパラメータは概ね安定しています。プラント関連パラメータとして公表している1号機のPCV圧力に誤りがありましたのでその報告をします。1～3号機圧力容器内の水素対策として炉注流量を絞る件について、準備が整い次第、連携しながら対応したいと考えています。水処理・滞留水移送は計画通り実施しています。本日は散水はありませんでした。

(1F 発電班) 1号機は、給水系から5.6m³/hで炉注を行っており、RPV底部ヘッド温度は40.6℃、D/W内温度は42.6℃、D/W圧力は16kPa_{gage}、SFP温度は18℃です。

2号機は、CS系7.2m³/h、給水系2.8m³/hあわせて10.0m³/hで炉注を行っており、RPV底部ヘッド上部温度は67.1℃、D/W内温度72.9℃、D/W圧力8.6kPa_{gage}、PCVガス管理システムの水素濃度は0.6%で低下傾向ですがほぼ安定、SFP温度は20℃です。

3号機は、CS系8.2m³/h、給水系2.2m³/hあわせて10.4m³/hで炉注を行っており、RPV下部ヘッド温度は66.5℃、D/W内温度56.5℃、D/W圧力0.3kPa_{gage}、SFP温度は19℃です。

4号機 SFP温度は27℃、共用プール温度は23℃です。

6号機の取水路清掃後に海水ポンプが起動できませんでしたが、本日まで海水ポンプの調査・点検を行い、本日夕方に再使用可能と判断しまして再起動を行っています。海水ポンプ停止中はRHRのモード切替で炉水とプール水を交互に冷却する運転を行い、プール水温度の上昇は最大で30℃です。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(1F1~4号復旧班)水移送について、2号機からHTI、3号機からプロセス建屋への移送を継続しています。本日まで実施していました3号機 CST から3号機 T/B への水移送は9:45に停止しました。本日、サイトバンカ建屋からプロセス建屋へ移送を行っています。9:31~17:05の間で約 300t の移送を行っています。

水処理は順調に継続しています。17時現在でサリー24.1m³/h、キュリオン 17.5m³/h で運転中です。本日、アレバの単独運転を11:35から実施しましたが、一部で水がうまく流れない事象が発生しました。明日以降、原因の調査を実施します。RO・蒸発濃縮装置は運転を継続しています。本日 H ベッセル 2 塔の交換を実施しました。明日はベッセル交換の予定はありません。

水位について、2号機は今朝から 8~14mm 下降し T/B にて OP3020mm です。3号機は T/B で 8mm 下降、トレンチ変化なしでトレンチ OP3291mm です。4号機 T/B は 5mm 上昇して OP3071mm です。1号機は R/B で 7mm 下降し OP4223mm、T/B 抜管エリアで 13mm 上昇し OP3854mm です。受け入れ側プロセス建屋で 73mm 上昇し OP1919mm、HTI 建屋で 2mm 下降し OP1969mm です。

本日の作業は、1、3号機で PCV ガス管理システムの作業を継続です。4号機 SFP にヒドラジンを 2m³ 注入しました。1号機の CS 系炉注ラインの準備で高線量作業ですが無事完了しています。

電源関係で、移動用変圧器のラジエータ修理が完了し、明日電源の切替があります。これにより水処理装置が一時停止します。この後、19時を目途に、炉注流量の変更対応を実施したいと思います。

(1F5, 6号復旧班)滞留水について、浄化水の散水は休止中です。滞留水の移送はありません。6号機 SW ポンプが起動後にトリップする件について、復旧班で要因分析をした上で調査を実施した結果、特に異常はありませんでした。ただし、遮断機内部の確認が出来なかったため、その遮断機を交換して起動したものです。交換した遮断機を明日以降に点検する予定です。

(1F 土木班)タンク設置工事について G、H エリアにて本日・明日もどに実施します。1~4号機遮水壁設置工事について、第一工区、第二工区ともボーリングを実施中です。

(1F 建築班)1号機カバーリング工事について、本日、引き渡し納品検査、産廃の搬出、操作室の閉塞準備を行っており、明日は休憩所の引き渡しがあります。3号機ガレキ撤去について、T/B 屋上でダクトチラーの解体、Rw/B 屋上で上部のガレキ撤去、2号機の西側で冷却ユニットの防護壁の組み立て、地組ヤードで 300t クレーンの組み立てを行っており、明日は継続作業の他、1号機の北側で交代搬入用のスロープ整備があります。4号機ガレキ撤去について、ネットハンガの組み立て、飛散防止剤の散布、西側道路の鉄板布設、ボーリング調査等を行っており、明日はガレキの落下試験を行います。ガレキ運搬について、本日・明日とも夜間作業で3、4

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

号機ガレキの運搬を行います。スラッジ貯蔵施設について、スラッジ棟で壁のコンクリート打設、床のエポキシ塗装、設備棟で床シールを行っており、明日も継続です。(1F 発電班)1号機 D/W 圧力の公表データの誤りについて報告します。データの厳正管理についてご指導をいただいている中、このようなことが発生しまして申し訳ありません。具体的には、信号を電送するトランスミッタのずれ分(ドリフト分)を換算しないでデータ報告・公表していたものです。D/W 圧力は、トランスミッタを介して記録計に指示値を出力しています。震災当時は記録計の読みをそのまま報告していましたが、5/12に公表したとおり、トランスミッタの校正を実施したところ出力信号にドリフトが確認されたことから、5/12のデータよりドリフト分を換算して公表していました。データの採取については、中操に出向いて行っていました。放射線被ばくをともなうためデジタルレコーダ(デジレコ)と免震棟に監視盤を設置して確認できるようにしました。10/28・11時のデータよりデジレコ側のデータ採取を開始しましたが、この切替の際に運転員はデジレコ側のデータは換算されたデータになっていると誤って認識し、読み値をそのまま記載して報告することにしました。引き継がれた当直各班も疑いを持たずに現在に至ったものです。データとしては、グラフの通り、補正值より約2~3kPa 低く報告・公表されています。今後の対応について、誤っていたデータを修正するとともに、現在換算を必要とするデータについて計器が変更される場合には変更後の計器で換算が必要か担当グループに確認することを徹底し、再発防止を図っていきたいと考えます。この件に関して本日保安院殿に説明をしました。なお、明日準備が整い次第公表する予定です。

(安定化 C 所長)データ誤りの件で質問ですが、他に類するものの点検をしていますか？

(1F 発電班)換算しているデータについて調査し、問題ないことを確認しています。

(安定化 C 所長)訂正すべきものが他にないかという確認をお願いします。

水素管理のために窒素を圧力容器側にも封入することについて説明願います。

(安定化 C 冷却PJ)(書画説明)下のグラフは2号機 PCV ガス管理システムを起動した後に測定された水素濃度トレンドを示したものです。横軸が10/28起動後の時間軸で縦軸がガス管理システムで計測された水素の発生量です。青の菱形マークが水素の発生量です。当初起動した直後は0.9%位の濃度でしたが、起動した後に2.9%まで上がってその後徐々に下がっています。水素の発生量を積分値として求めたのが赤のグラフとなっています。元々1%近い水素濃度があったので、この差をとった分(緑の部分)がPCV内に滞留していた水素で約130Nm³存在していたと考えられます。今回、ガス管理システムを起動した後に水素濃度が上がった現象について以下のように考えられる。(書画)左側がガス管理システム起動前の状態で、窒素を13Nm³/hで格納容器内に封入していました。この時原子炉の中は崩壊熱に相当する分の水素・蒸気が発生していて、圧力容器の中で発生した蒸気が圧力容器の

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

フランジ面から格納容器に漏れ出ているというリークパス、もう一つ、圧力容器の下部から格納容器に出ているパスがあり、圧力容器フランジ面から出た水素が格納容器のトップヘッドにたまって、ここにたまった水素がさらに格納容器トップヘッドフランジ面から大気に放出していたと考えられる。そのご、ガス管理システムを起動した状態が右側の図(書画)になります。この時は窒素の封入量が $26\text{Nm}^3/\text{h}$ (水素濃度が徐々に上がってきたので $26\text{Nm}^3/\text{h}$ に調整) で、ガス管理システムで $23\text{Nm}^3/\text{h}$ で引っ張っている状態です。ガス管理システムを起動したことで引っ張る力と、窒素をたくさん入れたことによる押し込む力で、格納容器内で対流が発生して、トップヘッド付近の比較的高いと思われる水素を引き出したのと、もう一つは、ガス管理システムで引っ張ったことにより格納容器側の圧が下がって圧力差で、圧力容器内にたまっていた水素がこちらの領域に漏れ出たと考えられます。

今後の対応について、原子炉圧力容器の中に比較的高い濃度の水素がある可能性があるので、圧力容器の中に直接窒素を封入して水素が可燃限界以下となるように管理を行っていきたいと考えています。窒素を入れるまで時間がかかるため、その間は圧力容器の温度を上げて、圧力容器内の水蒸気割合を増やすことで水素濃度を低減させる操作を行います。この後、準備が整い次第、実施したいと思います。この操作にともない、圧力容器内にある比較的高い水素が格納容器に押し出されることが考えられますので、1, 2号機に比べて窒素の封入量の少ない3号機の流量 ($14\text{Nm}^3/\text{h}$) を倍の $28\text{Nm}^3/\text{h}$ まで増加させる操作をあわせて実施したいと考えています。続いて注水量の考え方を安全評価 G から紹介します。

(安定化 C 安全評価 G) 注水量について、現在、1号機 $5.5\text{m}^3/\text{h}$ 、2号機 $10\text{m}^3/\text{h}$ 、3号機 $15\text{m}^3/\text{h}$ で入れていますが、それぞれ少しずつ絞って温度を上げていきます。今の理論的な計算値では、1号機で $0.5\text{m}^3/\text{h}$ 、2, 3号機で $1.5\text{m}^3/\text{h}$ ずつ絞るとそれぞれ1号機は 97°C 、現状から見ると高い温度となります。2, 3号機は今のところから十数度上昇して 80°C の半ば位まで上がっていきと想定しています。これはあくまで冷却水の温度であり、圧力容器の温度ではありません。先ほど蒸気の発生量という話がありましたが、冷却水の温度が十数度の場合とはということですので、上記のように流量を絞ればこのくらい温度が上がるものと考えています。2, 3号機については、CS 系・給水系両方から入っていますが、給水系は流量計の下限值に近いので、CS 系の流量を絞ることを考えています。また、今後の監視方針は、従来と同じく RPV 底部の温度を十分監視していきます。蒸気の発生量が増えかつ3号機は格納容器への窒素封入量も増やすことから、MP や1号機ではカバーリングのダスト濃度、2号機はガス管理システムの放射線値などを監視して、外部への影響を監視していきたいと思います。また、2号機はガス管理システムにおいて水素濃度の継続的な監視を今後の対応として考えています。

(安定化 C 所長) 工事そのもののスケジュール感はどのような見通しですか？

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(安定化 C 冷却PJ) 現在準備を進めていますが、準備・手配等を含めて来週末くらいの見込みです。

(安定化 C 所長) 注入点、現場の環境の調査を再度しっかりやっていきたいと思えます。明日以降お願いします。環境影響評価 G も監視についてスタンバイしていると言うことでよいですか？

(安定化 C 環境影響評価 G) MP および 7, 8 番の平行観測についてもスタンバイしています。

(安定化 C 所長) 発電所・安定化 C と連携して、19 時を目途に進めていきたいと思えますのでよろしくお願いします。

水処理関係の報告をお願いします。

(安定化 C 水処理) 水処理装置について、明日電源停止があり、これにあわせて Cs 吸着装置の下流側のポンプを交換します。キュリオンの下流側にあるポンプで、11 月 8 日に異音のためにポンプを手動停止して、A 系に切り替えています。ポンプは A、B2 台あり 1 台運転しています。明日 (B 系の) ポンプ一式を交換するため、停止操作にあわせて作業を行いたいと思えます。

アレバ除染装置で定期的に行う循環運転において流量が見えない件について補足しますと、アレバの循環運転としてシリーズで流して元に戻す運転をしますが、入り口のタンク、2 番目のタンクがあり、順次水を移送していきますが、これらのタンクの水位が上がってこないため、循環運転のホールドをかけています。明日状況の確認を行い、液位系が悪いのかも含めて詳細調査を行います。

昨日休日だったため、本日週報が出されています。建屋の滞留水貯蔵状況は、1~4 号機あわせて 78,640m³ たまっています。水処理は順調に進んでいることから、各号機とも前回に比べ順調に水位が下がっている状況です。建屋の水位は概ね 3000mm で管理している状況です。移送先のプロセス建屋、HTI 建屋については、10,920m³ 貯蔵されている状況です。処理量のこれまでの累積は 168,450m³ です。処理装置の性能については、11/1 のデータとなりますが、Cs 吸着装置側は 1×10^4 の DF (除染性能)、第二 Cs 吸着装置は 4×10^5 から 9×10^5 の DF を示しています。プロセス建屋の Cs137 の放射能濃度は $7 \times 10^5 \text{Bq/cm}^3$ 、Cs 吸着塔出口は $7.4 \times 10^1 \text{Bq/cm}^3$ となっています。淡水化装置について、RO および蒸発濃縮装置それぞれ入り口塩素濃度が 3900ppm のものが出口で 2, 3ppm まで減少しています。処理した水については炉に注入しており、累積で 69,691m³ 注水しています。T/B、HTI 建屋の滞留水の分析は定期的にサンプリングをかけていますが、R/B の水そのものについて 5 月以降とっていないため、データ拡充の観点から、明日、1, 2, 3 号機の R/B に入りまして、北西コーナーの階段室側から水をサンプリングして分析にかけたいと思えます。

(安定化 C 所長) 原子炉建屋内でのサンプリングは慎重に行ってください。データが

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

出たら紹介願います。

(本店広報班)本日のプレス対応について報告します。午前中11時から11時20分まで当社単独にて記者10名出席で会見を行っています。内容は、6号機補機海水系ポンプトリップについて説明しましたので、それに関連する質問を2, 3いただいています。それに加え、滞留水の処理、貯蔵状況について午前中に公表していますので、それに関する質問を1点いただいています。夕方は統合会見で、格納容器内の水素濃度の管理について説明をしています。現在も会見を継続中で、注水量の作業は19時頃開始と言うことで、かつ経験が継続していればその作業開始の旨をお伝えできればと考えていますので、状況の共有をお願いします。

(安定化 C 所長)作業の情報共有については、全体のTV会議システムの発話で迅速に行いたいと思いますので、関係者の方はよろしく願います。色々な作業が平行して行われており、注水量の変更もありますので、関係の部署の方、確実な作業・監視の方、継続していきたいと思いますので、ご協力願います。ご安全に

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<11/25(金)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C 所長)本日は天候に恵まれ、現場の作業も含め、順調に進捗したと思います。安定化 C からは何点か作業関係の報告をしたいと思いますが、水の移送関係で水漏れが発生しているということで、対策取りましたが、その状況についてご報告したいと思います。それでは発電所さんの方からプラントの状況と作業状況についての報告をお願いします。

(1F ユニット所長)先程ありましたように、発電所は一日晴れ、最高気温は若干低めでしたが、傷病者の発生もなく作業を終えることができました。プラントの方は、昨日の全体会議にもあったように、1～3 号、圧力容器内の水素対策として、炉注流量をそれぞれ減少方向に調整をしました。およそ 24 時間たっておりますが、あまり目立った RPV 温度の上昇は見られておりません。詳細は後程、発電班から報告があると思います。水処理の関係、滞留水の移送は計画通り実施しています。水処理の方は、今日は非常用のトランスのラジエータの修理が終わったということで電源の切り替えがあった関係上、一時的に停止していますが、その他は順調に稼働しています。

(1F 発電班)1 号機は、現在、給水系から 5.0m³/h で注水中です。RPV 底部ヘッド温度は 17 時現在で 40.6℃、昨日の注入量変更前と殆ど変化がない状況です。D/W 内温度が 42.9℃、D/W 圧力が 15kPa_{gage}、SFP 温度は 17℃になっています。2 号機は、現在 CS 系から 5.5m³/h、給水系から 2.8m³/h、あわせて 8.3m³/h で注水中です。RPV 底部ヘッド温度は 17 時現在で 70.1℃、昨日の注入量変更前に比べ約 3℃の上昇傾向が見られますが、変動範囲内と考えます。D/W 内温度は 75.8℃、D/W 圧力は 9.0kPa_{gage}、PCV ガス管理システムの水素濃度は現在 0.6%で変化はありません。SFP 温度は 19℃になっています。3 号機は、現在 CS 系から 6.9m³/h、給水系から 2.0m³/h、あわせて 8.9m³/h で注水中です。RPV 下部ヘッド温度は 66.9℃で、昨日の注入量変更前に比べて、こちらも殆ど変化がないような状況です。D/W 内温度が 57.4℃、D/W 圧力が 0.3kPa_{gage}、SFP 温度が 18.2℃になっています。4 号機の SFP 温度は 27℃、共用プール温度は 22℃になっています。5、6 号機については、共に炉水が 26℃、SFP 温度が 21℃程度で冷却を継続しています。

(1F1～4号復旧班)水移送関係ですが、2 号から HTI、3 号からプロセス建屋へ継続で送っています。本日 14:54 より 1 号 T/B 抜管エリアから 2 号 T/B へ移送を開始しています。日曜日の朝まで継続する予定です。水処理ですが、先程話のありました移動用変圧器のラジエータの修理完了と所内共通 M/C 2A の増設工事に伴う電源停止により、キュリオン・サリー停止していましたが、キュリオンが 15:00 起動、サリーが 17:00 に起動しています。水位関係ですが、1 号機 T/B で 6mm 下がり

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

OP3868mm、R/B は-18mm で OP4179mm です。2号機は T/B が 2mm 下がり、OP3016mm、トレンチは 3mm 下がっています。水位の高い方は T/B で OP3016mm です。3号機は T/B が 7mm 下がり、トレンチは 4mm 下がり、こちらの方が水位が高く OP3279mm。4号機は 12mm 上昇し OP3070mm という状況です。集中 Rw/B ですが、プロセス建屋 73mm 上昇して OP2035mm、HTI が 171mm 上昇して OP2132mm です。これは水処理が止まっていた関係で上昇という状況になっています。明日の作業ですが、1号機の PCV ガス監理システム設置工事は継続で行います。配管サポート、ケーブル布設関係、継続で行います。1・2号で原子炉の注水ラインのポリエチレン配管の布設工事、継続していますが実施します。所内共通 M/C 2A の増設工事、本日から始まっており継続実施し、12/2まで実施する予定です。5・6号滞留水関係、浄化水の散水は休止中です。29日以降になります。滞留水の移送もありません。昨日起動した 6号機の ASW ポンプ(A)ですが、トリップ原因追求のために遮断機の分解点検を本日実施しておりますが、異常は発見できませんでした。結局、一連の調査の結果、異常はありませんで、トリップした原因については、操作スイッチリレー等の接触不良等の一時的な事象と想定されます。

(1F 土木班) 汚染水の処理設備関係、G エリアですが、場内の排水関係設備を継続で実施しています。H エリアはタンク組み立てが継続です。遮水壁ですが、一工区、開渠内ですが、5本計画しているうちの 3本目のボーリングの準備工に入っています。二工区、4号放水路側ですが、3本計画しているうちの 2本目のボーリングを実施中です。二工区は明日作業休工です。一工区は実施します。

(1F 建築班) カバーリング関係ですが、1号機、本日、最終の現場確認として休憩所の引き渡しを東電側にして頂きました。作業的には今回の発注の内容については、現場作業は本日で最後になりますので作業の報告についても今日が最後になります。3号ガレキ撤去関係、南側サードで引き続き 600t クレーン移動用の整備、1号北側で構台搬入用のスロープの整備、地組ヤードにおいて 300t クレーン組み立て、地組足場組み立て、スロープの鉄板溶接、T/B 屋上においてダクトチラー解体ガレキ降ろし、Rw/B 上部においてガレキ解体、飛散防止剤の散布、2号西側において代替冷却塔の養生、冷却ユニットの組み立て、油処理建屋において軽油配管の切断、敷鉄板溶接等を行いました。4号についてはガレキ落下試験、ボーリング調査、敷鉄板溶接ということで明日より本格的なガレキ撤去に入る予定です。滞留水関係でスラッジ貯槽建物の設置ですが、本日も壁コンの打設、床の塗装、建具の取り付け、設備棟において壁のシーリングを実施しています。その他の継続作業として、ガレキ収集運搬、滞留水移送 PE 化に伴う建築工事、66 開閉所設置に伴う建築工事、共用プール建屋復旧作業関連について継続で実施しています。明日については本日終了した 1号カバーリングを除き、継続で実施する予定です。

(安定化 C 所長) 安定化 C から何点か報告ですが、まず水処理関係で移送ホース

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

からの水漏れが何点かあり、今後原因の究明が必要と思いますが、まず状況について報告して下さい。

(安定化 C 水処理 Pj 部) (書画にて説明) 本日バッファータンクへの移送ホースからの漏れが 2 件あり、その報告です。場所については H9 エリアです。1 つは移送ホースのベント弁が開いていることを確認し、そこからかなり大量の処理した淡水ですが、線量は ND でした、計算で 13t 漏れいしてしまいました。大変申し訳ございません。もう 1 つは、同じラインを保温材の施工しており、当社の社員が移送ホースからの小さなピンホールの漏れい 3 箇所を発見しました。同じ時間 10:30 頃です。雰囲気線量は ND ということで、浄化が進んで淡水になっています。雰囲気線量はバックグラウンドだったということです。対策としては、まず弁の方は即座に停止し、壊れたピンホールの所については止水テープで処置しました。後にホース交換したいと思います。概略系統図はご覧の通りです。ヤード平面としては、淡水化設備からまわり、こちらにベント弁がついており、ガソリンスタンド給油設備があるあたりをコーナーでまわり、そのあたりが漏れい箇所です。ベント弁の現場については、少し架台でハイレベルの位置をつくり、エアが溜まるようにして最後は抜くということで水張りをするためのベントラインでした。そこに、現場の状況が良くなかったのですが、虎ロープが少し巻き付けてある状態で、保温材を巻くときに少し下がったが、水を移送するときラインが脈動するので、紐に引っ張られて開いてしまったのか、そのあたりが良く分からないところだが、開きっぱなしになり、昨日のポンプ起動の段階から漏れ続けていたということで、計算すると 13m³ ぐらい出てしまった可能性があり、脇の側面が水浸しになった状況でした。アクティビティはない状況でしたが、今後はタグ管理、ホースの廻りのラインについても付け直していきたいと思います。あとはバルブの開閉禁止といったものを着けていきたいと思います。2 点目のホースの漏れいですが、いくつか続いています。今回は淡水側ということで、写真が見づらいたすが、こちらに水滴がついており、ここに穴があります。実は注意点があり、ホースの下側を持ち上げて撮っているのですが、草が見えますが、ホースの下に草が突き出ており、実は生えている草が突き刺さっています。ちょっと意外な事実でして、漏れい箇所の特徴は先般 17 日も RO の濃縮水の移送ホースで漏れいがあった所を切断して中を確認しますと、草の頭が中に顔を出しているという状況で、本日も写真で見ますと、ホースに刺さっている状況です。もう 1 箇所、水が吹き出っていますが、実は草が刺さっていて、抜いたら吹き出していたという状況で、草がホースに刺さる状況が確認されており、詳細に調査を行ってきたいと思います。今まで漏れいは藪の中、草の中が殆どで、RO 装置、蒸発濃縮装置のまわりは砂利を打っているので草は生えておらず、そう言うところからは漏れいは発生していないと、そういうことを良く調べてまいりたい。(実際のホースを写し)ホースの断面は積層構造になっており、内面は耐摩耗性でちょっと柔らかいゴムだが、その周りを繊維の紐がぐるぐる巻きになっており、そ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

れを PVC という比較的固いポリマーで、こういうホースを使っていますが、意外なことに草が刺さっていることが散見されています。よく調査して、対策できないかも含めて検討していきたいと思います。

(安定化 C 所長)これは今まであまり経験していないが、明日以降もまだ保温材を巻くということで調査が進む中で似たようなことがあり得るかもしれないということも含めて、今後の対応を考えてもらいたいと思います。バルブの件は、ああいう所に紐を巻いているということはある得ないというか、チェックすれば分かると思うので、ドレン弁のような所は点検してもらうことと、あとは作業監理で対応していくかなと思います。宜しくお願いします。

(安定化 C 水処理 Pj 部)口頭で申し上げますが、R/B のサンプル調査を 12 時から 12 時半にかけて実施しており、1~3 号機の R/B の滞留水のサンプリングをしました。計画は 6mSv で、実績は MAX で 4.01mSv で計画内におさまっています。今後、核種などを分析して、結果は来週以降になると思いますがお伝えします。先程お話がありました、キュリオンの処理水の移送ポンプ B 号機を取り替え、今は A 号機で起動しています。

(安定化 C 所長)引き続き、炉注関係で、昨日窒素を原子炉に入れる話をしましたが、1・2 号はある程度場所は分かっていますが、3 号機について現場確認した状況について説明をお願いします。

(安定化 C 冷却 Pj 部)3 号機の RPV への窒素注入に関する現場調査を本日行いましたので報告します。(書面にて説明)どこから入れようとしているかをまず簡単に説明しますと、圧力容器のトップヘッドの所、ヘッドスプレイラインから分岐する計装ラインがあります。圧力容器の水位を測る計装 (LT) ラインを使って窒素を注入しようと、このラインが使えるかどうかを本日調査しております。作業の内容としては、今言った候補について、R/B の 2 階にあり、北側あたりに水位計のラックがあり、このアクセスルートの雰囲気線量、健全かどうかを調査しました。作業時間は 12:07~12:39 と約 30 分間ですが、実際に現場に入ったのは 10~15 分かと思います。2 名で入り、計画線量は 12mSv と考えていましたが、実際は 5.7mSv で終わっています。作業としては、まず最短ルートを通り調査しています。単位は mSv/h です。最短ルートで PCV に近づいたところ、最大 170mSv/h という所があったということで、通り抜けて行ったところ 30mSv/h ぐらいの線量だった。ミニチュア弁の下に水張り用のプラグがありますが、そこから入れようとしており、この部分のラックが健全であること、及び繋がっているラインが格納容器のところまで見えるところで健全であることを確認しました。周囲バルブを閉め、このプラグが外れることまで確認しています。外したプラグに合わせ、今後接続の治具を作り、ホースを製作する工程に移ろうと思っています。ルートは、帰りは若干遠回りをしたところ、30~40mSv/h だったということで、更に遠回りしたらもっと低いかと思いましたが、熱交換器の保温材がガレキとして飛んで集積しており、通

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

れる状況にないということで、現在としては帰りの変更後のルートを1つの候補として作業を検討していきたいと思っています。ちなみに階段は最大で 60mSv/h、ちょっと降りると 30~40mSv/h と同じようなレベルになります。最後に、参考までに、3 号の 1 階ですが、二重扉から入ったところ、ここは機器ハッチの前をロボットで測り、Sv 級の線量があった所ですが、離れた所で最大で 60mSv/h で、40~50mSv/h で通れるということで素早く作業すればできるかなということも確認しました。本日の調査結果を踏まえ、今後このルートで炉注入ができるかどうか、準備作業をしていきたいと思いをします。

(安定化 C 所長)いずれにしても高い線量であることは変わらないので、モックアップが必要であれば、そういうことをやって、短時間で終わらせる段取りを工夫してもらいたいと思います。もう一つは、原子炉の底部の温度は上がる傾向ですが、あまり顕著ではないということで炉注量を少し見直そうという検討をしているということですので説明をお願いします。

(安定化 C 原子炉安全評価 G) (書画にて説明)今お話しありました通り、昨日、1 号機は 5.5 から 5.0、2 号機は 10.0 から 8.5、3 号機は 10.5 から 9.0 に流量を下げ、温度上昇の操作を開始しています。これが 1 号機ですが、昨日からの推移ですがあまり上がっていない。2 号機は、1 号機とレンジが違うのでだいぶ上がっているように見えますが、2℃強ぐらいの上昇です。こちらが 3 号ですが、バラついてはいますが同じく 2~3℃ぐらいの上昇かと思えます。それ以外の監視ポイントとして設定したモニタリングポストを参考までに示しますが、特に変動はなく推移しています。また、2 号機の格納容器ガス監視システムの水素のトレンドですが、昨日報告した 0.6%のまま推移している状況です。このような状況ですので、温度の上昇が 1 日で 2~3℃ぐらいということで、非常に緩やかであることから、温度上昇をもう少し加速させたいということで、1 号機を 0.5、2・3 号機はもう 1m³/h ずつ下げて温度の上昇を加速したいと考えています。2・3 号については昨日と同じく CS 系の流量を絞るということで対応したいと思います。また監視ですが、同じく RPV 底部の温度、モニタリングポスト、水素濃度を監視して、着実に温度が上昇していることを管理していきたいと考えています。(安定化 C 所長)これは発電所とよく調整してやってもらいたいのですが、いつからを目途にやるのですか？

(安定化 C 原子炉安全評価 G) 申し訳ございません。明日の朝 10 時からを想定しています。

(安定化 C 所長) 今晚というわけではないので、よく発電所と調整をして作業に入ってもらおうと言うことで宜しくお願いします。その間は継続監視ということでお願いします。安定化 C からの報告は以上です。本店本部さんからあればご報告をお願いします。(本店広報班) 本日午前中は 11 時から 20 分程度、ご説明を終えています。プラント状況を説明して終えているという状況です。午後は今、18 時からご説明を継続して

(非管理メモ)

本資料は、本部内卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

いるという状況で、今ご説明ありました水漏れ、毎日の環境サンプリング等について説明する予定です。今日は特段大きな質問は出ていない状況です。

(安定化 C 所長)明日はまた土曜日・日曜日ということで、クリティカルな作業は継続しますが、仕事量としては平日に比べると減る方向になるかと思えます。今言いましたように、原子炉関係については、ガスサンプリング工事だとか、N2 注入等線量の高い作業もあるので、作業関係については十分注意していきたいと思えます。また、ホース関係の話については、今後凍結防止の観点から色々見ていくことによって、信頼性を上げていくことになろうかと思えますが、損傷等の発見ということも出てくると思えますので、ちゃんとよく事実関係を分析して、更にレベルアップできるようにしていきたいと思えますので、関係者の皆様宜しく願います。本日の全体会議は以上で終了したいと思います。ご安全に。

~全体会議終了~

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<11/26(土)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C 所長) 本日も天候には恵まれており、作業としてはそれなりに進捗しておりますが、全体的には工事量の少ない状況であります。注水については後ほど話があるかもしれませんが、炉注関係については昨日話をした通り、本日少し流量を絞る方向で作業をしているという状況です。窒素を圧力容器に注入するというので、昨日は 3 号機の現場調査を行いました、本日は 2 号機の現場調査を行いましたので、その状況について後ほど安定化 C より報告したいと思えます。それでは福島第一さんからプラントパラメータ並びに作業状況の報告を宜しくお願いします。

(1F 本部) 今ほどお話しがあった通り、今日は気温は上がらなかったが、穏やかな 1 日でありました。今日は週末ということで、APD の貸し出しは夕方時点で 1700 程度、平日の 6 割程度でした。作業の方は先程お話しがあった通り、炉の温度を若干上げるということで、2 日前より更に 1 号～3 号の炉注量を若干減らしております。昼前に操作を行っておりますが、現在の時点ではまだ顕著に傾向は見えていないということですが、今後監視を強化してまいりたいと思えます。それから、4 号機の屋根トラスのガレキ撤去も今日から始まっています。こちらの方も安全を十分に注意して今後進めていきたいと思えます。

(1F 発電班) 先程来話が出ていますように、1 号機から 3 号機において、24 日の注水量減操作に続き、本日 10:18～11:02 にかけて、1 号機の給水系を 5.0 から 4.0 m^3/h に、2 号機の CS 系を 5.5 から 4.5 m^3/h に、3 号機の CS 系を 7.0 から 6.0 m^3/h に変更して RPV の温度の上昇傾向を現在見ております。実際的な数値は、1 号機は給水系から 4.5 m^3/h で注水中です。RPV 底部ヘッド温度は 41.1 $^{\circ}\text{C}$ 、本日の注水量変更前の 40.3 $^{\circ}\text{C}$ から見て若干の上昇が見られます。D/W 内温度は 43.6 $^{\circ}\text{C}$ 、D/W 圧力 14kPa_{gage}、SFP 温度が 16 $^{\circ}\text{C}$ の状態です。2 号機は現在 CS 系から 4.5 m^3/h 、給水系から 3.0 m^3/h 、あわせて 7.5 m^3/h の注水を行っております。RPV 底部ヘッド温度で 72.4 $^{\circ}\text{C}$ です。本日の注水量変更前の 73.2 $^{\circ}\text{C}$ と比べて、あまり変化は出ておりません。D/W 内温度は 76.4 $^{\circ}\text{C}$ 、D/W 圧力 8.8kPa_{gage} です。PCV ガス管理システムの水素濃度は現在 0.6% で変化なく安定状態です。SFP 温度は 18 $^{\circ}\text{C}$ 。3 号機は、CS 系から 6.0 m^3/h 、給水系から 2.0 m^3/h 、あわせて 8.0 m^3/h の注水です。RPV 下部ヘッド温度は 67.2 $^{\circ}\text{C}$ 、本日の注水量変更前 67.2 $^{\circ}\text{C}$ と殆ど変化は現時点においては見られておりません。D/W 内温度が 57.7 $^{\circ}\text{C}$ 、D/W 圧力 0.3kPa_{gage}、SFP 温度 19 $^{\circ}\text{C}$ です。まだ注入変更から 6 時間程しか経っていませんので今後も RPV 温度について監視を継続してまいります。4 号の SFP 温度 24 $^{\circ}\text{C}$ 、共用プール温度 20 $^{\circ}\text{C}$ になります。5 号、6 号機ですが、共に原子炉水温度 26 $^{\circ}\text{C}$ 、SFP 温度 21 $^{\circ}\text{C}$ 程度で安定の冷却状態を継続しています。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(1F 復旧班) 滞留水関係ですが、1号機 T/B から 2号機 T/B へ移送中です。水位関係は、1号機 T/B は 136mm 下降しています。2号機は T/B から HTI 建屋に移送中です。水位は T/B で 10mm 上昇、トレンチは 9mm 上昇しています。3号機は T/B からプロセス建屋に移送中です。水位は T/B で 5mm 下降、トレンチで 3mm 下降しています。4号機は T/B 水位で 4mm 上昇しています。受け入れ側ですが、プロセス建屋で 13mm 上昇、HTI 建屋で 21mm 下降しています。現在 1号機から 2号機に滞留水を移送していますが、明日停止予定です。作業関係は、本日ベッセル交換はございませんでした。明日はキュリオンベッセル 2塔の交換予定です。5・6号ですが、滞留水は、ひまわり散水、今日と明日ございません。現在の予定では 11/29 に予定しています。5・6号滞留水の移送関係は、現在予定が入っていません。

(1F 土木班) 汚染水の処理設備、タンク関係ですが、G エリアで排水設備の設置、H エリアでタンクの組み立てを継続です。遮水壁は、一工区、開渠の方でボーリングを継続、二工区は本日休工でした。明日は主だった作業は全て休工で、道路の整備 1 件が予定されています。

(1F 建築班) 3号のガレキ撤去については、本日 T/B 屋上でダクト・チラーの解体、荷卸し、Rw/B 上部のガレキ撤去、2号西側の冷却ユニット防護壁の組み立て、地組ヤードで 300t クレーン組み立て、油処理建屋跡地で軽油配管の切断、南側ヤード整備、1号北側でのスロープ整備等を行っています。明日はダクト・チラーの解体と 300t クレーン組み立てを継続で行います。4号ガレキ撤去は、屋根トラス上部のガレキ撤去及びボーリング調査を行っており、明日は休工です。スラッジ貯蔵施設は、スラッジ棟で床のエポキシ塗装、ボンベ庫で配筋を行っており、こちらも明日は休工です。ガレキ運搬及び 1号カバー工事は本日・明日ともございません。

(安定化 C 所長) 明日は更に作業的には減ると思いますが、引き続き安全を最優先で作業管理を進めてまいりたいと思います。また、本日は「技術的知見に関する意見聴取会」ということで、保安院さんの諮問と言いますか、学識経験者 7 名程の方々が福島第二・第一の視察ということで、現場を熱心にご覧頂きました。対応された方、ご苦労様でした。それでは、安定化 C からは、2号機の現場の窒素を注入するポイントについての調査状況について説明をお願いします。

(冷却 Pj 部外部循環冷却 G) (書面にて説明) 今書面に出ていますのが、図面が細かくて恐縮ですが、原子炉圧力容器の頂部に窒素を入れるラインの系統図です。圧力容器頂部のヘッドスプレイラインにつながっている、オレンジで塗っている水位を計装する計装ラインがあり、この計装ラインを使って圧力容器の頂部に窒素を入れようと考えています。その計装ラインの注入口の LT、水位を測るトランスミッターが R/B2 階にあり、ここから入れようということで、本日 R/B 2 階の調査を行いました。こちらの図は、R/B 1 階でホースを引くルート of 調査をしており、右側が T/B で、二重扉から入り、この階段を使って 2 階に上がったということで、階段の入口の所は

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

35mSv/hという線量でした。こちらの図は2階に上がったからの線量調査の結果で、2階の階段を上ったあたりが35mSv/hで、北側の壁伝いに線量を調査して、当該の計装ラックで調査して、赤のルートで戻ったということで、まず最初の壁際のルートは、数字が書いてある通り30~35mSv/h、一番高くて45mSv/hという線量になっています。繋ぎ混む計装ラックの中の雰囲気線量は20~25mSv/hで、昨日測った3号の線量よりも若干低い状況になっています。帰りは、この熱交換器の間のルートで帰ってきましたが、一部47mSv/hと高い所がありましたので、この結果を見る限りは、窒素のホースは壁伝いに廻していく方が線量が少なく済むのではないかと考えています。今日の作業は午後に入り、14時から実際に建屋に入ったのは10分ぐらいです。入った人数は2名で、計画線量12mSvに対し、最大で3.28mSv、最小で3.25mSvという線量になっています。ちなみに、こちらに写真を載せていますが、注入口のトランスミッターの所で、3箇所弁を閉めないといけない所があり、3箇所弁を閉めてきたところの写真です。報告は以上です。

(安定化C所長)3号機よりは若干ガレキもないということですが、線量の高い作業になりますので、また入念に計画を立てて来週実施をするということになると思います。工程については、またある程度詰まった段階でご紹介したいと思います。

(本店広報班)本日のプレスへの説明状況です。本日は11時と6時です。11時については、ご説明のあった1号~3号の炉注水量の変更について、昨日行った3号への窒素注入点の調査状況について、昨日の夜11時台にあった使用済燃料プール代替冷却システムの一時的停止についてご説明しています。質問については、注水量を減らすことと温度変化についての質問が中心で、短時間で終わっています。6時からの説明については、シリーズ広報企画で放射線モニタリングをやっておりますが、本日は2回目ということで放射線の計測方法、建屋から放射性物質の放出について、どういう計算で出しているのかということをご説明する予定です。本件については、またHPで動画を紹介する予定です。

(安定化C所長)今、温度は、絞っていると言うことで傾向的にはそれほどどんどん上がっているということではないのですが、温度の状況はよく確認した上で、必要であれば流量調整をやっていくということだと思いますが、一両日ぐらいは様子を見ることになろうかと思いますが、監視は引き続き宜しくお願いしたいと思います。特にないようですので、本日の全体会議は終了したいと思います。ご安全に。

~全体会議終了~

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<11/27(日)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化C所長)天候的には晴天ということです。午後はちょっと曇っていますが、雨には降られていません。作業的には日曜日で非常に作業は少なかったです。

(1Fユニット所長)今日は穏やか天気でした。作業量も少なかったですが、本日は傷病者、けが人の発生は特にありませんでした。プラントは、1号、2号、3号、それぞれ炉心への注水量を絞ってきていますが、温度の方もトレンドに注視していますが、それぞれ少しずつ上昇傾向にあるという感じですが、2号機がそろそろ監視レベルである75°Cに圧力容器の温度が一部到達するというので、今後マニュアルに従って対応していきたいと思います。本日は、水処理関係で、水バランスの関係で1号から2号への T/B への移送を止めているということです。明日から5号機、先般6号機で実施していましたが、5号機の取水路の清掃作業が始まります。

(1F発電班)1号機は現在、給水系から4.4m³/hで注水中です。RPV底部ヘッド温度は42.8°C、昨日の注入量変更前の40.3°Cから2.5°Cの上昇です。D/W内温度は45.0°C、D/W圧力13kPa_{gage}、SFP温度が16°Cです。2号機は現在、CS系から4.4m³/h、給水系から3.1m³/h、あわせて7.5m³/hの注水中です。RPV底部ヘッド上部温度で75.3°C、昨日の注入量変更前の73.2°Cと比べて2.1°Cの上昇です。D/W内温度は85.9°C、D/W圧力9.8kPa_{gage}です。PCVガス管理システムの水素濃度は現在0.6%で変化なく安定しています。SFP温度は18°C。なお、S/Cの空間部の温度ですが、昨日23時のデータ採取においてオーバースケール表示ということで、変化していることが確認されて、本日午前中に点検を実施しています。一時的に指示が戻ったものの、再度現在はオーバースケール状態表示になっています。また、D/W内のHVHの戻り温度をD/W内の温度として紹介していますが、今朝7時前に78°Cから84°Cにステップ上の変化がありまして、点検において計装系の要因である、実の変化ではない、ということが想定できていますが、今後安定化Cと共同で調査していきたいと思います。3号機は、現在CS系から6.0m³/h、給水系から1.9m³/h、あわせて7.9m³/hの注水です。RPV下部ヘッド温度は67.4°C、昨日の注入量変更前の67.2°Cと比べてほぼ変化はありません。D/W内温度が58.0°C、D/W圧力は0.3kPa_{gage}、SFP温度21°Cです。なお、使用済み燃料プールの冷却系において、今朝また6時に冷却水を作る二次系に使用している散水装置に使用する補給用の消火栓の元弁が閉まっていることが確認されましたので監視を行っています。原因が特定されないということから本日当該弁が容易に操作できないように操作部にカバーを取り付けてシートで養生により操作が簡易にできないような対応を実施しました。4号のSFP温度は23°C、プールについては、熱交換器の出入口の流量が変動するということがありまして、出口側が少し変動があるということで、現在、入口は

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

80m³/h 弱、出口は 90m³/h ということで、若干出口が多いという流量を検出していますので、監視をしていきます。共用プール温度は 20℃です。5、6 号は、現在、海水温度が 13.2℃程度で推移しています。炉水、SFP ともに安定して冷却を継続しています。なお、明日から 5 号機において海水ポンプ室の清掃を開始します。予定は 12/5 までの予定です。日中、7時から17時の間、海水ポンプを停止することになりますので、その間、原子炉の冷却、使用済み燃料プールの冷却が止まります。日中の時間帯の操作になります。

(1F1~4号復旧班)水移送関係ですが、1号機は1号から2号へ移送を停止しています。2号機はHTI建屋に移送継続中です。3号機はプロセス建屋に移送継続中です。水位関係は、1号機抜管エリアで 29mm 下降です。2号機は 2mm の下降で OP3045mm~3054mm です。3号機は 3mm~6mm の下降で、OP3009mm~3257mm です。4号機は 5mm の下降です。受け入れ側の集中ラドですが、プロセス建屋で 15mm の上昇で OP2104mm です。HTI 建屋で 14mm の下降で OP2034mm で、ほぼシミュレーション通りの水位です。水処理設備ですが、KURION は本日 H ベッセル 2 塔の交換を実施しています。17m³/h で現在も安定的に稼働しています。SARRY は現在 26m³/h で現在も安定的に稼働しています。明日、SARRY のベッセルの交換の予定です。明日、月曜日ということで通常通りの作業が始まりますので気をつけて実施していきます。

(1F5,6号復旧班)滞留水は、本日、ひまわりによる散水はありません。明日も予定されていません。ひまわりは 11/29 から再開予定です。滞留水の移送ですが、タンク間の移送が明日10時から16時で行われます。後はタンクの浄化運転のみです。

(1F 土木班)汚染水の処理関係、タンク関係ですが、G エリアで明日、排水構、H エリアでタンクの組み立てを予定しています。海側の工事で遮水壁工事は、海峡側の一工区で3本目のボーリング、二工区、南防波堤側で二本目のボーリングを明日予定しています。明日、5号機の補機ポンプ室の清掃作業を実施する予定です。

(1F 建築班)3号のガレキ撤去については、本日 T/B 屋上でダクト・チラーの解体、荷卸し、地組ヤードで 300t クレーンの組み立てを行っており、明日も継続です。以下、本日休工で、明日の予定になりますが、4号ガレキ撤去は、明日、大型解体重機のブーム切替、ハンガーネット組み立て、ボーリング調査を行いまして、明後日から屋上(聞き取れず)のガラ撤去を行います。スラッジ貯蔵施設は、スラッジ棟内の床エポキシ塗装、ボンベ庫の配筋を行います。ガレキ運搬は明日の夜間作業で3、4号ガレキの運搬を行います。1号カバー工事は明日の産廃の搬出で全作業の終了になります。

(1F ユニット所長)明日はサイトへは損害賠償機構の方がご視察にお見えになる予定になっています。

(安定化 C 所長)3号機の使用済み燃料プールの元弁の件については、とりあえず

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

の対策ということですが、もう少し全体を見た上でしっかりした対策を安定化 C でも考えていく必要があると考えていますので、計画ができましたらご紹介します。

(本店広報班)本日のプレスへの説明状況ですが、本日も 11 時と午後は 6 時から説明する予定です。11 時については、昨日の 2 号機の窒素封入のための現場調査状況について説明しています。後、2 号機のパラメータの指示値の関係と、3 号機の使用済み燃料プールの冷却塔二次系の散水弁が閉まっていたということについて説明しています。特に散水弁が閉まっていたことについては、19 日に類似の事象がありましたので、質問が 2, 3 寄せられています。午後も、引き続き同様の質問予想されるところです。

(安定化 C 所長)本日は作業量も少なめでしたが、月曜日からまた作業の量が増えますし入構の方も増えますので、安全管理に充分配慮して仕事をしたいと思います。また、今週は窒素を圧力容器に入れる関係の作業が詰まってくると思います。作業日程等が決まりましたら紹介しますが、かなり作業的には高線量の作業もありますので注意していきたいと思います。本日の統合本部全体会議は終了したいと思います。ご安全に。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<11/28(月)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C 所長)大臣がお見えになった段階で一時中断して、発話をいただくというアレンジで進めます。

(1F ■■■)本日はおかげさまで傷病者の発生もなく工事が進みました。プラントの状況については、1, 2, 3号機で炉心の流量を絞りながら状況を監視しています。多少上昇中のプラントもありますが、総じて温度は安定してきています。2号機は 75℃を超えたので監視強化を続けています。76℃くらいで圧力容器の温度が安定し始めており、引き続き推移を見守っていきたいと考えています。

本日朝方、2号機 SFP ポンプがトリップする事象が発生しましたが、計装系の点検を実施中です。兆候(流量変化)が出てきており、早めに気がついて対応しようと思ていましたが、間に合いませんでした。今後この反省を活かして進めていきたいと思います。

本日、5号機取水路の大がかりな清掃が始まるため、冷却系を停止し、先ほど復旧しました。原子炉・プール水の温度上昇は想定通りで MP にも影響はないため、明日から工事を実施したいと思います。

本日14時半頃、免震棟入りのダストモニタでアラームが発生しました。念のために皆さんに連絡し、マスク着用で手順通り進めていただきました。具体的にはダストの上昇がその他計測の中で見られなかったため、先ほどマスク解除について再度もとの状態に戻っています。

(安定化 C 所長)大臣がお見えになりましたので、本店本部にて発話願います。

(本店社長)本日一日お疲れ様です。今般、1F 吉田所長におかれましては病氣療養のためしばらく職場を離れていただくことになりました。皆さんご存じのように、所長には事故発生以来現在に至るまで大変厳しい環境の中で命がけで事故の収束に取り組んでもらいました。この間、本当にリーダーシップを発揮していただいて我々にとっても大きな支えであったと思っています。本当に心から感謝したいと思います。年内にステップ2達成という中で、その前に交代と言うことになりましたが、本人が一番心残りではないかと思っています。この吉田所長の思いを是非みんなの胸に刻んで事故の収束そしてその後の安定化に向けて取り組んでほしいと思います。本人も一番それを願っていると思います。私も同じ思いです。私からは、この前所長と話をしまして、まずは治療に専念してしっかり病気を治して一日も早く戻ってきてほしいということを言いました。本人も、一日も早く治して戻ってきますと力強い言葉を私に返してきました。お互いにしっかりやっいてこうとエールを交換した次第です。福島第一の皆様には、所長から別途メッセージが届くと思いますので、同じような思いを皆さんに伝えるのではないかとと思っています。後任は今設備管理部■■■■■

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

■■■が12月1日付で着任します。これからステップ2の収束、中長期ロードマップに向けた廃炉への取り組みという形で長い道のりになりますが、グループ企業、協力企業の皆さんも含めて全員で一致団結してこの難局に立ち向かっていこうと思いません。

(本店細野大臣)連日大変お疲れ様です。西澤社長からご報告がありましたとおり、吉田所長が体調不良で一旦現場から離れられることになりました。社長から話がありましたが、私も吉田所長のこれまでの強いリーダーシップそしてご本人の厳しい中で踏ん張っていただいたがんばりに心より敬意を表したいと思いません。ご本人とも話をしまして、まずはしっかりと体調を整えていただいて、また戻ってきていただきたいという話を致しました。これまで所長が中心的な働きを果たしていただいて、難局を乗り切っていただいたのは紛れもない事実だと思います。しかし私は心配を全くしておりません。この間、それぞれの皆さんが個人としての力を最大限発揮していただいてここまで事故の収束にあたって参りました。また、東京電力の皆さんを含め、関係会社の皆さんそして政府が一丸となって組織一丸となってこの事故の収束に当たってきた、これも私どもはここまでで十分力をつけてきたと思っています。所長の思いに答える意味でも、是非皆さん一人ひとりの個人の力と組織の力を結集して、なんとしても年内の冷温停止、その後の最終的な事故の解決に向けてともがなばっていききたいと思いませんし、必ずそれが出来ると考えています。私も事故当初から関わっていた政府関係者で言うならば本当に大きな責任を担っていると思いませんので、皆さんとともにその思いを共有したいと思いません。また、所長として赴任をされる■■■さんは、私もこの現場ですっとリーダーシップをとられてきた姿、さらには東京電力本店で事故の収束の中心的な役割を果たしてきた姿を見ておりますので、全幅の信頼を寄せています。特に 1F の皆さんはこの■■■所長を中心にしっかりと土地に足をつけた活動をしていただいて、この事故の収束に向けて前進をしていただけますように心よりお願いを申し上げます。

(安定化 C 所長)大変力強いお言葉をありがとうございます。われわれ安定化 C、1F も一丸となって、あるいは東京電力、事故収束に関係する皆様方一丸となって邁進することを吉田所長も望んでいると思いませんし、われわれを誓っていききたいと思いません。皆様の気持ちを引き締めるよいチャンスだったのではないかと思います。また、彼のメッセージもいただきましたけれども、そういうことを望んでいることは間違いありません。よろしくお願ひしたいと思いません。

(1F ■■■)細野大臣からいただいたメッセージは、間違いなく所長に届けたいと思いませんし、われわれ一同も思いは同じですから、次なるステップに向けて力強い一歩を踏み出せるように、また■■■所長の下でがんばっていききたいと思いませんので、引き続きご支援の程よろしくお願ひしたいと思いません。ありがとうございました。

(1F 発電班)1号機は、給水系から 4.4m³/h で炉注を行っており、RPV 底部ヘッド温

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

度は 44.2℃で、一昨日の注水量変更前の 40.3℃から 3.9℃の上昇です。上昇傾向を継続しています。D/W 内温度は 46.4℃、D/W 圧力は 13kPa_{gage}、SFP 温度は 17℃です。

2号機は CS 系 4.4m³/h、給水系 3.1m³/h あわせて 7.5m³/h で炉注を行っており、RPV 底部ヘッド上部温度は 76.2℃で、一昨日の注水量変更前の 73.2℃から 3.0℃の上昇です。D/W 内温度は 74.8℃、D/W 圧力は 9.7kPa_{gage}、PCV ガス管理システムの水素濃度は 0.6%で変化なく安定しています。SFP 温度は 19℃です。なお、本日 SFP 冷却系において、9時過ぎに1次系差流量大の警報が発生し、システムが自動停止しました。現場確認を行い、漏えい等異常のないことを確認しました。当該の関連計器である熱交換器の出入り口の流量計に不具合が考えられるため、現在計器ブロー作業を実施するところです。システム停止時のプール水温は 18.3℃で、現在 19.1℃で、顕著な上昇は見られておりません。再起動については、暗い環境であることから安全とリーク確認のしやすさを考慮して場合によっては明朝の起動にすることを考えています。

3号機は、CS 系 6.0m³/h、給水系 1.9m³/h あわせて 7.9m³/h で炉注を行っており、RPV 下部ヘッド温度は 68.2℃で、一昨日の注水量変更前の 67.0℃から 1.2℃の上昇で、若干の上昇傾向があります。D/W 内温度は 59.7℃、D/W 圧力は 0.3kPa_{gage}、SFP 温度は 20℃です。

4号機 SFP 温度は 25℃、共用プールは 22℃です。

5, 6号機の情報について、炉・プール冷却とも安定しています。本日より、5号機において海水系取水ポンプ室の清掃のため、日中、7時から17時の予定で作業を開始しました。今朝は7時前に関連ポンプを停止しまして、先ほど17時過ぎにポンプを再起動しました。これで原子炉・プールの冷却が再開となっています。起動時の原始炉水温度は 39.3℃で、停止時から比べて約 14℃上昇です。プール水については 22.8℃で、冷却停止から 3℃の上昇でした。明日も同じ時間帯で継続作業を予定しています。

(1F1~4号復旧班)水移送関係について、2号機から HTI 建屋、3号機からプロセス建屋への移送を継続しています。推移関係について、1号機抜管エリアにて 13mm 上昇です。2号機 T/B にて 9mm 下降で OP3030mm、3号機は 7mm 下降して OP2994mm です。4号機は 6mm 下降です。受け入れ側集中ラドについて、プロセス建屋にて 16mm 上昇で OP2144mm、HTI 建屋にて 174mm 上昇で OP2179mm です。シミュレーション通りです。

滞留水処理について、キュリオンは安定的に稼働しており、17m³/h です。サリーは、本日ベッセル交換のために朝から停止しておりましたが、17時頃に起動し、17:13 に 28.5m³/h の定常流量を確認しています。バツファタンク関係のカナフレックス管で先日ピンホールがありました。それについて本日管の交換を実施しています。本

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

日も若干ピンホールが確認されました。安定化 C から話があると思います。

明日の予定は、1号機PCVガス管理システムで配管設置後の耐圧試験にともない、N₂封入を一時停止する予定があります。その他継続となります。あと、4号機 SFP でイオン交換装置を設置しており、明日インサービスする予定となっています。

(1F5,6 号復旧班) 滞留水について、ひまわりの散水は本日ありませんでした。滞留水移送もありません。浄化運転は継続です。滞留水タンク間の移送を本日実施しました。明日は、ひまわりによる散水を発電所北門付近にて実施する予定です。浄化運転は継続します。タンク間の移送はありません。タービン地下から仮設タンクへの移送を10時から16時に予定しています。

(1F 土木班) タンク関係では、G エリアで排水溝の設置、H エリアでタンクの組み立てで、明日も継続です。海側遮水壁関係の調査について、構内側の遮水壁のボーリングとして全部で5本予定しているうち3本目の掘進を行っています。港の外側の遮水壁の関連の調査として全部で3本ボーリングを予定しているうち2本目の掘進中です。5号機取水路ポンプ室の清掃について、本日より作業を着手し、現時点の予定では12/5まで清掃を行う予定です。本日は約 10m³ の土砂の清掃を行っています。

(1F 建築班) 1建屋カバーでは、産廃の搬出を行いました。明日はヤード点検、片づけを行います。機器側の方で排気フィルタの交換を行っています。明日は排気ファンの点検を実施します。3号機上部ガレキ撤去について、T/B 屋上でダクトチラーの解体、地組ヤードで 300t クレーンの組み立て、SFP 冷却ユニットの防護柵の組み立てを行っています。明日はクレーンの組み立て以外継続作業となります。4号機上部ガレキ撤去について、ネットハンガの組み立て、ボーリング調査を行っています。明日は屋上のパラペットの解体、ボーリング調査を行います。スラッジ貯槽ではスラッジ棟で床の塗装、設備棟で空調機、(?)では基礎の工事を行っています。明日は継続作業です。

(1F 保安班) 14時30分ごろに免震重要棟出入口前の連続ダストモニタにて警報が発生したため、ノーマスク運用を一時中断しています。その後手順に則り、手引きでダスト測定を実施し、マスク着用基準を下回っていることの確認し、連続ダストモニタが復旧出来たので、16時過ぎにノーマスク運用を再開しています。

(1F ■■■) 引き続き、原因究明等について対応願います。本日午後、原子力損害賠償支援機構の杉山次長他の皆さんが現場・免震棟のご視察にお見えになりました。最後に、私も異動辞令をいただきました。引き続き福島第一の再建に向けて微力ながらがんばりたいと思いますので、よろしく願います。

(安定化 C 所長) 原子炉圧力容器に N₂ 封入をする作業関係について、段取りが見えたので説明をお願いします。

(安定化 C 回部循環冷却 G) RPV への N₂ 封入について説明します。1~3号機につ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

いて、ベッセルへの注入ラインを何ラインか候補をあげています。1号機については、RPV ヘッドスプレイラインにつながるテストライン(弁番号 205 の 2-5 と 2-6)の先に、 N_2 の封入ホースをつないで注入することを計画しています。2, 3号機については、同じくヘッドスプレイラインですが、ヘッドスプレイラインから計装ラインに分岐しているラインがあり、計装ラックに PSA からのホースをつないで注入することを現在計画しています。概略系統図について、1号機は N_2 発生装置から流量計圧力計を介して、現在不活性ガス系を使って格納容器に注入しています。途中から分岐しているライン(赤)は設置済みですが、この先に先ほどの RPV につなぐラインのニードル弁と流量計とバルブをつけます。これにあわせて AC 系につながっているラインについても、当時はこちらで流量調整をしていましたが、この2カ所で流量調節はやりづらいため、こちらに流量調節弁をつけてこの2カ所で流量調節をしながら圧力容器と格納容器の N_2 封入をバランスさせようと考えています。この際、本来 AC 系のラインの方にも流量計があれば何 m^3 ずつ入っているか確認できるが、物の手配の関係上、格納容器側への流量計の手配がついていません。当面の管理として、圧力容器への流量はこちらで確認しますが、格納容器については大本の流量計から圧力容器への流量を引いた分が(格納容器に)入っているという管理で行っていきたくと考えます。同様な形で2, 3号機についても、格納容器につながっているラインは FCS 系リークテストの(?)のところですが、考え方は同様で、分岐させた先に流量計とニードル弁をつけて分岐しながら N_2 を圧力容器と格納容器に入れる形でライン構成校正を考えています。今後スケジュールについて、1号機は、設置済みラインの漏えい試験終わっていないため、明日ここの漏えい試験を実施したいと考えています。そのため、一時的に格納容器への(N_2 ?)を止めることを予定しています。その後明後日の午前中から午後にかけてユニットの作成・据え付けを実施し、うまくいけば明後日の夕方からよるにかけて N_2 封入を開始できる見込みがあります。2, 3号機については、社内直営で作業を行うため5号機でのモックアップを明日の午後予定しています。その全段で、計画では2号機から注入開始したいと考えていますので、2号機側のユニットの製作をメーカーさんの方で明日の午前中から仕掛けていただいて、その据え付けを明日の午後位かけて行おうと思っています。この際も一旦 PCV への N_2 封入の停止を計画しています。明後日の午前中に最終的に計装ラックにつながる原子炉建屋への作業を直営作業で行い、これがうまくいけば2号機も明後日の午後か夕方くらいには注入開始が出来る見込みです。3号機については、ユニットの製作が明後日の午前中から午後にかけて仕掛けて、同様にわれわれが据え付け作業を夕方前に行って、うまくいけば30日の夕方以降位から N_2 封入が出来るかなというところまでできています。関連作業として3号機にて30日にクレーンを使ってダストサンプリングを実施するという話を承っていますので、その際は、 N_2 封入が止まったり流れたりということがあるとデータに外乱があるため、基本的に N_2 封入を止めるとか

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

流すという作業はサンプリングが終わった後にやろうと考えています。

(安定化 C 所長) 工程を詰めていただいて、段取りを決めていただいて、30日位には3ユニットとも N2 を入れられる状況にまでたどり着いています。特に2, 3号機は高線量エリアでの作業となるため、手落ちのないようにしっかりと作業計画を作って実行していきたいと思っておりますので、関係者の皆さんよろしくお願ひします。

ホースの保温をやっていますが、微少の漏えいがあったことについて状況を報告願ひします。

(安定化 C 水処理) 本日も引き続き、バッファタンクへ送る淡水移送ホースへの保温取り付け作業を行っており、2カ所からピンホールが確認され、微量なり一区が確認されました。場所は構内の給油所と免震棟の西側道路脇で、全体を示すと、淡水化設備はこちらとなり、こちらから青い線に沿ってホースが布設されています。1カ所目はこちら、2カ所目はこちらとなります(書画)。こちらのラインについては、先週水漏れが確認されたことから、本日ホースの取り替え作業を行っており、その際に見つけたものです。もう1カ所はそれから先の部分で見つけたもので、いずれも小さな穴、漏れている量は滴下している程度であり、雰囲気線量もバックグラウンドと変わらない状況です。最初の1カ所については、ホースの交換済みとなっています。もう一カ所は応急処置でテープにて止水し、明日ホースを交換する予定となっています。現場写真はこの通り(書画)。いずれもホースの下部、草むらの中をホースが布設されていますが、最初の1カ所目については、内面にくさが刺さっている状況でした。もう1カ所は、保温材を取り付けるためにホースを持ち上げていますが、その時には草はついていませんでした。最初の1カ所目は水滴がついていますがこの近傍で漏えいしている箇所がありました。本日ホースを取り替えていますので切断して確認しています。こちらにピンホールがあり内面を映したのがこちらになります。こちらに草が残っていました。もう一カ所については、こういった状況でテープ養生をしまして、明日交換する予定にしています。今後も保温材の取り付け作業を継続しますので、こういったピンホールは何カ所か見つかる可能性がありますので、夕方のこの時間にまとめて状況報告をさせていただきたいと思ひます。

(安定化 C 所長) 草との戦いをどう考えるかは今後考えたい。保温材を入れることである程度緩和すると思ひますので、まず冬の備えをよろしくお願ひします。その日の状況については適宜報告することによろしくお願ひします。

3号機の原子炉建屋のダストサンプリングを予定していますので、紹介願ひします。

(安定化 C 環境影響評価) 放出放射能評価に当たりまして、3号機原子炉上部ダスト測定を11月29日、30日に計画しています。採取ポイントについて、書画に示しており、原子炉ウェル、燃料プールがありますが、直上部についてはA、B、C地点となります。A 地点は前回一番放射能濃度が高かった地点です。B 地点は継続的に測定している地点です。C 地点は南半分側(前回初めて測定)で比較的濃度が高かつ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

た地点です。機器ハッチD地点を計画しています。1, 2号機は12月1日に計画しています。

(本店広報班)今ほど説明のありましたピンホールにつきまして、本日16時半から統合会見を行っていますが、その場で状況提供をしたいと思っています。せっかく良いことをやっている中で、微少な漏えいということではありますが隠したということにならないようにしっかり情報提供をしていきたいと思っておりますので、ご担当の方とやりとりさせていただきますのでよろしくお願いいたします。→ (安定化C所長)了解しました。

(本店広報班)本日のプレスへの説明状況について、16時半の統合がメインということで、11時は短いやりとりで終わっています。16時半につきましては、所長の交代のお知らせについてかなり関心が集まっており、繰り返し質問がなされている状況で現在も続いています。

(福島地域支援室)明日10時半から16時の予定で、福島第一原子力発電所のステップ2の状況、中期安全確保の考え方のその1等 2F 状況含めて、ご避難頂いている13市町村含めてお集まり頂いて、知事会館で説明会が開催されます。すでにご案内させていただきましたが予定通り行いますのでご承知置き方よろしくお願いいたします。

(安定化C所長)これはオープンで行われるのですか？

(福島地域支援室)マスコミオープンです。通常の枝連だと一般の傍聴者の方もお入れするのですが、今回は、一般傍聴者の方はご遠慮いただき、マスコミのみで実施されます。

(安定化C所長)関係、対応される方はよろしくお願いいたします。本日は最初に社長、細野大臣からご挨拶がありました。仕事そのものは日々一歩ずつですが、気持ちはと切れることなくしっかりとみんな一丸となって事故収束に向けてがんばっていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。ご安全に。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<11/29(火)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C ■■■) 本日の天候は晴れ、気温は 14℃です。各エリア各部門で全面的に作業が展開され、概ね予定の進捗をみたところ。明日、1, 2, 3号機で RPV への N₂ 注入の作業を予定しています。そのための準備作業が全面的に行われています。明日からの N₂ 注入のオペレーションについて後ほど報告します。

(1F) 昨日は吉田所長の突然の交代ということで、免震棟も震度7相当の激震に襲われましたが、夕方の統合本部会議にて細野大臣、西澤社長から今後の目標・仕事の進め方を明示していただきましたので、1F 所員一同一丸となって邁進して参りたいと思います。

天候は穏やかな一日でしたが、夕刻にけが人が発生し、J ビレッジの皆さんに迷惑をおかけしました。明日は天気下り坂で、午前中に雨が降る予報がでていますので、現場に行く際の服装等、作業安全には万全を期したいと思います。

プラントは概ね安定しており、1～3号機の RPV 温度は若干の増加はあるが安定しています。1, 3号機の炉注流量に若干の減少が見られたため、午前中に調整を行っています。2号機の格納容器内の水素濃度は、今朝ほど 0.5%に下がり、夕刻も 0.5%で安定しています。RPVの N₂ 封入の準備工事について、安定化 C さんの方が 5号機を使ってモックアップを行って、その上で2号機につなぎ込みを行います。吉田所長から被ばくを極端にとまらう作業をすると言われており、安定化 C にていろいろ工夫をしながら短時間作業かつ被ばく低減をご協力いただいています。明日 3号機も含めて仕上げの作業がございますので、コミュニケーションをとりながら一つ一つ仕事を丁寧にやっていきたいと思っています。

(1F 発電班) 先般、1号機の D/W 圧力のデータ提供数値に誤りがあり、ご心配とご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。本日、関係箇所へ説明させていただき、ご理解を得られたことから、本日11時のデータより正規の方法によりデータの提供をさせていただきます。

プラント関係について、(1号機は) 給水系から 4.5m³/h で炉注を行っています。本日、10:28に流量の自然低下の調整ということで、4.2m³/h から 4.5m³/h に調整を行っています。RPV 底部ヘッド温度は 45.0℃で、26日の注入量変更前の 40.3℃より 4.7℃上昇です。D/W 内温度は 47.2℃、D/W 圧力 13kPa_{gage}、SFP 温度 17℃です。2号機は CS 系 4.3m³/h、給水系 3.0m³/h 併せて 7.3m³/h で炉注を行っています。RPV 底部ヘッド上部温度は 76.1℃で、26日の注入量変更前の 73.2℃より 2.9℃の上昇です。D/W 内温度は 75.9℃、D/W 圧力は 9.9kPa_{gage}、PCV ガス管理システムの水素濃度は 0.5%で安定しています。SFP 温度は 23℃です。本日午前中に SFP において、昨日9時に発生した1次系の差流量大の警報での自動停止の対応

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

として、警報への計器である熱交換器の出入口の流量検出ラインのフラッシングのため、11:50にシステムを再起動しました。その後フラッシングを実施し、流量が安定していることを確認していますが、今後も注意して見てまいります。

3号機はCS系6.0m³/h、給水系2.1m³/hあわせて8.1m³/hで炉注を行っています。本日10:28に給水系流量の自然低下の調整として1.9m³/hから2.1m³/hに調整を行っています。RPV 株ヘッド温度は67.9℃、26日の注水量変更前の67.0℃より0.9℃の上昇です。D/W 内温度は60.3℃、D/W 圧力は0.3kPa_{gage}、SFP 温度は20℃です。

4号機 SFP 温度は28℃、共用プール水温度は23℃です。

5, 6号機関係では、海水温度は12.8℃程度で推移しています。5号機において、本日、2回目の海水取水ポンプ室の清掃のため、今朝、関連ポンプの停止を6:31から6:33に実施し、清掃作業終了後、再起動は17:22から17:39にかけて異常なく実施しました。再起動時の原子炉水温度は39.4℃、プール水温度は24.8℃でした。6号機は原子炉水・プール水ともに順調に冷却しています。

(1F1~4号復旧班)水移送について、2号機はHTI 建屋、3号機はプロセス建屋への移送を継続しています。水位について、1号機 T/B 抜管エリアにて11mm 上昇です。2号機は8mm 下降でOP3007mmです。3号機は4mm 下降でOP2980mmです。4号機は4mm 下降しています。受け入れ側集中ラドについて、プロセス建屋は15mm 上昇でOP2183mm、HTI 建屋は35mm 下降でOP2091mm でほぼシミュレーション通りです。

滞留水処理装置について、キュリオン・サリーとも順調に稼働しています。

本日の作業実績について、1, 2号機のRPVのN₂封入作業にともない、N₂を一旦停止しています。無事終了しています。明日は、1, 2, 3号機のN₂封入準備作業で、1, 3号機で再度N₂封入を停止して準備し、午後からN₂の封入に入る予定となっています。

本日の実績について、4号機 SFP のイオン交換装置を無事インサービスしています。RPVのN₂封入にともない、明日2号機のHTI 建屋への滞留水移送を一旦停止します。キュリオン H ベッセの2塔の交換を予定しています。

本日、赤チン災害がありました。結果的に災害としては小さかったものの、連絡関係で一部遅れがありましたので今後気をつけていきます。

(1F5,6 号復旧班)滞留水関係で、明日は浄化水の散水はありません。浄化水ができあがりましたら再開します。滞留水の移送もありません。

(1F 土木班)タンク設置工事について G エリアで排水溝等整備、H エリアでタンク組み立てを実施しています。明日も継続です。1~4号機遮水壁設置工事について、第一、第二工区ともに地質確認用のボーリング実施中です。明日も継続です。

(1F 建築班)1号機カバーリング工事について、本日、最終の安全点検を行いました。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

明日竣工日となります。3号機上部がれき撤去について、防護用カルバートのようじゅう、補機構台の設置、鉄板敷きなどのヤード整備を行いました。補機構台ヤード整備の継続に加えて明日、T/B 屋上のダクトチラーの解体が再開されます。4号機上部がれき撤去について、屋上パラペットの解体、継続のボーリング調査を行います。明日は継続のボーリング調査に加え、南面の壁・柱の解体を行う予定です。スラッジ貯蔵施設については、床の塗装、(?)の配筋、空調機器の基礎工事などを行い、明日も継続です。

(1F)明日、中国および韓国の規制当局のご視察の予定が入っています。

(安定化 C ■■■) 明日から1, 2, 3号機でRPVの中にN₂を注入するためのホース接続等の作業を行ってN₂注入に入ります。工事については昨日報告したところですが、注入以降のオペレーションについて説明します。

(安定化 C 原子炉安全評価 G) 1, 2, 3号機の RPV への N₂ 封入について説明します。RPV への N₂ 封入については、RPV 内に比較的高い濃度の水素がある可能性があるということから、RPV 内に直接 N₂ を封入して、今後蒸気のない冷温停止状態においても水素濃度が可燃限界以下となるように管理を行うために、明日から実際の封入を開始しようと作業を進めています。(書画)これが明日の具体的なスケジュールです。実際の注入開始は2, 1, 3号機の順番となっています。2号機で明日の14時半くらいを目処に実際の注入が開始されると聞いています。ラインは昨日説明があったと思いますので割愛します。RPV への封入の手順について、すでにガス管理設備がある2号機とまだ設置していない1, 3号機では手順を分けて考えています。ガス管理設備がある2号機については、まず RPV への注入を 5Nm³/h で開始し、ガス管理設備の抽気量を 5Nm³/h 増加してここでプラスマイナスゼロと言う状態を作ります。この状態で6時間以上監視を継続して、その後プラントのパラメータに異常ないことが確認できたら当初想定していた RPV への標準注入量の 10Nm³/h まで増やして、その後ガス管理設備の抽気量を 10Nm³/h にするというオペレーションをしたいと思います。1, 3号機については、ガス管理設備がなく水素濃度の監視ができないため、慎重に RPV の水素を置換する観点から、5Nm³/h で封入を開始して4日間以上継続します。この間で RPV の中が N₂ に置換される時間と評価しています。また、4日間以上継続してプラントパラメータに問題がなければ当初計画の通りの 10Nm³/h に注入量を増加するというオペレーションを考えています。今から示すのが N₂ 封入を継続するかどうかの判断基準で、まずプラントパラメータとしての格納容器と圧力容器の圧力が 100kPa、1気圧以上上昇した場合は何らかの形で N₂ が入っていない、どこかで閉塞している状態と判断し、停止をしようと思っています。また、圧力容器・格納容器圧力が下側、20kPa 以上低下する状態では、運転を継続しながら原因調査をしたいと思います。N₂ 供給装置について、定格の 99%以上の窒素濃度が確保できていることを確認しますので、これ以下となったら点検を実施し、ま

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

た、封入ラインの圧力も安定していることを確認し、こうならない場合は点検を実施するということを考えています。また、外部への影響として、以前から行っていますが、MPの指示値が $2\mu\text{ Sv/h}$ 以上の上昇がみられた場合は N_2 封入との関係について確認を行うオペレーションにしたいと思います。最後に2号機についてガス管理設備の水素濃度が2.5%を超えた場合、以下の対策を順番に行っていきます。まず格納容器への N_2 封入量増加、それでも改善がみられない場合はRPVへの注水量を減少、最後はガス管理設備そのものへの N_2 封入を実施という手順でやっていきたいと思っています。また、 N_2 封入時のデータ監視について、プラントの挙動を予測しておこうということで、まず圧力容器の圧力、各様容器の圧力については、1, 2号機は、従来より格納容器に N_2 封入したときも圧力が上昇したという結果があるため、RPVへ注入した場合も圧力が上昇するだろうと思われ、監視したいと思います。その次はRPVとPCVの温度監視ですが、RPVフランジ部からの漏えいを現在想定していますので、そのあたりに関連するベローシール部やフランジ部、スタッドボルトなどの温度を監視していくことになると思います。また、2号機については、ガス管理設備の水素濃度の変化を監視していくことになると思います。今まではガス管理の方ですが、これまでRPVへの注水量を少し絞ってきたので、こちらについてもこのシートで整理しています。現在RPVの温度を $80\sim 100^\circ\text{C}$ 程度で維持する注水を実施していますので、 N_2 置換が完了するまではこの状態を維持することを考えています。仮にRPVの温度が 100°C を超える、温度計の不確かさが 20°C 程度あるため指示値レベルでは 80°C を一つの目安としているが、これを大幅に超える状態があれば冷温停止状態を逸脱する可能性が出てきますので監視強化をし、必要に応じて給水量を増加し温度を低下させるオペレーションをしたいと思います。最終的に N_2 置換が終わった以降については、監視パラメータを確認の上、改めて注水量を決定したいと考えています。

(安定化C ■■■) 3ユニット一斉にですから、しっかりとデータ監視をして参りたいと思います。1F重要免震棟にいる皆様と協力してしっかりとデータ監視をし、少しでも異常が検知された場合には速やかに報告・連絡・相談を徹底して参りたいと思います。

(1F)今の説明にて、1, 2, 3号機のD/W圧力がすべて異なりますが、プラント毎に監視しなければならないなど、号機毎の判断基準はないのですか？例えばPCVの降下率が 20 kPa/h を超えたらという話ですが、現状3号機は 0.3 kPa しかありませんし、1~3号機一律にということではよろしいのですか？号機毎に特別にケアしなければならない点がありますか？

(安定化C原子炉安全評価G)特に考えていません。1, 2号機については圧がたっていますので下降ということがありますが、3号機は圧がたっていないということとはたぶん下がらないということだと思いますので、3号機は下降側の方はないと考えてい

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

ます。

(安定化 C ■■■) 明日の作業ですが、1, 2, 3号機3つのユニットで高線量作業が行われます。複数のチームがそれぞれの号機に張り付いて作業します。すでに十分段取りをしていると思いますが、再度作業シーケンスをしっかりとチェックしていただき、また、明日の作業の前にはしっかりと TBM を実施していただいて、ぬかりの内容に万全を期して参りたい。

(1F) 明日、2号機は14時半くらいから作業に入るとのことですが、外国のご視察の方々のスケジュールが14時半から構内ご視察となっていますので、時間は当日調整させていただきたい。よろしくお願います。

(安定化 C ■■■) 一応、外のお客様は、建屋内の作業には関係ないと考えていますが、バスを降りないで現場を通過する予定となっていると思いますが、もしもどうしても現場に入るようであれば、調整いたします。できるだけ予定を変えないように進めて参りたいと思います。→ (1F) 了解しました。

明日の作業に関連しますが、汚染水の処理をこの作業の間停止します。それにとまらう水位のシミュレーションについて報告します。

(安定化 C 滞留水移送 G) 現状の水位と明日の作業を説明します。こちらは定期的に表示しているシミュレーションです(書画)。2号機の水位が緑、3号機の水位が青で示しています。本日、2, 3号機とも HTI、プロセス建屋に移送しており、水位は3000mm 近辺で下降傾向となっています。明日、PCV 関連の作業を3号機の T/B の廊下で実施する予定となっており、一方でこちらの2号機の緑の移送ホースが3号機の廊下を通っていますので、作業員の被ばく低減を考慮しまして朝、2号機の移送を停止使用と計画しています。作業が終了する夕刻には再開する予定です。明日2号機の水位は一旦上がりますが、夕刻から下降傾向に転じると想定しています。今後の予定について、12/3は処理装置の電源停止を予定しています。それによりラドの水位が一旦上がりますが、継続して移送を継続する予定です。それから、1号機 T/B 抜管エリアにたまっている水については、水位を見ながら12/9から移送する予定です。また、その後の12/12~14日にかけて、電源停止の絡みで移送を停止するというオペレーションを行い、2, 3号機とも 3000mm 近辺の水位を維持しようと計画しています。

(安定化 C ■■■) 水処理関係の話題で、ホースに保温材を続けていますが、その課程でホースを丁寧にみているところで頻繁に漏えいが発生します。本日も一つありましたので報告します。

(安定化 C 水処理 G) 淡水装置からバフアタンク、炉注のラインについて保温材の取り付けを行っています。計画では、総延長 11km ほどあり、現在 2200m 保温の取り付けが完了しています。こちらがカナフレックスとなり、先の方のグレーかかったところが保温を施工したものです。道路等に沿った法面にホースが設置されており、ホ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

ースを一旦持ち上げて保温材を取り付けます。その際にピンホールの状況を確認しながら取り付け作業を実施しています。本日も昨日に続き同様な作業を継続しており、これが全体の淡水化のラインですが、青い線に沿って作業を行っており、こちらのエリアで作業をしており、本日も1カ所ピンホールを確認しています。ピンホールは非常に小さな穴で漏洩量も微少です。雰囲気線量を測っても周りのバックグラウンドと変わらない程度の状況です。こちらがホースの状況です。こちらの茶色い部分にピンホールがあり、草が刺さっている状況で漏洩箇所が確認されました。

(安定化 C)丁寧にみていただいて、それがリークの発見につながっています。今後もあると思います。その都度修理いくのは当然ですが、もう少し深く掘り下げてより高い信頼性を確立していかなければいけないと思っています。よろしく願います。

12/3に停電作業があります。これについて説明します。

(安定化 C 施設基盤部)3号機の C/B と起動変圧器洞道の漏水修理、それにとまらう電源停止について説明します。この説明は8月に1回しており、3号機 C/B の電気品室から水漏れがあるという説明をしています。調べたところ、洞道に水がいつぱいたまっており、その水が C/B 電気品室に流れ込んだというものです。この止水について、当初、ケーブル洞道側の水を抜いて外側からアクセスして止水をしようと考えていましたが、水を抜いたところ厳しいということがわかり、建屋の内側から止水をすることに変わっています。ここにはケーブルいつぱい走っており、生きているケーブル死んでいるケーブルを選りすぐりまして、使用しているケーブルは移設、不使用のケーブルは切断をするという仕分けをしており、そのため時間がかかってしまいました。ケーブルは電気ボイラ変圧器 A のアース制御盤、これは大熊線 2L の開閉設備の制御回路に使っているもので、このケーブルを止めるために大熊線 2L を停止する必要があります、そのため停電が起こります。それ以外にも、3、4号機開閉所の給電情報、無線局車の電源、中操ネットワークシステム等々の電源について使われていますので移設をします。それ以外に、ケーブルもいろいろあり、スタックモニタ関連、送電線のリレー関連とかいろいろとケーブルがありますが、使っていないため切断を行います。この作業は12/12から16日の間ですが、その前後で電源を切り替える作業があります。そのときに負荷を停止します。皆さんにご迷惑をおかけするのが12/3(土)の19時から21時、12/17(土)の19時から21時に、切り替えにともない停電が起こります。大熊線 2L を停止します。今、大熊線 2L の負荷は予備変 M/C だけです。これが停電するということで、まず3、4号側から切り替えまして、作業が終わりましたら元に戻します。元に戻さなくても良いという話がありますが、後で説明する CT 取り替えというのともあわせて行いますので、その健全性を確認するために元に戻します。予備変 M/C が停止するということにあわせて、①ですが、予備変 M/C の CT(カレントトランスフォーマ)の大容量化のため取り替えを検討しています。また②

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

の方は、止水関係の作業で、ケーブルのリルートで停止をします。それぞれ停止期間は①が12/3から5日まで、②が12/12から16日までという作業期間ですが、実際に負荷が停止するのは、12/3(土)と17日の(土)となります。なぜ土曜日の夜の時間に停止するかというと、負荷が休憩所の電源であり、免震棟の出入口管理所の一部制限が必要であり、連続ダストモニタが停止します。これにともない、全面マスク着用を省略化していますが、一時運用が停止します。また、構内の信号機が停電となりますので、人が極力いない時間を見計らって作業します。さらに連続ダストモニタについては、非常用の発電機も用意して、極力停止の期間を短くすることを検討していただいています。停電作業でご迷惑をおかけしますが、ご協力よろしくお願います。

(安定化C所長)非常に込み入っていますが、整理しますと、8月に洞道からC/Bに水が入ってくるという事象があり、水が入ってこないようにするためにここを閉じたい。そのためにはトレイを撤去しなければいけない。トレイを撤去するとケーブルも撤去となって、そのために大熊線2Lの開閉設備が止まってしまう。それが止まらないように先に電源を切り替えておく。それが12/3になるということですね。夜間作業となりますが十分気をつけてやっていただきたいと思います。

残念ながらまたプラントパラメータに誤りがあったということを報告しなければなりません。1号機格納容器の発表しているデータに校正を入れなかったということが報告されました。詳細は先週報告しました。さらにその内容を調査していく課程で、校正式にも問題があったということが新たにわかったので報告します。

(安定化C計装設備)圧力容器の値が間違っていた期間は、5/11から本日までとなります。その間に二つのミスがあり、前回11/24に説明したのは、計装設備側から提示した補正式を使わなかった事象が10/28から11/28の間にありましたが、さらに調査をした結果、我々が提示した補正式そのものが間違っていたことがわかりました。(書画)青字が正しい値で、赤のドットを今まで提示していました。事象の概要、間違いの原因について説明します。5/11に1号機のR/B1階で、当該の格納容器の圧力計について、現場に入り、校正装置をつなぎ、基準計器に加圧ポンプで同じ圧力をかけて基準計器の圧力指示と対象の計器のずれを測りました。具体的には40kPaと600kPaの2点についてずれを確認しました。そのときの出力のずれを電流で測っていますが、本来5.066という値に対して5.13という値が当該の圧力計で出ていることがわかりました。40kPaの時の指示値をずれの値を持って計算しますが、このずれの値をパーセントで一旦表示して、パーセントから最終的に当該の圧力計の指示値を計算し、その結果をしたにあるようなプロットをして近似式を求めて補正式として扱うという机上での評価をしました。下が正しい値ですが、具体的には40kPaの時の値を計算し間違えました。その原因は、二人で机上の検討をしましたが、こちらでパーセントを出した人と受け取った人でそれぞれがこちらはフルスケ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

ールに相当するパーセントを出したつもりですが、受け取った側は基準圧力に対するパーセントという誤解があり、結果として補正式に間違いがありました。ずれの影響はMAXで2kPa相当で、全体のプラント監視という意味では大きな影響はなかったと考えていますが、間違っていたということで本日プレスをさせていただき、正誤表をつけさせていただきました。今後は正しい値でとりたいと思います。今後の管理については、再発防止を徹底し、確実に管理して参りたいと思います。申し訳ありませんでした。

(安定化 C ■■■) 輻輳している作業もあり、ヒューマンエラーも報告しました。ご意見やご質問があると思います。

(本店保安院) 1号機 D/W 圧力のデータ誤りについて、大変残念な結果になっておりますが、幸いデータ自信は小さな誤りでありましたので圧力自体の評価には大きな影響はないという結果はありますが、しかしながら D/W 圧力のデータは、正圧になっていて格納容器内に空気が入ってこないということを評価する大変重要なデータです。これが5月以降長期間に渡って誤っていたのは大変遺憾であると思っています。データ誤りに関しては、これまでも何回か発覚しています。そもそもデータの記録・管理・補正の妥当性について常にチェックしていただいて、正しいやり方で実施できる体制を作っていただくことが大変重要であると思います。品質管理の徹底をさらにやっていただくよう要請したいと思います。しっかりとした対応をよろしく願います。

(安定化 C ■■■) 何度もご指摘をいただき、心苦しくまたご指摘はごもつともでございます。今一度しっかりと原因を究明して、公表しているデータあるいは格納容器のデータの重要性をさらに認識して再発防止に努めて参りたいと思います。

(本店広報班) プレス対応状況について説明します。本日11時から11時40分に午前の会見を実施しています。記者の方は15名出席されています。案件としては、プラント関連パラメータの一部訂正について説明しています。質疑につきまして、昨日公表しました1F所長交代についての質問を数多くいただいています。加えてプラント関連パラメータの一部訂正につきましては、2、3問の質問をいただいています。18時から当社単独の会見を実施しています。

(福島地域支援室) 本日、原子力事故対応関係の市町村会議ということで、予定通り10時30分から16時少しまわったところまで会議が行われました。会議に出席されたのは、いわきさんが議会関係で出られなかったということで、12市町村の課長さんクラスの方が出席されました。当社からは、ステップ2の状況、中期安全確保の考え方、廃止措置に向けたロードマップのあり方、福島第二の状況を説明しました。要望を頂いたのは、正しい情報を正確にわかりやすく迅速に提供してほしいということをおっしゃっていたことが非常に多かった。これについては、当社の永遠の課題という形になりますので、引き続き努力しながら対応させていくということで受け止めています。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

す。2点ほど頂いた意見を紹介すると、ステップ2が終わると、あわてふためいて避難をしないといけないという状況はなくなるのか？という質問をいただいています。それに対しては、そのようにならないために重要な設備の多重化、多様化、独立性を図っていたり、中期的な計画を策定して安定化の継続に努めていく旨をお話しています。あと一つは、炉心状況がどうなっているか東電・国から説明がないということで放射線に関する不安が払拭できないという話をいただきました。これについては、明日東京でワークショップが開催され、弊社の方からどういう想定しているか紹介をさせて頂いて、専門家の方々のご意見等をふまえて整理をしていくということで、明日以降、活動の頭出しをさせて頂いたという状況です。詳細は後ほどメールで配信させて頂きませんが、本日は状況を概略としてお伝えさせて頂きました。

(本店保安院)事故調の説明に際しましては、保安院の担当管理職も同席をさせて頂き、保安院としての確認状況を説明させて頂いているはずですが、詳細はこれからです。明日、経済産業省において、1F の炉心の状況の評価について、東電のほか原子力機構その他関係の専門家の方々からそれぞれご発表いただき、最後はパネルディスカッションを行いまして炉心の難しい評価を様々な観点からご意見を頂きたいと思っています。一義的に炉心の評価を決めにくいところがありますので、多様な知見を結集して評価・議論頂く趣で実施します。これは一般にも公開をしていますので、ご参加頂けると思います。

(安定化 C ■■■)報告する事項、現場の作業が多くなっています。様々な評価活動も多くなってしまいました。ご安全に。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<11/30(水)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C ■■■)本日、大変多くの作業が現場で展開されました。皆様、お疲れ様でした。統合本部全体会議を開催します。本日は天候は曇りでしたが、現在は少し雨が降り始めています。本日は、1号機、2号機、3号機、3ユニットにおいて RPV へ N2 を入れる工事、作業がありました他、各エリア、各部門で全面的な作業が展開されました。N2 の封入作業につきましては、1号機、3号機ではうまく進みましたが、2号機では N2 の流量がたたないという状況が発生しています。この点、後ほど報告します。それ以外は概ね順調に作業が進みました。

(1F ユニット所長)RPV への N2 封入に関しましては、1号機が16:08、3号機は16:40にそれぞれ 5m³/h に到達しています。関係の方、大変お疲れ様でした。プラントは、流量を絞った後、今、状況を見ていますが、温度がまだ上がり続けているという状況になっていまして、特に2号機は下部ヘッドが 77.9℃ということで、80℃に迫っていますので、この後どうするかについて N2 封入の状況も踏まえて考えていく段階にあると認識しています。本日は1号機のカバーリング工事が後片づけを含めて全部終わるといことで節目を向かえました。関係の方、大変お疲れ様でした。

(1F 発電班)N2 は先程お話しがあったとおりです。1号機は、現在、給水系から 4.3m³/h で注水中です。RPV 底部ヘッド温度は 45.5℃、26日の注入量変更前の 40.3℃から 5.2℃の上昇です。D/W 内温度は 47.6℃、D/W 圧力は 13kPa_{gage}、SFP 水温度は 18℃です。2号機は、現在、CS 系から 4.2m³/h、給水系から 3.1m³/h、あわせて 7.3m³/h で注水中です。RPV 下部ヘッド上部温度は 77.5℃、17時のデータです。26日の注入量変更前の 73.2℃に比べて 4.3℃の上昇です。まだ上昇中です。D/W 内温度は 76.8℃、D/W 圧力は 10kPa_{gage} です。PCV ガス管理システムの水素濃度は現在 0.6%です。SFP 水温度は 23℃です。13:26から15:04にかけて SFP にヒドラジン 2m³ を注入して終了しています。3号機は、現在、CS 系から 6.1m³/h、給水系から 2.1m³/h、あわせて 8.2m³/h で注水中です。RPV 下部ヘッド温度は 68.3℃、26日の注水量変更前の 67.0℃から 1.3℃の上昇です。D/W 内温度は 60.7℃、D/W 圧力は 0.2kPa_{gage}、SFP 水温度は 21℃、安定しています。4号機は SFP 水温度は 27℃、共用プール水温度は 23℃です。

(1F5, 6号発電班)トピックスは5号機ですが、本日も引き続き取水路の海水ポンプ室の清掃を実施して、朝方に海水系のポンプを停止していましたが、先程夕方いずれの海水ポンプも再起動しています。炉水温度の最高温度は 39.1℃、プール水温度は 25.5℃で、これら夕方のポンプ起動以降、冷却していきますので温度を引き続き監視していきます。

(1F1~4号復旧班)水移送は、2号機から HTI 建屋は今朝 8:59 に停止しまして、今ほど 18:03 に再開しています。3号機からプロセス建屋への水移送を継続していま

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

す。滞留水は順調に処理していきまして、17時現在、SARRY が 28.6m³/h、KURION が 16.6m³/h で処理中です。AREVA は待機停止中です。RO 蒸発濃縮装置は運転中です。本日、KURION の H ベッセル 2 塔交換実施していきまして、明日はベッセルの交換はありません。水位は、2号機は今朝に比べまして19mm 程上昇していきまして、T/B で OP3011mm です。3号機はトレンチで4mm 上昇、T/B で6mm 下降となっていますが、トレンチで水位ハンチングしていきまして様子見したいと思っております。トレンチの水位 OP32270mm という状況です。4号機は T/B で5mm 下降の OP2995mm です。1号機は T/B 抜管エリアにて13mm 上昇で OP3365mm、R/B は8mm 下降で OP4011mm の状態です。受け入れ側集中ラドは、プロセス建屋は15mm 上昇で OP2222mm、HTI 建屋は156mm 下降で OP1869mm です。RPV への N2 封入については、後ほど詳細はセンターさんからあると思っておりますので割愛させていただきます。本日、2号機のヒドラジン注入がありまして、その際、計装配管のベント作業をやっていきます。差流量のトリップの対応ですが、差流量は6.8 程度に縮まっています。また、高線量作業として、本日1号 T/B 滞留水移送ポンプ追設で T/B 何に鉛毛マットを敷設していきまして、線量的には非常に低い値で完了していきまして。

(1F5,6 号復旧班) 明日の作業ですが、浄化水の散水はありません。12/5 以降、再開予定としていきます。6号の T/B から仮設タンクへの移送、明日から実施します。10時から12/2の16時までの予定です。

(1F 土木班) タンク関係の作業は G エリアで排水の関係の工事、H エリアでタンクの水張り試験を実施していきまして。海側遮水壁の関連の作業について、ボーリング作業を実施していきまして、構内側については、5本計画のうち3本目のボーリングを現在掘進していきまして、明日ボーリングの掘進を終わる予定です。構外側については、3本計画のうち、2本目を掘進中で、明日もボーリングを継続実施します。5号のポンプ室の清掃、3日目を終了しまして、明日も実施する予定です。明日からの新しい作業として、滞留水の移送ラインの P 管工事に関連して、4号機周辺のガレキの鉛毛敷き、T/B 海側でガレキの撤去を行う予定です。

(1F 建築班) 1号機のカバーリング工事は、本日で工事が竣工になりました。午前中に設備の引き渡しを受けました。よって、明日から作業はありません。協力された皆様ありがとうございました。3号機の上屋がれき撤去工事は、本日は T/B 側のダクトの解体と、海側のスイッチバックエリアの通路の敷き鉄板、1号機の西側でフェンスの切断と養生の撤去を行っております。明日は北側で 600ton クレーンの移動とスイッチバックエリアで通路の鉄板敷き、海側の地組エリアで足場の組み立て、Rw/B で上部のガレキ解体・撤去、SFP の冷却ユニットの養生を行います。4号機の上部がれき撤去工事は、本日は、南面の壁、柱の解体、ボーリング調査を行っております。明日も継続して行います。高濃度スラッジ貯蔵施設建築工事は、スラッジ棟で床のエポキシ塗装、設備塔ではボンベ庫の配筋、空調基礎の工事を行っております。明日はスラッジ棟では足場の解体とスチールドアの取付、設備塔ではボンベ庫のコンクリー

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

ト打設前の段取りと空調基礎の工事となっています。

(1F ユニット所長)このところご視察等がかなり来ていますが、本日は、中国と韓国の規制当局の方が保安院さんの随同行によりまして発電所の視察をされています。明日は、保安院さんの意見聴取会の先生方が、5, 6号機を中心に現場視察をされるということで、結構、30名を超える方がこちらに来られるということです。明日、もう一件、立入調査ということですが、厚生労働省さんと福島労働局さんの方から、こちらの方の現地の立入を行うというお話があります。

(安定化 C ■■■■)本日の RPV への N2 注入の作業結果について報告します。

(安定化 C 外部循環冷却 G) (書画で説明)今日の実績を昨日お示しましたスケジュールを活用して紹介します。今日は午後から順次2, 1, 3の順番で RPV への N2 封入をするということで、まず、午前中の段階から予定ではまず2号機に RPV に封入するために原子炉建屋の方の N2 のホースの敷設工事を決行してまして、これは若干時間のずれがありましたが、午前中に完了しています。引き続き1号機も2号の後に N2 を封入するというので、そのためのユニットの作製とか、ホースの設置等を午前中の後半あたりから仕掛けてまして、概ね2時前後くらいにその当たりの作業が終了しているという状況です。一方、3号機はまだユニットの製作はかかっていませんでしたので、東芝さんに早出していただいて、その対応をいただいたことと、あわせて、3号機の松の廊下のところで作業をするということで滞留水チームさんの協力をいただいて移送を止めていただいて被ばく低減の処置をいただくという対応をした中で、3号も午前中のうちにユニットし終わったものを敷設して午後のホースの敷設の準備に取りかかるという状況にありました。13時から2号機の RPV への N2 封入開始を予定していましたが、実質バルブを開けて送気を始めたのが13:45。その間、圧力はたったのですが流量がでないということで、現場で確認作業を進めていましたが、結局原因がよくわからないということで、一旦14:47に2号機での RPV の封入作業を中断しています。その他、1号機と3号機は準備が整っていましたので、そちらを優先するというので、1号機を16:04に RPV への注入開始を行いました。こちらは流量がうまく流れて、1時間以上流量調整にかかると思いましたが、結果して5分程度、16:08に RPV へ5m³/h、PCV へ28m³/hの注入がされているのを確認しています。その後、3号に流れますが、3号機はまだ午前中のうちに原子炉建屋の外の作業しか終わっていませんでしたので、午後から N2 のホース、原子炉建屋内の接続作業をしていただいて、16:26より RPV への N2 封入作業をしています。こちらは順調に送気が終わってバランスもとれまして、16:40頃に RPV へ5m³/h、PCV に約28m³/h 流れているのを確認し、復旧班長に連絡しています。2号機ですが、前日ご紹介したラインナップの簡単な概略図ですが、2号は調整弁と流量計を設置して今日の午前中のうちにホースをラップに取付まで終わってまして、午後、ニードル弁とニードル弁、両方開けて、N2 の送気をしました。その際になかなか流量計の指示がでないということで、一旦、格納容器の送気を止めて全量 RPV に流れ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

るような対応を試みましたが、圧力が上がるだけで流量が全然指示がでないという
ことで、ラックの中のバルブの開閉も確認しましたが、それ以上の状況がよく分から
ないということで、現場の作業は一旦中断しています。1, 3号機は昨日、原子炉安
全評価 G から紹介があったとおり、とりあえず当面 RPV は 5m³/h 入れるということで、
将来的には 10m³/h になりますが、今は 5m³/h と 5m³/h で PCV は 28m³/h はいつ
ている状況になっています。この工程にあるとおり、非常に錯綜した業務でありまし
て、沢山の人間が今日現場にはいつています。簡単に紹介しますと、これは当社社
員だけの人の動線になりますが、シーケンスを組んで移動にロスがないようにいろ
いろ計画を立てましたが、残念ながら2号機だけ当初の目的である RPV の注入まで至
っていないということで、こちらは今晚から明日の朝にかけてメーカーさんといろ
いろ協議させていただいて原因と対策について議論すすめて、できるだけ早く2号
へのベッセルへの注入開始を目指したいと思っています。線量も速報ベースで全部
集計が終わっていませんが、当社社員だけでも今日、グロスで約 62mSv 程度被ばく
をしてもらったということで、非常に厳しい環境で作業をやってもらっていますので、
こういったものも無にならないように2号への注入をうまく完成させたいと考えていま
す。

(安定化 C ■■■■) 今、報告がありましたように大勢の人が加わっていただきまして、
東京電力の社員のみならず協力企業さん、プラントメーカーさん大勢のご協力をい
ただきました。ありがとうございます。残念ながら2号はこういう状況ですが、ここは
立ち止まってじっくり考えていきたいと考えています。この問題は皆様関心高いと思
いますので、ご意見やご質問がありましたら発話願います。

(原子力安全・保安院) 2号機は格納容器の窒素封入は継続できていますでしょうか。

(安定化 C 外部循環冷却 G) 2号機の格納容器へは 26m³/h で他と同じように封入
を続けています。

(安定化 C ■■■■) この後、もう少ししっかりと状況を整理しまして、次のアクションを
しっかりと考えていきたいと思えます。水処理の週報について報告をお願いします。

(安定化 C 水処理 PJ 部) (書面で説明) 定例の水曜日ですので週報の説明をします。
今週の動きです。貯水量、貯蔵量関係、1号から4号まで記載がありますが、概ね
300m³~600m³くらい減少しています。建屋の水位は OP3000 くらいをキープしてい
ます。1, 2号は高温焼却炉建屋、3号機はプロセス建屋に移送しています。トピック
スは、25日に電源停止に伴いまして、処理量は少し落ちています。新しい動きとし
ては、21日から3日間かけて3号機の復水貯蔵タンク、CST ですが、そこから3号機
T/B へ建屋の移送を実施しています。今後 CST のタンクについては、原子炉注水
の冗長性を増すということで、注入のバッファタンクにするという予定で、その水を
処理しています。24日はサイトバンカーからプロセス建屋へ移送、そのあたりが動き
です。処理量は、一週間、11/23から11/29まで 6690m³ の水処理を完了してい
ます。累積で 175140m³ の水処理を行った勘定になっています。廃ベッセルは8本、

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

KURIONのベッセル等が出ています。保管容量としましては393本になっています。AREVA は変更ありません。水の分析関係も変動ありません。11月以降、10+5Bq 程度の汚染水、DFも大体 10+5 からセシウム 134、137 足して 10+5~10+6 の DF ができています。水の保管状況です。滞留水の保管は濃縮塩水受けタンクが17日にインサービスしまして、今現状 98200m³ のところを 80000m³ 程度を貯蔵しています。淡水は 25000 のうち 11000、半分くらいの貯蔵量。本日30日付けで濃縮塩水の受けタンクも更に増量されましたので、本日付で大体 100000m³ の貯蔵量が濃縮塩水受けタンクで達成されています。濃縮の廃液の貯蔵ですが、9500 のうち 4500 でこちらもまだ余裕があるということです。

(本店広報班)会見の状況についてご案内します。本日は午前、午後とも当社単独になっています。午前中11時は1~3号機-RPV への N2 封入ラインの新設についてということ、それから滞留水の週報、さらには2号 PCV ガスサンプリングの分析結果といったところを説明しています。特段つまこんだ質問はなく 20 分程で終了しています。本日は14時から保安院さんの技術ワークショップということで、1~3号機の炉心損傷状況についての説明を当社からさせていただいています。その内容について18時からの会見で概要を説明している状況です。その他、18時から被ばく関係の10月分の実績、福島第二の緊急事態応急対策の報告書の補正といったところの説明をする予定です。

(原子力安全・保安院)ワークショップは、今日の2時から予定をオーバーして5時半まで経済産業省の中の会議室で実施しました。参加人数は150~160名ということで比較的盛大となりました。発表内容は、東京電力さんの他、原子力機構、JNES、エネ総研などからそれぞれ炉心の損傷状況についてのシミュレーション、推定結果について報告いただいています。後半は東京大学の■■■■先生、原子力委員でありましたが、本日の議題を中心としたパネルディスカッションを実施してまして、さまざまな関係からご議論いただいています。もう一件、福島第二の関係です。本日、原災法に基づきます緊急事態応急対策の実施状況の補正報告をいただいています。先般、報告徴収命令にかけて第一弾を出していただきましたが、更に私どもが立入検査をした結果、その後の進捗を踏まえて再度修正をいただいて報告いただきました。福島第二はつい先日、緊急安全対策を確認し、保安規定を認可しています。今後、この緊急事態応急対策の実施内容を踏まえまして、冷温停止の継続している状態になっているか、現在、福島第二についても緊急事態宣言発令となっていますが、原子力災害が再度起こらないか、このようなことをきちっと確認評価してその結果を取り纏めたいと思っています。

(2F ■■■■) 本日、応急対策の補正版、提出させていただきました。よろしく願います。合わせて、工事の計画を報告します。明日ですが、3号機で D/G A 系の補機の点検を行うために、D/G A 系を不待機にし、合わせて冷却系も A から B に切替るという作業を行います。10時から15時の間、冷却系を全停しまして、作業を行う

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

予定ですが、炉水温度の上昇は2.4℃程度、全体では32℃程度の上昇炉水温度で終わると評価しています。明日、作業を実施します。

(安定化 C 所長) 中国と韓国の規制当局の対応ということで、30名くらいということで大型バス1台で視察をしていただきました。また、福島第一の重要免震棟では30名を3班に分けて免震棟の中の視察をしていただくということで、大変第一の方にお世話になりました。また、J ヴィレッジの関係者の方、お疲れ様でした。特段、大きなトラブルもなく、その後の質疑も熱心に討議されてお帰りになられたという状況です。

(安定化 C ■■■■) 対応にあたられた皆様、ありがとうございました。統合本部全体会議を終了します。ご安全に。

～全体会議終了～

以上